

Active!gateSS

国内版

管理者マニュアル：オリジナル運用プラン（VPSタイプ）

目次

第1章	サービス概要	1
1	サービス開始前の確認事項	1
2	サービス紹介	2
2.1	Active!gate SSとは	2
2.2	オリジナル運用プラン（VPSタイプ）ご利用イメージ	2
2.3	Active!gate SSの機能概要	3
2.4	Active!gate SSの特徴	3
2.5	Active!gate SSの各機能	4
2.5.1	送信拒否機能	4
2.5.2	送信メールの一時保留機能	4
2.5.3	添付ファイルの暗号化（ZIP、AES、7-Zip等）機能	4
2.5.4	添付ファイルのwebダウンロード機能	5
2.5.5	パスワードの通知方法・管理機能	5
2.5.6	添付ファイル変換時の添付ファイル対象機能	5
2.6	留意事項	6
2.6.1	画面表示について	6
2.6.2	画面表示：プレビュー機能について	6
2.6.3	添付ファイル名が255文字より長いメールについて	6
2.6.4	1回で送信できる宛先数の上限について	6
2.6.5	1回で送信できる容量の上限について	6
2.6.6	ダイアログボックスの制御について	7
2.6.7	保留詳細画面でのInternet Explorerのスク립ト制限について	7
2.6.8	自由定型文/ウィルス定型文の文字数制限について	8
2.6.9	検証済みブラウザと対応OSについて	8
2.6.10	メールの受付処理について	8
2.7	「上司承認機能」について	10
2.7.1	「上司承認機能」とは	10
第2章	Active!gate SS設定	11
1	web管理画面へのログイン	12
1.1	システム管理者画面へのログイン	12
1.2	パーソナルコントローラへのログイン	14
2	システム設定	15
2.1	通知メール設定	15
2.1.1	送信者向け通知メール管理	15
2.1.2	受信者向け通知メール管理	54
2.1.3	送信者向け言語管理	61
2.1.4	受信者向け種別管理	62
2.2	管理者設定・管理	63
2.3	お知らせ管理	66
2.4	プロパティ	67
2.5	パーソナルコントローラ設定	68
2.5.1	メニュー設定	69
2.5.2	メール詳細設定	92
2.5.3	管理者ポリシー表示設定	100
3	ポリシー設定	107
3.1	システムポリシー（強制）	107
3.1.1	保留ポリシー	107

	3.1.2	添付ファイル暗号化ポリシー	111
	3.1.3	webダウンロードポリシー	112
	3.1.4	パスワードポリシー	113
	3.1.5	ヘッダ変換ポリシー	115
	3.1.6	本文変換ポリシー	117
	3.1.7	通知メールポリシー	118
3.2		管理者ポリシー（強制）	119
	3.2.1	送信拒否	120
	3.2.2	保留	122
	3.2.3	保留詳細	127
	3.2.4	添付ファイル暗号化	130
	3.2.5	web ダウンロード	133
	3.2.6	添付ファイル対象	137
	3.2.7	パスワード	142
	3.2.8	スコア	146
	3.2.9	ヘッダ変換	148
	3.2.10	本文変換	152
	3.2.11	通知メール	155
3.3		グループポリシー（強制）	159
3.4		ユーザポリシー	160
3.5		グループポリシー（標準）	161
3.6		管理者ポリシー（標準）	161
3.7		システムポリシー（標準）	162
	3.7.1	保留ポリシー	162
	3.7.2	添付ファイル暗号化ポリシー	166
	3.7.3	webダウンロードポリシー	168
	3.7.4	パスワードポリシー	169
	3.7.5	ヘッダ変換ポリシー	171
	3.7.6	本文変換ポリシー	173
	3.7.7	通知メールポリシー	174
	3.7.8	通知メールタイムゾーン	175
	3.7.9	その他	175
3.8		条件設定	176
	3.8.1	各ポリシー共通の条件設定	176
	3.8.2	「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定	181
3.9		ポリシーチェーン管理	183
4		ユーザ管理	184
	4.1	シングルサインオン	184
	4.1.1	cloudstep の場合	185
	4.1.2	Gluegent Gateの場合	190
	4.1.3	Cloud Gate の場合	196
	4.1.4	Azure Active Directory の場合	200
	4.1.5	その他の場合	213
	4.1.6	シングルサインオンの設定（その他の場合）	214
	4.2	内部外部定義	216
	4.3	グループ管理	217
	4.4	ポリシーグループ管理	219
5		メール一覧	221
	5.1	受付エラーメール一覧	221
	5.2	送信拒否メール一覧	223
	5.3	保留メール一覧	224
	5.4	承認メール一覧	226
	5.5	配送メール一覧（メール別）	228
	5.5.1	メール詳細画面とは	230
	5.5.2	送信後メール詳細画面 2	233
	5.6	配送メール一覧（宛先別）	234
	5.7	通知メール一覧	236
6		システム情報	238

6.1	管理者アクセス状況	238
6.2	ユーザアクセス状況	239
7	統計情報	240
7.1	メール数統計	240
7.2	送信者別統計	243
8	承認設定	245
8.1	承認者設定	245
8.2	承認者制限設定	247
8.3	必須チェック項目	253
8.4	承認ポリシー	254
8.4.1	システムポリシー（強制）	254
8.4.2	管理者ポリシー（強制）	255
8.4.3	グループポリシー（強制）	258
8.4.4	承認者ユーザポリシー設定	258
8.4.5	グループポリシー（標準）	258
8.4.6	管理者ポリシー（標準）	258
8.4.7	システムポリシー（標準）	259
8.4.8	承認ポリシー条件設定	266
8.5	承認者個別設定	267
8.5.1	被承認者管理	267
8.5.2	不在設定	269
8.5.3	代理者設定	271
8.5.4	承認通知メール設定	273
8.6	インポート・エクスポート	275
付録A	Active!gate SS での補足・制限事項に関して	279
1	条件設定の補足	279
1.1	添付ファイルのキーワード検索について	279
1.2	添付ファイルの暗号化について	281
1.3	電話番号の判定基準について	284
1.4	キーワード削除の判定基準について	285
1.5	名字の判定基準について	285
2	メール詳細画面のスマートフォン対応について	286
2.1	検証済みブラウザと対応OSについて	287
2.2	基本操作について	288
2.3	PC版との変更点	289
2.3.1	保留理由	289
2.3.2	メール詳細画面（2段階）の処理操作	289
2.3.3	「指定時間まで保留して配送」の操作	290
2.3.4	承認時の「承認代理者選択ボタン」の操作	290
2.3.5	PC版から変更または追加されたアイコン	291

第1章

サービス概要

1 サービス開始前の確認事項

この度は Active!gate SS サービスをご利用頂き誠にありがとうございます。Active!gate SS の紹介、及び機能等の説明を行う前に確認事項があります。一読をお願い致します。



メモ

Active!gate SS のログイン情報や下記設定等につきましては、ご契約者様または、ご購入窓口となる代理店様宛てに弊社よりご案内しております。また、ご案内しております資料は大切に保管して下さい。

SPF の設定を行っている場合には、下記の通り「include:spf.activegate-ss.jp」追記して頂きます様よろしくお願い致します。

下記は Google Apps をご利用されているお客様の SPF 設定となります。
ご利用されている環境をご確認下さい。追記をお願い致します。

```
IN TXT "v=spf1 include:_spf.google.com ~all"
```

```
IN TXT "v=spf1 include:_spf.google.com include:_spf.activegate-ss.jp ~all"
```

Google Apps や Office365 をご利用されているお客様にはサービス開始前に設定して頂く内容を別途ご案内させて頂いております。詳細は、別紙：「送信設定マニュアル」を参照して下さい。



注意

Active!gate SS+ Active!vault SS オプションをご利用されており、かつ、複数のドメインにてサービスを使用しているお客様へ。Active!gate SS から一部のドメインを削除（解約）する場合、削除前に必ず弊社営業部までご連絡を頂けます様お願い致します。

ファイアウォール等で、IP アドレス制限を設定し特定の IP のみ許可されている場合、下記弊社 IP アドレス範囲に対しての通信も許可頂くようお願い致します。

- ① 【IP Address】 125.252.89.192/26
- ② 【IP Address】 223.27.116.0/22
- ③ 【IP Address】 202.241.206.0/25

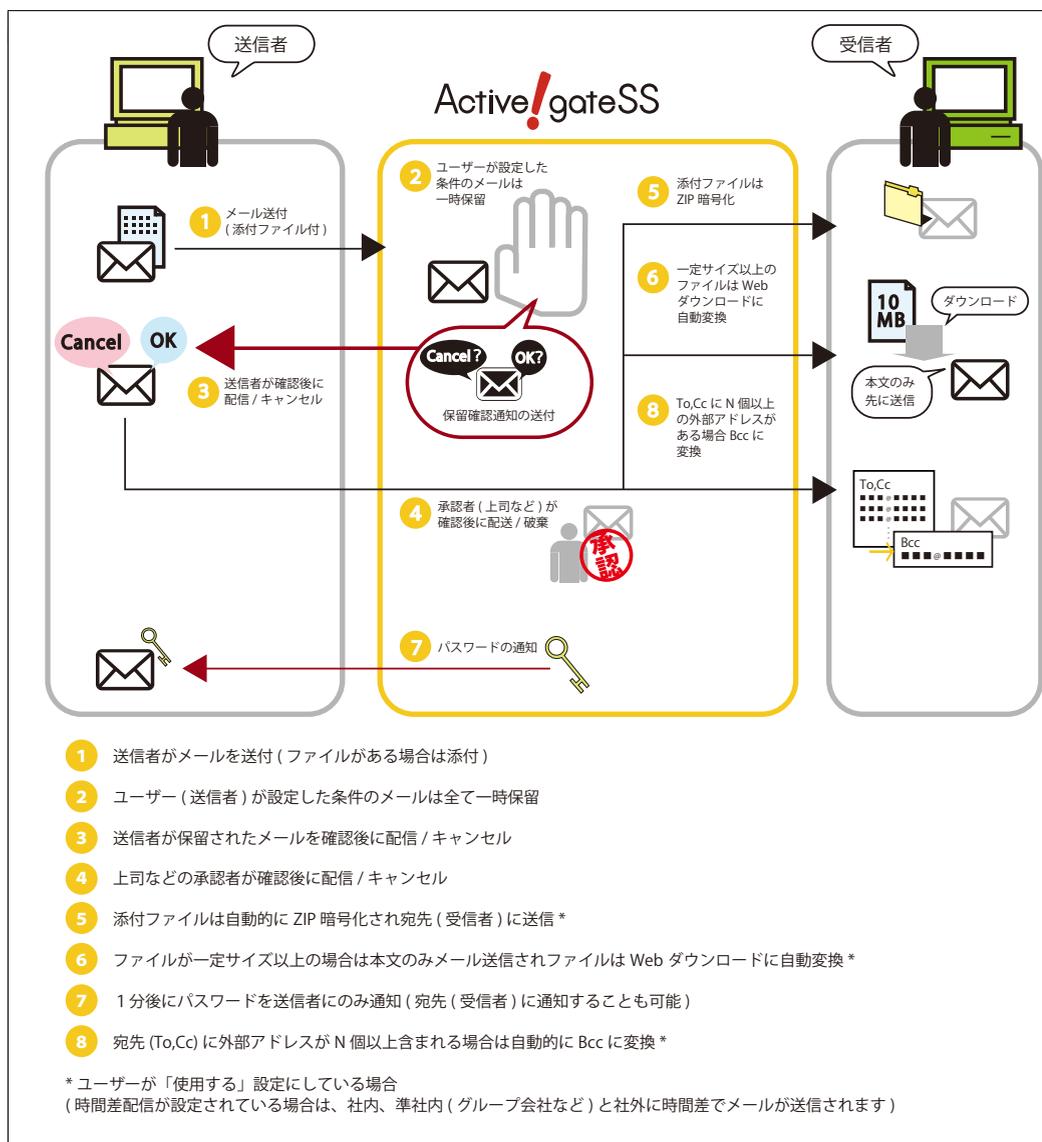
2 サービス紹介

2.1 Active!gate SSとは

電子メールを利用したコミュニケーションの頻度は益々増えていく状況の中、電子メール利用者による情報漏洩に対する対応は今日において必要不可欠なものとなって参りました。しかし電子メールの利用頻度やその特性上、管理者による管理は非常に困難な事も事実です。このような状況においてActive!gate SSはゲートウェイ上で様々なポリシー設定により、流通する電子メールの監査・管理を実行し、電子メールの門番的役割を果たすメールセキュリティサービスです。

送信メールの個々の内容を精査し、一時保留や添付ファイルの暗号化、メール本文と添付ファイルの分離、送信拒否といったメール送信の際の情報漏洩や誤送信防止を行う為の様々な処理を管理者やユーザが柔軟に設定する事が可能です。また、ご利用するユーザはウェブブラウザから個人専用の管理画面を使用し、メールの配送状況の確認や、保留ポリシー、zip暗号化等設定を行う事が可能です。

2.2 オリジナル運用プラン（VPSタイプ）ご利用イメージ



2.3 Active!gate SSの機能概要

- 送信拒否機能
- 送信メールの一時保留機能
- 添付ファイルの暗号化機能
- メール本文と添付ファイルの分離機能
- 添付ファイル変換（添付ファイルの暗号化、添付ファイルの分離）の対象 / 非対象を設定する機能
- ヘッダ変換機能（Bcc変換/Date変換）
- 各機能で登録したポリシーの優先度設定機能
- Webブラウザを使用した各個人専用の管理画面（パーソナルコントローラ）による送信メール管理

2.4 Active!gate SSの特徴

- 保留になった場合、通知メールを送信者に通知する事が可能
- 本当に送信してよいかの最終判断を本人がする為、監査する人が不要
- 「宛先間違い」「大量宛先への一斉配信」「添付ファイル漏洩」「うっかりミス」を阻止
- 個人ごとに自分で必要なポリシーを作成する事が可能。監査ポリシーの作成が必須ではない。
- 宛先に社内がある場合、社内へ先に送信する事が可能。社外に送信する前にミスに気付く事ができる
- 管理者の権限により強制処理（送信拒否等）を監査的なポリシーの作成が可能
- 管理者によるポリシー設定とユーザによる設定が柔軟に選択可能

2.5 Active!gate SSの各機能

Active!gate SSに実装された各機能を簡単にご紹介致します。

2.5.1 送信拒否機能

メールの送信自体の拒否を管理者の条件設定により行う事ができます。送信拒否はユーザによる設定は行えません。管理者による情報漏洩対策として強制的な処理として設定する事が可能です。

【送信拒否】

管理者画面ポリシー設定の「送信拒否」にて管理者が設定した条件によりメールの送信自体を拒絶する事が可能です。

【送信拒否の通知方法】

送信拒否された場合、送信拒否の通知を送信者に通知するか、しないかを選択する事が可能です。

【監査機能】

送信拒否されたメールを別の宛先（第三者）に通知する事も可能です。例えば送信拒否の通知を送信者には通知せず、別の宛先（監視者）に通知する事により、監査機能として企業の内部統制強化を行え強固なセキュリティを確保します。

2.5.2 送信メールの一時保留機能

送信するメールの保留条件の設定や、配送についての設定を行います。保留機能についてはユーザが独自でポリシーを作成し行う事が可能です。ユーザ独自の設定を行わせない事も可能です。管理者による設定に全て従わせる事も可能です。

【送信メールの保留】

管理者やユーザが「保留ポリシー」より設定した条件により、メールを一定期間保留する事が可能です。保留期間は任意に設定する事ができ、一定時間経過後、保留されたメールは「自動送信」または「自動削除」します。また、様々な条件によって特定の宛先のみ保留せずに送信するポリシーも可能です。

【保留されたメールの配送】

送信者はwebブラウザを使用し個人専用の管理画面（パーソナルコントローラ）から保留されたメールの宛先・本文・添付ファイル等を確認して配送する事が可能です。また、メールが保留された場合に送信者への通知メールから、ワンタイムURLを通して確認や配送する事も可能です。

メールの本文は1000行が上限で表示確認ができます。1000行を超えた部分は表示されません。

【リマインダー機能（通知メール）】

保留されたメールの存在を通知する、通知メールのリマインダー機能により、保留メールの処理忘れを防止する事が可能です。通知メールのリマインダーとして回数や間隔を任意に設定します。

2.5.3 添付ファイルの暗号化（ZIP、AES、7-Zip等）機能

添付ファイルをパスワード付きのファイルに自動変換し送信します。自動変換されたファイル名は無意味なものを使用する為、元の添付ファイル名に個人情報等が記載されていた場合でも、情報を保護する事ができます。

【添付ファイルの暗号化】

管理者やユーザが「添付ファイル暗号化ポリシー」にて設定した条件により、添付ファイルをパスワード付きの暗号化ファイルにまとめて送信する事が可能です。添付ファイル暗号化後の拡張子を指定したものに変える事も可能です。またお客様独自の暗号化ソフトを入れる事も可能です。

2.5.4 添付ファイルのwebダウンロード機能

メール本文と添付ファイルを分離し添付ファイルのみをサーバに保存し、ダウンロードURLを通知、パスワードを通知する事により、宛先以外にファイルが漏洩する事を防ぐ事ができます。パスワードが「なし」の場合はパスワード認証を行わず、メール受信者のメールアドレスのみでダウンロードする事ができます。

【添付ファイルの分離】

管理者やユーザが「webダウンロードポリシー」にて設定した条件により、添付ファイルを分離し、本文のみを送信する事が可能です。分離された添付ファイルはサーバ上に保存します。メール受信者は、メールごとに配信されるダウンロードURLが記載された通知メールのURLにアクセスする事で、サーバにアクセスします。保存されている添付ファイルはパスワード認証によりダウンロードする事ができます。

【添付ファイルの管理】

サーバ上に分離された添付ファイルは送信者が任意に削除・ロックする事が可能です。またダウンロード可能な日数を設定・変更する事も可能です。受信者がダウンロードした場合、ダウンロード履歴が残り、確認する事もできます。

2.5.5 パスワードの通知方法・管理機能

上記の【添付ファイルの暗号化機能】、【添付ファイルのwebダウンロード機能】において設定されるパスワードの通知方法やパスワードの管理を行います。

【パスワードの通知方法】

パスワード付きの暗号化ファイルを解除させるパスワードや、webダウンロード機能にて使用するパスワードの通知方法は「パスワードポリシー」画面から設定をする事ができます。パスワードが記載された通知メールを送信者と宛先いずれか、または両方、もしくは通知しないかを選択する事が可能です。パスワード通知を宛先に設定した場合でも「パスワード通知保留期間設定」によりパスワード通知を配送するまでの時間を自由に設定できます。これによりパスワード通知を配送する前に破棄する事が可能です。

【パスワードの管理】

送信者はwebブラウザを使用し個人専用の管理画面（パーソナルコントローラ）からもパスワードを確認したり設定・変更する事ができます。管理者やユーザが宛先別にパスワードやヒントを管理可能で、毎回 Active!gate SS上でランダムなパスワードも生成可能です。

2.5.6 添付ファイル変換時の添付ファイル対象機能

上記の添付ファイル変換（【添付ファイルの暗号化】、【添付ファイルのwebダウンロード機能】）の際に、どの添付ファイルを対象 / 非対象とするかを管理者やユーザが設定する事が可能です。

【添付ファイル変換時の対象設定】

管理者やユーザが「添付ファイル対象ポリシー」にて設定した条件により、どの添付ファイルを添付ファイル変換の対象 / 非対象とするかを細かく設定する事が可能です。例えば、あるキーワードを含むファイル名のみを添付ファイル変換の対象とさせたり、逆にすでに暗号化されているファイルは添付ファイル変換の対象から除外する事も可能です。対象から外された添付ファイルは、通常通りメールに添付します。

2.6 留意事項

Active!gate SSが提供するwebインターフェース(システム管理者画面/パーソナルコントローラ画面)、他、Active!gate SSシステムでの制限事項について以下ご留意下さい。

2.6.1 画面表示について

Active!gate SSのシステム管理者画面及びパーソナルコントローラ上で表示されるメールアドレス/ドメイン名は配送メール一覧を除き全てheader-to/cc/bcc, header-from が対象となります。(自動ユーザ登録機能にて登録されるユーザはメールのenvelope-from が対象となります。)また、メール詳細画面での本文表示は上限が1000行となり、これを超える部分は表示されません。

2.6.2 画面表示：プレビュー機能について

添付ファイルプレビュー機能で表示可能なファイル形式は以下の通りです。但し、お客様の環境にて使用するアプリケーションの種類・変更によっては正しく表示しない場合があります。プレビューが上手く表示しない場合、ファイルをダウンロードしてご確認ください。

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
Microsoft Office 97 ~ 2003	Word (.doc) Excel (.xls) PowerPoint (.ppt)
Microsoft Office 2007、2010	Word (.docx) Excel (.xlsx) PowerPoint (.pptx)
PDF	Adobe Acrobat PDF (.pdf)
OpenOffice.org 1.x	Writer (.sxw) Calc (.sxc) Impress (.sxi)
OpenOffice.org 2.x / 3.x	Text (.odt) Spreadsheet (.ods) Presentation (.odp)
画像ファイル関係	(.bmp) (.gif) (.jpg) (.jpeg) (.png)

2.6.3 添付ファイル名が255文字より長いメールについて

Active!gate SSでは、メールの添付ファイル名が**255文字より長い**場合、強制的に送信拒否となります。(全角/半角文字の区別はなく、拡張子を含めます。)

その場合、管理者画面では「メール一覧」-「送信拒否メール一覧」のポリシー欄に、パーソナルコントローラ画面では「メール一覧」のステータス欄にそれぞれ「システムポリシー(強制):ファイル名が255文字より長い」と表示します。

2.6.4 1回で送信できる宛先数の上限について

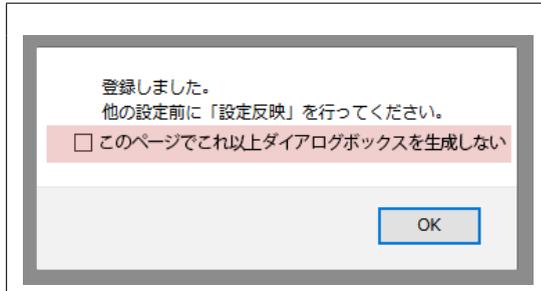
Active!gate SSでは、1回の送信に対し、外部宛先が501宛先以上の場合、強制的に送信拒否となります。外部宛先数は**500宛先**を上限とし送信をお願い致します。

2.6.5 1回で送信できる容量の上限について

Active!gate SSでは、1回の送信に対し、100MB程度で送信の制限を行っております。添付ファイル等を付けて送る場合、**100MB未満**までの送信をお願い致します。

2.6.6 ダイアログボックスの制御について

Active!gate SSの各画面で追加、登録、更新、設定などの操作を行った際に、以下の画像のようなダイアログボックスが出ることがあります。



これは、同じ画面で2回以上同じ動作を繰り返した場合などにブラウザから表示されるメッセージです。赤枠部分の「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」にはチェックを入れないでください。チェックを入れるとダイアログボックスが出力されなくなるため、設定反映やログアウトなどのダイアログボックスを使用する操作ができなくなります。

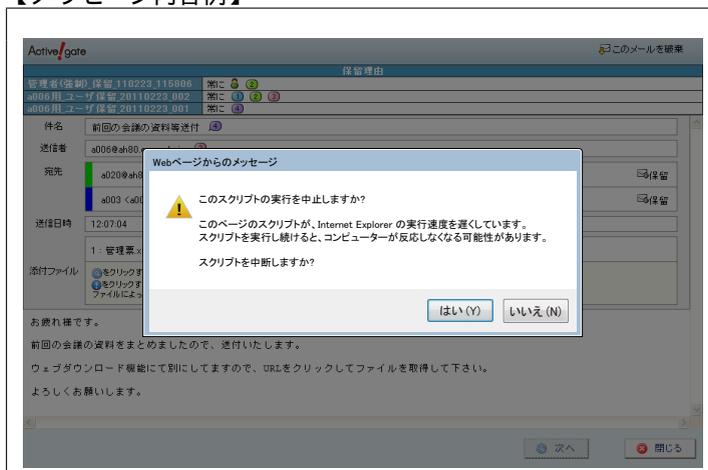
誤って「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」にチェックを入れてしまった場合は、一旦ブラウザを終了してから再ログインすることによって、回避可能です。

2.6.7 保留詳細画面でのInternet Explorerのスクリプト制限について

パーソナルコントローラの保留詳細画面では各宛先や、件名、本文、添付ファイル等、メール情報の全てを表示します。その際、宛先が多い場合、表示する為に一定の時間がかかってしまう場合があります。

Internet Explorerの一部のバージョンでは、一定量のスクリプトが発生し、実行（表示）に時間がかかる場合、実行の継続の承認を求めるメッセージが表示される場合があります。（下図参照）

【メッセージ内容例】



上記メッセージが表示された場合「はい」を選択してしまうと、読み込み中のスクリプトが停止し、保留詳細画面の表示を行わなくなります。上記メッセージが表示された場合「いいえ」を選択し、スクリプトを停止せず実行を続けて下さい。

一定時間経過後、操作が継続できない場合はお手数ですが Internet Explorer 以外のブラウザからアクセス頂きます様お願いします。

**注意**

弊社製品でのInternet Explorer 11のサポートは2022年12月15日で終了します。記載日以降は2.6.9「検証済みブラウザと対応OSについて」記載のInternet Explorer 11以外のブラウザをご利用いただけますようお願いいたします。Microsoft EdgeのInternet Explorerモードでのご利用は保証いたしません。

2.6.8 自由定型文/ウィルス定型文の文字数制限について

Active!gate SSのポリシー設定にある自由定型文/ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示される場合があります。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。文章全体としての最大入力文字数は1024文字までとなっています。

2.6.9 検証済みブラウザと対応OSについて

検証済みブラウザと対応OSは以下の通りです。

ブラウザ名	対応OS
Windows Internet Explorer	WindowsOSのみ対応
Mozilla Firefox	WindowsOSおよびMacOS共に対応
Google Chrome	WindowsOSおよびMacOS共に対応
Safari	MacOSのみ対応
Microsoft Edge	WindowsOSのみ対応

**注意**

Active!gate SSの各バージョンにおける動作検証実施時の最新バージョンで確認しています。検証を実施したバージョンより新しいブラウザで不具合が確認された場合は、随時対応を行います。検証を実施したバージョンより古いブラウザでは、制限事項となる場合があります。検証済みブラウザおよび対応OSの最新状況については、下記URLをご参照ください。
<https://www.qualitia.co.jp/product/ag/spec.html>

**注意**

弊社製品でのInternet Explorer 11のサポートは2022年12月15日で終了します。記載日以降は上記記載のInternet Explorer 11以外のブラウザをご利用いただけますようお願いいたします。Microsoft EdgeのInternet Explorerモードでのご利用は保証いたしません。

2.6.10 メールの受付処理について

Active!gate SSでは、SMTPセッションごとにメールの受付処理をしております。

お客様がご利用されているメールシステムによっては、同一のメールでSMTPセッションが宛先ごとなどに分かれて接続されてくる場合があります。同一のメールが別のメールとして処理されるのを回避するため、Active!gate SSでは一定時間(デフォルト30秒間)受付処理を待機させ、待機時間内に届いた同一メールについては、1通のメールに統合して処理を行います。

待機時間を過ぎて受け付けたメールについては、別のメールとして受付処理を行います。お客様が設定されているポリシーの内容によっては、メールを送信したユーザに対して通知メールが複数配信される場合があります。

例)

- 添付ファイル暗号化ポリシーが適用された場合、送信者向けのパスワード通知メールが受付処理ごとに配信されます。
- 保留ポリシーが適用されると受付処理ごとにメールが保留されるため、保留詳細画面のURLを記した保留通知メールが受付処理ごとに配信されます。

**注意**

保留通知メールが複数配信された場合は、すべての保留通知メールで保留解除の操作が必要です。保留解除を行わないと、その宛先へのメールが配信されません。

【Active!gate SSで異なるセッションとして処理された場合の保留詳細画面の例】

宛先に3件入力して送信したメールが分割処理された場合、保留詳細画面では通知メールと対になる宛先は「保留」となりますが、それ以外の宛先は「対象外」と表示されます。

Active!gate		このメールを確認
保留理由		
件名	お問い合わせの件	
送信者	info@example.com	
宛先	user01<user01@example.co.jp>	対象外
	user02<user02@example.co.jp>	保留
	user03<user03@example.co.jp>	対象外
送信日時	3/25 12:24:24	
お問い合わせありがとうございます。 ご請求の資料をお送りします。		

2.7 「上司承認機能」について

画面メニュー及び各設定項目については、「**上司承認機能**」の付加により本マニュアルに記載の画面情報と異なる場合があります。

2.7.1 「上司承認機能」とは

ユーザ（被承認者）が送信したメールの確認や添付ファイルのチェック等を第三者（承認者）が行い、承認者の承認後にメールを送信させる機能です。上司承認オプションを追加すると、管理者画面、パーソナルコントローラ画面に新たなメニュー「承認設定」や、「承認通知メール管理」、「承認者としての統計情報」等が追加される他、被承認者、代理者、不在代理者の設定、承認に関するポリシー等、様々な設定が可能になります。

標準の機能に追加して「**上司承認機能**」を使用することで、『情報漏洩』と『うっかりミス』の徹底防止をより一層強化しながら、ビジネスを中断しない高い柔軟性を確保したメール管理が可能となります。

【上司承認機能】の機能概要

- ユーザ（被承認者）が送信したメールの確認や添付ファイルのチェックを行う「承認者」の設定
- 承認者が出張や長期不在時に、設定された期間のみ代理承認をする「不在代理者」の設定
- 承認者の急な不在等で一定時間内に承認しなかった場合、代理承認をする「代理者」の設定
- メールチェックの際に、必ず確認しなければならない項目を設定する「必須チェック項目」の設定
- 承認依頼や不在代理者等の設定時、自動でお知らせメールを配送してくれる、「承認通知メール」の設定
- 承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信する事ができる「承認者をCc/Bccに追加」の設定
- 上記の柔軟な管理を補助する「承認ポリシー」の設定

第2章

Active!gate SS設定

Active!gate SSにはシステム全体の設定を行う為の管理者用『システム管理者画面』と各ユーザが使用する『パーソナルコントローラ画面』の2つの管理画面を提供しています。各画面での操作に際しブラウザを使用しログイン認証を行う必要があります。順を追って各画面の説明と必要な入力項目等をご説明致します。



メモ

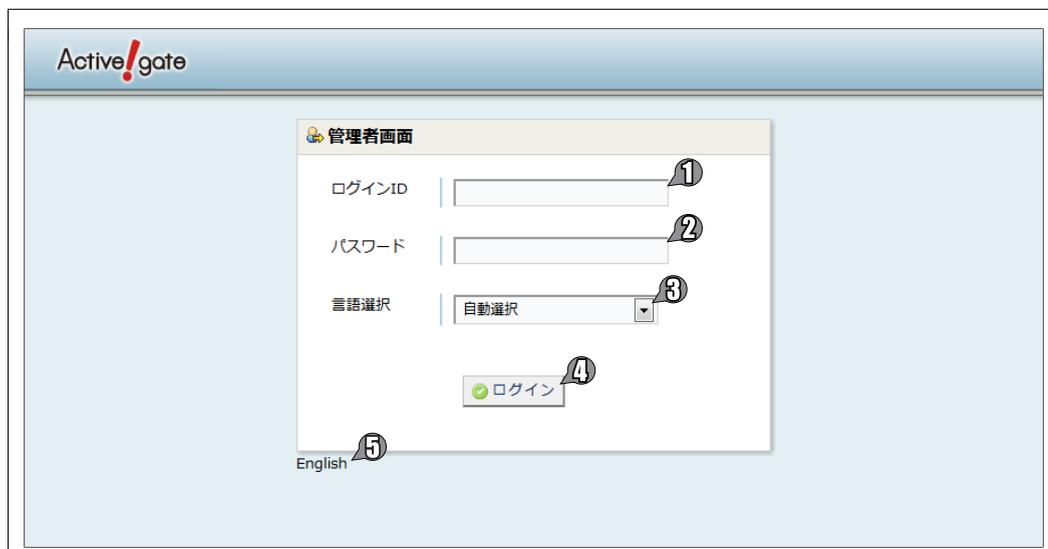
パーソナルコントローラ側の各設定や各画面の詳細については、パーソナルコントローラ画面右上部【ヘルプ】を参照して下さい。こちらでは管理者画面、パーソナルコントローラ画面のログイン方法のみ記載します。

1 web管理画面へのログイン

Active!gate SSが提供する2つの管理画面へはブラウザを使用しIDパスワードの認証を経てログインします。

1.1 システム管理者画面へのログイン

「システム管理者画面」とは、Active!gate SSの設定管理を行うシステム管理者専用の管理画面です。アクセスURLはサービスユーザ様専用サイトの「契約者情報」をご確認下さい。また認証情報については「ドメイン登録完了のご案内メール」に記載があります。ご確認下さい。URLをブラウザに入力してログインします。通信はSSLにより暗号化されています。



①	【ログインID】 管理者専用のログインIDを入力します。
②	【パスワード】 管理者専用のログインパスワードを入力します。
③	【言語選択】 ログイン後に表示される画面の言語を選択します。自動選択の場合、使用するブラウザにて設定されている言語の、優先順位が高い言語から参照します。
④	【ログインボタン】 管理者画面にログインします。
⑤	【English】 ログイン画面の表示を英語形式にします。

管理者画面へのログイン時、最初に表示される画面です。ここから各機能の設定を行います。機能の詳しい説明につきましては、後述の各章を参照して下さい。

【システム管理者ログイン後の画面】

The screenshot shows the 'ActiveGate' administrator interface. The user is logged in as 'admin(システム管理者)'. The main content area displays '統計情報 / メール数統計' (Statistics / Email Statistics). The page includes a search bar, a refresh button, a manual button, and a logout button. The main content area shows a table of email statistics for the date '01月04日'.

単位:日	受信エラーメール数					接続数				受信メール数		
	ドメイン拒否	メールアドレス拒否	IP拒否	その他エラー	途中で接続断	送信拒否	保留中	確着	配送	保留	保留期間経過後削除	保留期間経過後配送
01月04日	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

①	【管理者名（権限）】 現在ログインしてる管理者名と権限を表示します。権限によって表示されるMENUや各機能が変わります。
②	【MENU】 管理者画面のMENU部です。ここから各機能の設定画面へ移動します。
③	【各機能の設定画面】 管理者画面のMENU部から各機能呼び出した際に表示します。各機能やポリシーの設定を行います。
④	【設定反映ボタン】 各機能やポリシー等を設定した際にサーバに情報を反映させる場合、使用します。
⑤	【マニュアルボタン】 管理者の各機能やポリシーについてのマニュアル（PDF）がプレビューできます。
⑥	【ログアウトボタン】 管理者画面からログアウトします。

1.2 パーソナルコントローラへのログイン

パーソナルコントローラとは、各ユーザ専用の設定管理画面です。
 アクセスURLはサービスユーザ様専用サイトの「契約者情報」をご確認下さい。URLをブラウザに入力してログインします。通信はSSLにより暗号化されています。

The screenshot shows the login interface for the Personal Controller. It includes the following elements:

- 1**: User ID input field.
- 2**: Domain dropdown menu, currently showing ".example.jp".
- 3**: Password input field.
- 4**: Language selection dropdown menu, currently showing "自動選択".
- 5**: Checkbox labeled "次回のログインを省略する".
- 6**: "ログイン" button with a green checkmark icon.

①	【ユーザID】 ユーザのメールアドレスの@より前の部分を入力します。
②	【ドメイン】 ユーザのメールアドレスの@より後の部分をドロップダウンリストから選択します。
③	【パスワード】 設定された認証方式にあるパスワードを入力します。
④	【言語選択】 ログイン後に表示される画面の言語を選択します。自動選択の場合、使用するブラウザにて設定されている言語の、優先順位が高い言語から参照します。
⑤	【次回のログインを省略する】 ログイン情報をキャッシュします。
⑥	【ログインボタン】 パーソナルコントローラ画面にログインします。

2 システム設定

システム管理者画面【システム設定】

ここからは管理者画面での **Active!gate SS**のお知らせ管理やプロパティ情報、パーソナルコントローラでの環境設定等を含めた基本設定を行います。

2.1 通知メール設定

Active!gate SSから配送される、通知メールに関する設定を行います。送信者（ユーザ）、受信者（各宛先）の各通知メールの定型文、使用する言語の設定や変更が可能です。

2.1.1 送信者向け通知メール管理

送信者（ユーザ）に配送される通知メールを設定・変更します。各言語に合わせ自由に定型文をカスタマイズする事が可能です。

各通知メールには「マクロ」が実装されています。これにより「件名」や「各宛先」等を動的に出力する事が可能です。各通知メールの「マクロ」についてはWeb画面の説明を参照して下さい。本誌での説明は補足が必要な箇所にも記載させていただきます。



メモ

通知メールのデフォルトの言語は「システムポリシー（標準） - 送信者向け通知メールの言語」にて決定されます。詳細は、後述 174ページ：「システムポリシー（標準） - 送信者向け通知メールの言語」を参照して下さい。



注意

送信者（ユーザ）がパーソナルコントローラ上から「受信通知メール設定」の変更を行った場合は、そちらの設定が優先されます。詳細は、別紙「パーソナルコントローラマニュアル - プロパティ」を参照して下さい。

言語選択

1

【言語選択】

変更したい定型文の言語をプルダウンの中から選択します。選択後、自動で各通知メールの内容が切り替わります。

選択できる言語は「送信者向け言語管理」にて登録した言語数により変わります。詳細は、後述 61ページ：「送信者向け言語管理」を参照して下さい。

[+] 送信拒否に対する通知メール

 【送信拒否の通知メール (Failure Notice)】

送信拒否のポリシーによりメールが拒否された場合、送信者に配送される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

☐ 送信拒否に対する通知メール

✉ 送信拒否の通知メール(Failure Notice)

🔔 送信拒否ポリシーによりメールが拒否された場合に、送信者に返送される通知メールです。

送信者のメールアドレス 1

メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```

=====
メール配送拒否のお知らせ
=====
以下のメールは管理者の設定により送信拒否されました。
[件名] %SUBJECT%
[拒否理由] %REJECT%
  
```

3

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%REJECT%	拒否ポリシー名	
%SYSTEM_REJECT%	拒否ポリシー名(システム)	
%REJECTED_ADDRESSES%	拒否された受信者のメールアドレス一覧	- taro@example.com - jiro@example.jp

OK 4

1 【送信者のメールアドレス】

メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス) を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。

2 【件名】

[配送拒否] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

3 【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

 **マクロ補足**

%REJECT% :
管理者が作成した拒否ポリシー名以外に、Active!gate SS上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシー名（システム）も含まれます。

%REJECTED_ADDRESSES% :
「送信拒否」ポリシーによって拒否された宛先のメールアドレスを抽出して表示します。
表示対象となる拒否アドレスの条件は下記の通りです。
[宛先]

- ・ —
- ・ 存在する、のみが存在する
- ・ キーワード
- ・ メールアドレス
- ・ メールアドレス（存在する）
- ・ ドメイン（存在する）
- ・ グループ
- ・ 送信履歴
- ・ DNSが引けない

 **メモ**

Active!gate SS上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシーには、添付ファイルのファイル名が255文字より長い場合が該当します。拒否ポリシー名（システム）についての詳細は、前述 6ページ：「留意事項」を参照して下さい。

4 【OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

【拒否メール転送の通知メール】

送信拒否ポリシーによりメールが拒否された場合、拒否メール転送にて設定した転送者に配送される通知メールです。このメールは外部宛にも配信します。

☑ 送信拒否に対する通知メール

☑ 送信拒否の通知メール(Failure Notice)

☑ 拒否メール転送の通知メール

🔔 送信拒否ポリシーによりメールが拒否された場合に、「拒否メール転送」にて設定した転送者に返送される通知メールです。このメールは設定によっては外部宛にも配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```

=====
メール配送拒否のお知らせ
=====
以下のメールは管理者の設定により送信拒否されました。

【件名】 %SUBJECT%
【送信者の名前】 %SENDER_NAME%
【送信者のメールアドレス】 %SENDER_ADDR%
【拒否理由】 %REJECT%
  
```

③

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%REJECT%	拒否ポリシー名	
%SYSTEM_REJECT%	拒否ポリシー名(システム)	
%REJECTED_ADDRESSES%	拒否された受信者のメールアドレス一覧	- taro@example.com - jiro@example.jp

④

① 【送信者のメールアドレス】

メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
 Defaultはpostmaster@hostnameです。

② 【件名】

[拒否メール転送] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

3 【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

 **マクロ補足**

%REJECT% :
管理者が作成した拒否ポリシー名以外に、Active!gate SS上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシー名（システム）も含まれます。

%REJECTED_ADDRESSES% :
「送信拒否」ポリシーによって拒否された宛先のメールアドレスを抽出して表示します。
表示対象となる拒否アドレスの条件は下記の通りです。
[宛先]
・—
・存在する、のみが存在する
・キーワード
・メールアドレス
・メールアドレス（存在する）
・ドメイン（存在する）
・グループ
・送信履歴
・DNSが引けない

 **メモ**

Active!gate SS上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシーには、添付ファイルのファイル名が255文字より長い場合が該当します。拒否ポリシー名（システム）についての詳細は、前述 6ページ：「留意事項」を参照して下さい。

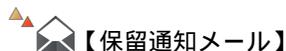
4 【OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

**メモ**

上記、送信拒否に対する通知メールについての詳細は、後述 120ページ：「送信拒否」を参照して下さい。

[+] 保留に対する通知メール



Active!gate SSサーバにメールが保留された場合、送信者に配信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

保留に対する通知メール

保留通知メール

Active!gateサーバにメールが保留された場合に、送信者に配信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。 ②

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール配送保留のお知らせ ③

現在メールが保留されています。以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
[URL] %URL%

※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。
※保留されたメールは%HOLD_END_DATE%に、自動的に%ACTION%されます。 ④

配送時の「%ACTION%」の内容 ④

削除時の「%ACTION%」の内容 ④

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%URL%	保留メールへのワンドタイムURL	
%SEND_URL%	保留メールの保留解除ワンドタイムURL	
%CANCEL_URL%	保留メールの削除ワンドタイムURL	
%HOLD_END_DATE%	保留期間	2000-12-17 15:24:41 +0900
%ACTION%	保存期間経過後の処理	配送, 削除 ⑤

OK

①	<p>【送信者のメールアドレス】</p> <p>メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。</p>
②	<p>【件名】</p> <p>[配送保留] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。</p>
③	<p>【本文部分】</p> <p>画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> マクロ補足</p> <p>%SEND_URL% : 保留メールの保留解除ワンドタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的に保留解除を行う事が可能です。（承認機能をご利用されている場合、保留解除後、承認待ちの状態に移行します。）</p> <p>%CANCEL_URL% : 保留メールの削除ワンドタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの削除処理を行う事が可能です。</p> </div>
④	<p>【マクロの内容】</p> <p>マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。</p>
⑤	<p>【OK ボタン】</p> <p>設定の確定時に実行します。</p>

【保留通知メールのリマインダー】

指定した保留後設定期間経過後に、送信者に配信されるリマインダーメールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

保留に対する通知メール

保留通知メールのリマインダー

指定した保留期間経過後に、送信者に配信されるリマインダーメールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール配送保留のお知らせ(再) ③

現在メールが保留されています。以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
[URL] %URL%

※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。
※保留されたメールは%HOLD_END_DATE%に、自動的に%ACTION%されます。

配送時の「%ACTION%」の内容 ④

削除時の「%ACTION%」の内容

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%URL%	保留メールへのワントタイムURL	
%SEND_URL%	保留メールの保留解除ワントタイムURL	
%CANCEL_URL%	保留メールの削除ワントタイムURL	
%HOLD_END_DATE%	保留期間	2000-12-17 15:24:41 +0900
%ACTION%	保存期間経過後の処理	配送, 削除 ⑤

OK

- ① 【送信者のメールアドレス】**
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。
- ② 【件名】**
[再: 配送保留] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
- ③ 【本文部分】**
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

⚙️ マクロ補足

%SEND_URL% :
保留メールの保留解除ワントタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的に保留解除を行う事が可能です。(承認機能をご利用されている場合、保留解除後、承認待ちの状態に移行します。)

%CANCEL_URL% :
保留メールの削除ワントタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの削除処理を行う事が可能です。
- ④ 【OK ボタン】**
設定の確定時に実行します。

【メール削除の通知メール】

ポリシーによる保留後メールが自動削除された場合、送信者に配信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

保留に対する通知メール
メール削除の通知メール

① ポリシーによる保留後メールが自動削除された場合に、送信者に返送される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

保留メール削除のお知らせ ③

以下のメールは保留期限(%HOLD_END_DATE%)内に配達されませんでしたので、自動的に削除されました。

【件名】%SUBJECT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%HOLD_END_DATE%	保留期間	2000-12-17 15:24:41 +0900

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

【パスワード未設定メールの削除通知】

パスワード未設定の為に保留され、設定された期間経過後削除された場合、送信者に配信される通知メールです。このメールは内部宛にのみ配信します。

保留に対する通知メール
 パスワード未設定メールの削除通知

 パスワード未設定のために保留され、設定された期間経過後削除された場合に、送信者に返送される通知メールです。このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス 

メールを送信するFromアドレスを設定します。 

件名 

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

=====
 パスワード未設定メール削除のお知らせ
 =====



以下のメールは保留期限内に添付ファイルのパスワードが設定されませんでしたので、自動的に削除されました。

【件名】 %SUBJECT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp



1	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
2	【件名】 [メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
3	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
4	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

[+] 添付ファイル変換に対する通知メール

 【送信者向け暗号化ファイルのパスワード通知メール】

暗号化された添付ファイルのパスワードを内部の送信者に通知するメールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

添付ファイル変換に対する通知メール

送信者向け暗号化ファイルのパスワード通知メール

? パスワード付き暗号化ファイルのパスワードを内部の送信者に通知するメールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス

メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```
=====
添付ファイルパスワードのお知らせ
=====

[件名] %SUBJECT%

■メールアドレス、パスワードは以下の通りです。

%LOOP:START%
[メールアドレス] %MAILADDRESS%
[ファイル名] %FILENAME%
[パスワード] %PASSWORD%
[ヒント] %PASSWORD_HINT%
=====

%LOOP:END%
```

ヒントがない場合の「%PASSWORD_HINT%」の内容

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%URL%	送信後メール詳細画面のURL	
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%FILENAME%	暗号化したファイルのファイル名	200801010000.zip
%PASSWORD%	暗号化したファイルのパスワード	pAs8vv0r1
%PASSWORD_HINT%	暗号化したファイルのヒント	貴社の代表電話番号
%SEND_URL%	パスワード通知メールの配達ワнтаムURL	
%CANCEL_URL%	パスワード通知メールの破棄ワнтаムURL	
%LOOP:START%	繰り返し項目 開始	
%LOOP:END%	繰り返し項目 終了	
%REFER%	元のメールの本文	

① 【送信者のメールアドレス】

メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。

② 【件名】

[パスワード通知(自分宛)] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

③ 【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

⚙️ マクロ補足

%LOOP:START% ~ %LOOP:END% :
START ~ ENDの間に記述されたマクロ及び文章は送信した宛先数分、繰り返されます。

④ 【マクロの内容】

マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。

⑤ 【OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

【送信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール】

ダウンロード機能を使用する際のダウンロードセンターのパスワードを送信者に対して通知するメールです。LOOP:START ~ LOOP:ENDの間は宛先数分繰り返します。

添付ファイル変換に対する通知メール

送信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール

webダウンロード機能を使用する時に、ダウンロードセンターのパスワードを送信者に通知するメールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```

=====  

添付ファイルダウンロードセンターパスワードのお知らせ  

=====  

【件名】%SUBJECT%  

■メールアドレス、パスワードは以下の通りです。  

-----  

%LOOP:START%  

【メールアドレス】%MAILADDRESS%  

【パスワード】%PASSWORD%  

【ヒント】%PASSWORD_HINT%  

-----  

%LOOP:END%

```

ヒントがない場合の「%PASSWORD_HINT%」の内容 ④

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%URL%	送信後メール詳細画面のURL	
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%PASSWORD%	パスワード	pAs8vv0rl
%PASSWORD_HINT%	ヒント	貴社の代表電話番号
%SEND_URL%	パスワード通知メールの配送ワントタイムURL	
%CANCEL_URL%	パスワード通知メールの破棄ワントタイムURL	
%LOOP:START%	繰り返し項目 開始	
%LOOP:END%	繰り返し項目 終了	
%REFER%	元のメールの本文	

OK ⑤

- ① 【送信者のメールアドレス】**
- メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。
- ② 【件名】**
- [パスワード通知(自分宛)] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
- ③ 【本文部分】**
- 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
- マクロ補足**
 %LOOP:START% ~ %LOOP:END% :
 START ~ END の間に記述されたマクロ及び文章は送信した宛先数分、繰り返されます。
- ④ 【マクロの内容】**
- マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。
- ⑤ 【OK ボタン】**
- 設定の確定時に実行します。

[+] 配送に対する通知メール


【配送遅延通知メール (Delivery Status Notification)】

設定された期間以上メールの配送が遅延した場合、送信者に配信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信します。

配送に対する通知メール

配送遅延通知メール(Delivery Status Notification)

? 設定された期間以上メールの配送が遅延した場合に、送信者に配信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス **1**
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 **2**

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール配送遅延のお知らせ **3**

以下のメールは現在配送が遅延しています。

[件名] %SUBJECT%

[元メール受信日時] %RECV_TIME%

[宛先] %MAILADDRESS%

[遅延理由] %RECV_MTA_MSG%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RECV_TIME%	元メール受信日時	2008-12-17 15:24:41
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%RECV_MTA_MSG%	遅延のメッセージ	

4

1	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
2	【件名】 [配送遅延] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
3	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
4	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

【配送失敗通知メール (Failure Notice)】

相手のメールサーバからのエラー応答、又は、設定されたリトライ期間経過後、送信者に返信される通知メールです。このメールは内部宛にのみ配信します。

☐ 配送に対する通知メール

☐ 配送失敗通知メール(Failure Notice)

❗ 相手のメールサーバからのエラー応答、又は、設定されたリトライ期間経過後、送信者に返信される通知メールです。
このメールは内部宛にのみ配信されます。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

=====

メール配送失敗のお知らせ ③

以下のメールの配送が失敗しました。

[件名] %SUBJECT%

[元メール受信日時] %RECV_TIME%

[宛先] %MAILADDRESS%

[失敗理由] %RECV_MTA_MSG%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%URL%	配送メール詳細画面のURL	
%RECV_TIME%	元メール受信日時	2008-12-17 15:24:41
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%RECV_MTA_MSG%	遅延のメッセージ	

OK ④

- | | |
|----------|---|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| ② | 【件名】
[配送失敗] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

[+] 承認依頼通知メール

 【承認依頼通知メール（承認者）】

メールが承認待ちで、承認権限が承認者の場合、その承認者に対して通知するメールです。

承認依頼通知メール

承認依頼通知メール(承認者)

① メールが承認待ちで、承認権限が承認者の場合、その承認者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認依頼のお知らせ ③

現在以下のメールが承認待ちの状態です。URLを参照して承認期限までに承認作業を完了させてください。

[件名] %SUBJECT%
[送信者の名前] %SENDER_NAME%
[送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
[承認期限] %APPROVAL_END_DATE%
[URL] %APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	

マクロ	説明	例
%APPROVE_URL%	承認メールの簡単承認ワンタイムURL	
%REJECT_URL%	承認メールの簡単差し戻しワンタイムURL	

④ OK

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】 [承認依頼] %SUBJECT% の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

 **マクロ補足**

- %APPROVE_URL%** :
 簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認処理を行う事が可能です。
- %REJECT_URL%** :
 簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの差し戻し処理を行う事が可能です。

【承認依頼通知メール（不在代理者）】

メールが承認待ちで、承認権限が不在代理者の場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

承認依頼通知メール

承認依頼通知メール(不在代理者)

① メールが承認待ちで、承認権限が不在代理者の場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認依頼のお知らせ

③ 現在以下のメールが承認待ちの状態です。URLを参照して承認期限までに承認作業を完了させてください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [元の承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [元の承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [承認期限] %APPROVAL_END_DATE%
 [URL] %APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVE_URL%	承認メールの簡単承認ワンタイムURL	
%REJECT_URL%	承認メールの簡単差し戻しワンタイムURL	

④

- ① 【送信者のメールアドレス】
 - メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。
 - ② 【件名】
 - [承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
 - ③ 【本文部分】
 - 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
- マクロ補足**

%APPROVE_URL% :
簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認処理を行う事が可能です。

%REJECT_URL% :
簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの差し戻し処理を行う事が可能です。
- ④ 【OK ボタン】
 - 設定の確定時に実行します。

【承認依頼通知メール（代理者）】

メールが承認待ちで、承認権限が代理者の場合、その代理者に対して通知するメールです。

承認依頼通知メール

承認依頼通知メール(代理者)

メールが承認待ちで、承認権限が代理者の場合、その代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認依頼のお知らせ

以下のメールの承認が依頼されました。URLを参照して承認期限までに承認作業を完了させてください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [元の承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [元の承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [承認期限] %APPROVAL_END_DATE%
 [URL] %APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVE_URL%	承認メールの簡単承認ワンタイムURL	
%REJECT_URL%	承認メールの簡単差し戻しワンタイムURL	

OK ④

- ① 【送信者のメールアドレス】**
 - メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。
 - ② 【件名】**
 - [承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
 - ③ 【本文部分】**
 - 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
- マクロ補足**

%APPROVE_URL% :
簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認処理を行う事が可能です。

%REJECT_URL% :
簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの差し戻し処理を行う事が可能です。
- ④ 【OK ボタン】**
 - 設定の確定時に実行します。


【承認依頼リマインダー】

指定した承認依頼リマインダーの間隔と回数分、承認する担当者に対して承認依頼を再通知するメールです。

☐ 承認依頼通知メール

☐ 承認依頼リマインダー

① 指定した承認依頼リマインダーの間隔と回数分、承認する担当者に対して承認依頼を再通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認依頼のお知らせ (再) ③

以下のメールの承認待ちの状態です。URLを参照して承認期限までに承認作業を完了させてください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [承認期限] %APPROVAL_END_DATE%
 [URL] %APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVE_URL%	承認メールの簡単承認ワンタイムURL	
%REJECT_URL%	承認メールの簡単差し戻しワンタイムURL	

OK ④

- | | |
|----------|--|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| ② | 【件名】
[再: 承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> マクロ補足 </div> <p>%APPROVE_URL% :
 簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認処理を行う事が可能です。</p> <p>%REJECT_URL% :
 簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの差し戻し処理を行う事が可能です。</p> |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【承認待ち通知メール（送信者）】

メールが承認待ちの場合、送信者に対して通知するメールです。

承認依頼通知メール

承認待ち通知メール(送信者)

メールが承認待ちの場合、送信者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認待ちのお知らせ ③

以下のメールが承認待ちになりました。
詳細は以下のURLから確認できます。

[件名] %SUBJECT%
 [承認者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%
 [承認期限] %APPROVAL_END_DATE%
 [URL] %APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	

④

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】 [承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

[+] 承認権限移動通知メール


【承認権限移動通知メール（前の承認担当者）】

承認権限が移動した場合、前の承認担当者に対して権限が移動した事を通知するメールです。

承認権限移動通知メール

承認権限移動通知メール(前の承認担当者)

① 承認権限が移動した場合、前の承認担当者に対して権限が移動した事を通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認権限移動のお知らせ

③

依頼していたメールの承認権限が移動しました。

[件名] %SUBJECT%

[送信者の名前] %SENDER_NAME%

[送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%

[現在の承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%

[現在の承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%

[承認期限] %APPROVAL_END_DATE%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	

④

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。
②	【件名】 [承認権限移動] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

[+] 代理者選択可能通知メール

 【代理者選択可能通知メール（送信者）】

代理者が選択可能になった場合、送信者に対して通知するメールです。

代理者選択可能通知メール

代理者選択可能通知メール(送信者)

代理者が選択可能になった場合、送信者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

代理者選択可能のお知らせ ③

承認代理者の選択が可能になりました。
承認者の変更が必要な場合、以下のURLを参照して承認者の変更を行ってください。

【件名】%SUBJECT%
 【承認者の名前】%ORG_APPROVER_NAME%
 【承認者のメールアドレス】%ORG_APPROVER_ADDR%
 【承認期限】%APPROVAL_END_DATE%
 【URL】%APPROVAL_URL%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVAL_END_DATE%	承認待ち期限	
%APPROVAL_URL%	承認URL	

OK ④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[代理者選択依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

[+] 承認結果通知メール

 【承認済通知メール（承認者）】

承認者が承認した場合、その承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

承認結果通知メール
承認済通知メール(承認者)

承認者が承認した場合、その承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス

件名

本文部分

メールを送信するFromアドレスを設定します。

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

承認済のお知らせ

メールが承認されました。
詳細は以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
[送信者の名前] %SENDER_NAME%
[送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
[URL] %APPROVAL_URL%
[コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

- | | |
|----------|--|
| 1 | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostname です。 |
| 2 | 【件名】
[承認済] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| 3 | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| 4 | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【承認済通知メール（不在代理者・代理者）】

不在代理者・代理者が承認した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して承認済み通知メールを送ります。

承認結果通知メール

承認済通知メール(不在代理者・代理者)

不在代理者・代理者が承認した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して承認済み通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認済のお知らせ ③

メールが承認されました。詳細は以下のURLを参照してください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [元の承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [元の承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	jiro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

OK ④

- | | |
|----------|--|
| ① | 【送信者のメールアドレス】 |
| | メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| ② | 【件名】 |
| | [承認済] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】 |
| | 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】 |
| | 設定の確定時に実行します。 |

【承認済通知メール（承認者[不在代理者・代理者が承認した場合]）】

不在代理者・代理者が承認した場合、元の承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

承認結果通知メール

承認済通知メール(承認者[不在代理者・代理者が承認した場合])

① 不在代理者・代理者が承認した場合、元の承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認済のお知らせ ③

以下のメールが代理者によって承認されました。詳細は以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

④

- | | |
|----------|--|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostname です。 |
| ② | 【件名】
[承認済] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【承認済通知メール（送信者）】

メールが承認済みの場合、送信者に対して通知するメールです。

承認結果通知メール

承認済通知メール(送信者)

メールが承認済みの場合、送信者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認済のお知らせ ③

メールが承認されました。
 詳細は以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[承認済] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。


【差戻し通知メール（承認者）】

承認者が差戻した場合、その承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

承認結果通知メール
 差戻し通知メール(承認者)

 承認者が差戻した場合、その承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス 
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

=====

差戻しのお知らせ 

=====

メールが差戻されました。
 詳細は以下のURLを参照して確認してください。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	



- | | |
|----------|---|
| 1 | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| 2 | 【件名】
[差戻し] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| 3 | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| 4 | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【差戻し通知メール（不在代理者・代理者）】

不在代理者・代理者が差し戻した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して差戻し通知メールを送ります。

承認結果通知メール

差戻し通知メール(不在代理者・代理者)

不在代理者・代理者が差戻した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して差戻し通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```
=====
差戻しのお知らせ
=====
メールが差戻されました。詳細は以下のURLを参照してください。
③

【件名】%SUBJECT%
【送信者の名前】%SENDER_NAME%
【送信者のメールアドレス】%SENDER_ADDR%
【元の承認者の名前】%ORG_APPROVER_NAME%
【元の承認者のメールアドレス】%ORG_APPROVER_ADDR%
【URL】%APPROVAL_URL%
【コメント】%APPROVER_COMMENT%
```

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

OK ④

- | | |
|----------|---|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| ② | 【件名】
[差し戻し] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【差戻し通知メール（承認者[不在代理者・代理者が差戻した場合]）】

不在代理者・代理者が差戻した場合、元の承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

承認結果通知メール

差戻し通知メール(承認者[不在代理者・代理者が差戻した場合])

① 不在代理者・代理者が差戻した場合、元の承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

差戻しのお知らせ

以下のメールが代理者によって差戻されました。詳細は以下のURLを参照してください。③

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

④

- | | |
|----------|--|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostname です。 |
| ② | 【件名】
[差戻し] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【差戻し通知メール（送信者）】

メールが差し戻しの場合、送信者に対して通知するメールです。

承認結果通知メール

差戻し通知メール(送信者)

不在代理者・代理者が差戻した場合、元の承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

差戻しのお知らせ ③

=====
 メールが差戻されました。
 詳細は以下のURLを参照してください。

[件名] %SUBJECT%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%
 [URL] %APPROVAL_URL%
 [コメント] %APPROVER_COMMENT%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

マクロ	説明	例
%APPROVAL_URL%	承認URL	
%APPROVER_COMMENT%	承認者のコメント	

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[差戻し] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

[+] 承認期間経過通知メール


【承認期間経過通知メール（承認者）】

承認者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その承認者に対して通知するメールです。

承認期間経過通知メール

承認期間経過通知メール(承認者)

① 承認者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その承認者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール削除のお知らせ ③

以下のメールは承認期限内に承認されませんでしたので、自動的に削除されました。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。
②	【件名】
	[メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

【承認期間経過通知メール（不在代理者・代理者）】

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その不在代理者・代理者に対して通知するメールです。

承認期間経過通知メール

承認期間経過通知メール(不在代理者・代理者)

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その不在代理者・代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。 ②

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール削除のお知らせ ③

以下のメールは承認期限内に承認されませんでしたので、自動的に削除されました。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [元の承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [元の承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

【承認期間経過通知メール（承認者[不在代理者・代理者が承認担当の場合]）】

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、元の承認者に対して通知するメールです。

承認期間経過通知メール

承認期間経過通知メール(承認者[不在代理者・代理者が承認担当の場合])

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、元の承認者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス 1
メールを送信するfromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール削除のお知らせ 3

以下のメールは承認期限内に承認されませんでしたので、自動的に削除されました。

[件名] %SUBJECT%
 [送信者の名前] %SENDER_NAME%
 [送信者のメールアドレス] %SENDER_ADDR%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

4

- | | |
|----------|---|
| 1 | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| 2 | 【件名】
[メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| 3 | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| 4 | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

【承認期間経過通知メール（送信者）】

メールが承認期間を過ぎ、承認されなかった場合、送信者に対して通知するメールです。

承認期間経過通知メール

承認期間経過通知メール(送信者)

メールが承認期間を過ぎ、承認されなかった場合、送信者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

メール削除のお知らせ ③

以下のメールは承認期限内に承認されませんでしたので、自動的に削除されました。

[件名] %SUBJECT%
 [承認担当者の名前] %APPROVAL_AUTH_NAME%
 [承認担当者のメールアドレス] %APPROVAL_AUTH_ADDR%

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%RCPTTO%	受信者のメールアドレス	jiro@example.jp
%APPROVAL_AUTH_NAME%	承認権限者のユーザ名	
%APPROVAL_AUTH_ADDR%	承認権限者のメールアドレス	taro@example.jp

OK ④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[メール削除] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

[+] 承認設定に関する通知メール



承認者を設定した場合、その承認者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

承認者設定

承認者を設定した場合、その承認者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認者設定のお知らせ ③

承認者として設定されました。

OK ④

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。
②	【件名】 [承認者設定] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

 【承認者解除】

承認者を解除した場合、その承認者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

承認者解除

承認者を解除した場合、その承認者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

承認者設定解除のお知らせ ③

承認者設定が解除されました。

現在承認作業中のメールが残っている場合は引き続き作業を完了させてください。

④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[承認者設定解除] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。


【不在代理者設定・変更】

不在代理者を設定、又は変更した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

不在代理者設定・変更

不在代理者を設定、又は変更した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス 1
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

不在代理者設定変更のお知らせ 3

承認者(%ORG_APPROVER_ADDR%)の不在代理者として設定されました。
 以下の不在期間は承認者に代わって承認作業を行ってください。

[承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [不在設定期間] %APPROVER_ABSENCE_START_TIME% ~ %APPROVER_ABSENCE_END_TIME%

マクロ	説明	例
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVER_ABSENCE_START_TIME%	承認権限開始日時	2010-12-17 15:30:00
%APPROVER_ABSENCE_END_TIME%	承認権限終了日時	2010-12-17 16:30:00

OK 4

1	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。
2	【件名】 [不在代理者設定・変更] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
3	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
4	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

 【不在代理者解除】

不在代理者を解除した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

不在代理者解除

不在代理者を解除した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

不在代理者設定解除のお知らせ ③

承認者(%ORG_APPROVER_ADDR%)の以下の不在代理者としての設定が解除されました。

[承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [不在設定期間] %APPROVER_ABSENCE_START_TIME% ~ %APPROVER_ABSENCE_END_TIME%

マクロ	説明	例
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVER_ABSENCE_START_TIME%	承認権限開始日時	2010-12-17 15:30:00
%APPROVER_ABSENCE_END_TIME%	承認権限終了日時	2010-12-17 16:30:00

OK ④

①	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostnameです。
②	【件名】
	[不在代理者設定解除] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。


【代理者 設定】

代理者を設定した場合、その代理者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

代理者設定

代理者を設定した場合、その代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス 1
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

代理者設定のお知らせ 3

承認者(%ORG_APPROVER_ADDR%)の代理者として設定されました。

承認者が承認作業を行えない場合には、代理として承認依頼が来る場合があります。

[承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%

マクロ	説明	例
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	itaro@example.jp

 4

1	【送信者のメールアドレス】
	メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。
2	【件名】
	[代理者設定] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
3	【本文部分】
	画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
4	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

 【代理者解除】

代理者を解除した場合、その代理者に対して通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

代理者解除

代理者を解除した場合、その代理者に対して通知するメールです。

送信者のメールアドレス 1
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

代理者設定解除のお知らせ 3

承認者(%ORG_APPROVER_ADDR%)の代理者としての設定が解除されました。

現在承認作業中のメールが残っている場合は引き続き作業を完了させてください。

[承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%

マクロ	説明	例
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp

4

- | | |
|----------|--|
| 1 | 【送信者のメールアドレス】 |
| | メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostnameです。 |
| 2 | 【件名】 |
| | [代理者設定解除] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。 |
| 3 | 【本文部分】 |
| | 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| 4 | 【OK ボタン】 |
| | 設定の確定時に実行します。 |


【不在期間 開始】

不在期間開始を通知するメールです。

承認設定に関する通知メール

不在期間開始

不在期間開始を通知するメールです。

送信者のメールアドレス 1
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 2

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

不在代理期間開始のお知らせ 3

承認者(%ORG_APPROVER_ADDR%)の不在代理者としての期間が開始されました。

[承認者の名前] %ORG_APPROVER_NAME%
 [承認者のメールアドレス] %ORG_APPROVER_ADDR%
 [不在設定期間] %APPROVER_ABSENCE_START_TIME% ~ %APPROVER_ABSENCE_END_TIME%

マクロ	説明	例
%ORG_APPROVER_NAME%	承認者のユーザ名	
%ORG_APPROVER_ADDR%	承認者のメールアドレス	taro@example.jp
%APPROVER_ABSENCE_START_TIME%	承認権限開始日時	2010-12-17 15:30:00
%APPROVER_ABSENCE_END_TIME%	承認権限終了日時	2010-12-17 16:30:00

 4

- | | |
|----------|--|
| 1 | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultはpostmaster@hostname です。 |
| 2 | 【件名】
[不在設定開始] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。 |
| 3 | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| 4 | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |

2.1.2 受信者向け通知メール管理

受信者（各宛先）に配送される通知メールを設定・変更します。各言語に合わせ自由に定型文をカスタマイズする事が可能です。

各通知メールには「マクロ」が実装されています。これにより「件名」や「各宛先」等を動的に出力する事が可能です。各通知メールの「マクロ」についてはWeb画面の説明を参照して下さい。本誌での説明は補足が必要な箇所にのみ記載させて頂きます。



メモ

受信者向け通知メールのデフォルトは「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」にて決定されます。詳細は、後述 174ページ：「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。



注意

受信者向け通知メール等の「ポリシー」と呼ばれる条件の設定は、各設定画面ごとで優先順位が変更されます。詳細は、後述 183ページ：「ポリシーチェーン管理」を参照して下さい。

言語選択

システム設定 / 通知メール管理 / 受信者向け通知メール管理

Active! gateから配送する、メール受信者向けの通知メールの内容を設定します。通知メールの種類はポリシーにより決定されます。これらのメールは外部宛にのみ配信されます。

標準 (日本語) ▼

- 標準 (日本語)
- 標準 (英語) 知文 (元メールの文頭に追加される物)
- 標準 (中国語)
- 標準 (韓国語) イールのパスワード通知メール

ダウンロードセンターURL通知文 (元メールの文頭に追加される物)

ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)

1

【種別選択】

通知メールの種類をプルダウンの中から選択します。選択後、自動で各通知メールの内容が切り替わります。

選択できる種類は「受信者向け種別管理」にて登録した数により変わります。

[+] 添付ファイル変換に対する通知メール

 【添付ファイル暗号化通知文（元メールの文頭に追加される物）】

添付ファイルをパスワード付きファイルに暗号化した場合に元のメールの文頭に追加される通知文です。



メモ

元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」にあります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 174ページ : 「システムポリシー（標準） - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

 添付ファイル暗号化通知文 (元メールの文頭に追加される物)

 パスワード付きファイルに暗号化した場合に元のメールの文頭に追加される通知文です。元メールの文字コードに変換できない場合はシステムの標準の通知文が使用されます。

本文部分

添付ファイル暗号zip化のお知らせ 1

本メールの添付ファイルはパスワード付きzipファイルにて暗号化されております。
パスワードは別メールにてご案内いたしますので、しばらくお待ち下さい。

 2

1

【本文部分】

画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。

2

【OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

【受信者向け暗号化ファイルのパスワード通知メール】

添付ファイルをパスワード付き暗号化ファイルに暗号化した場合に、復号化させる為のパスワードを送り先に通知するメールです。

受信者向け暗号化ファイルのパスワード通知メール

① パスワード付き暗号化ファイルのパスワードを送り先に通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①
メールを送信するFromアドレスを設定します。

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

添付ファイルパスワードのお知らせ ③

先程送りましたメールの添付ファイルのパスワードをお知らせします。

[件名] %SUBJECT%
 [ファイル名] %FILENAME%
 [%PASSWORD_TYPE%] %PASSWORD%

パスワードの場合の「%PASSWORD_TYPE%」の内容 ④

ヒントの場合の「%PASSWORD_TYPE%」の内容

ヒントがない場合の「%PASSWORD%」の内容

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%FILENAME%	暗号化したファイルのファイル名	200801010000.zip
%PASSWORD_TYPE%	「パスワード」/「ヒント」	ヒント
%PASSWORD%	暗号化したファイルのパスワード ヒントがある場合はヒント	pAs8vv0rl 貴社の代表電話番号
%REFER%	元のメールの本文	

⑤

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Default は空です。
②	【件名】 [パスワード通知] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【マクロの内容】 マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。
⑤	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

【ダウンロードセンターURL通知文（元メールの文頭に追加される物）】

webダウンロード機能を使用する際に、「本文の文頭に追加する」を選択した場合に元のメールの文頭に追加される通知文です。ファイルダウンロード画面へのURLや受信者のメールアドレス等を元のメールの文頭に追加します。



メモ

元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」にあります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 174ページ：「システムポリシー（標準） - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

📧 ダウンロードセンターURL通知文 (元メールの文頭に追加される物)

🔔 webダウンロード機能を使用する時に、ファイルダウンロード画面のURLを通知するために元メールの文頭に追加される通知文です。元メールの文字コードに変換できない場合はシステムの標準の通知文が使用されます。

本文部分

添付ファイル分離のお知らせ

本メールの添付ファイルは予め分離されております。添付ファイルのダウンロードセンターは下記のURLになりますので、お手数ですが、こちらからアクセスして取得して下さい。

[URL] %URL%
[メールアドレス] %MAILADDRESS%

※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。

マクロ	説明	例
%URL%	ダウンロードセンターのURL (内部宛=内部用URL, 外部宛=外部用URL)	
%EXTURL%	ダウンロードセンターのURL (宛に外部用URL)	
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%ATTACH_FILES%	添付ファイル一覧 (添付ファイル暗号化ポリシーが適用された場合、圧縮ファイル名が出力されます。)	- attach_file.docx - attach_file.pdf

OK

1

【本文部分】

画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。



マクロ補足

%ATTACH_FILES% :

メール内の添付ファイル一覧を表示します。

本文の文字セットで添付ファイル名が変換できなかった場合、メール本文がUTF-8に変更されます。ただし、UTF-8でも変換できない文字列が含まれる添付ファイル名は、文字列が正しく表示されない場合があります。

2

【OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

【ダウンロードセンターURL通知メール（別メールで配送される物）】

webダウンロード機能を使用する際に、「別メールで配送する」を選択した場合に追加される通知文です。ファイルダウンロード画面へのURLや受信者のメールアドレス等を別メールにて通知します。

📧 ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)

📌 webダウンロード機能を使用する時のファイルダウンロード画面のURLを通知するメールです。

送信者のメールアドレス ①

件名 ②

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

```

=====
添付ファイルダウンロードセンターのお知らせ
=====
先程送りましたメールの添付ファイルのダウンロード場所をお知らせします。③
【件名】 %SUBJECT%
【URL】 %URL%
【メールアドレス】 %MAILADDRESS%
※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。

```

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%URL%	ダウンロードセンターのURL (内部宛=内部用URL, 外部宛=外部用URL)	
%EXTURL%	ダウンロードセンターのURL (常に外部用URL)	
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%ATTACH_FILES%	添付ファイル一覧 (添付ファイル暗号化ポリシーが適用された場合、圧縮ファイル名が出力されます。)	- attach_file.docx - attach_file.pdf

OK ④

- | | |
|----------|---|
| ① | 【送信者のメールアドレス】
メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。
Defaultは空です。 |
| ② | 【件名】
[ダウンロードセンター通知] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。 |
| ③ | 【本文部分】
画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。 |
| ④ | 【OK ボタン】
設定の確定時に実行します。 |
- ⚙️ マクロ補足**

%ATTACH_FILES% :
 メール内の添付ファイル一覧を表示します。
 通知メールはUTF-8で生成されます。ただし、UTF-8でも変換できない文字列が含まれる添付ファイル名は、文字列が正しく表示されない場合があります。

【ダウンロードパスワード配送通知文（元メールの文頭に追加される物）】

webダウンロード機能を使用する際に、ログインパスワードは別メールで配送される事が、元メールの文頭に追加される通知文です。



メモ

元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」にあります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 174ページ : 「システムポリシー（標準） - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

 ダウンロードセンターパスワード配送通知文 (元メールの文頭に追加される物)

 webダウンロード機能を使用する時に元のメールの文頭に追加される通知文です。元メールの文字コードに変換できない場合はシステムの標準の通知文が使用されます。これは外部宛にも配信されます。

本文部分

ダウンロードセンターのパスワードは別メールで配送致します。
しばらくお待ち下さい。



1	【本文部分】
	画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。
2	【OK ボタン】
	設定の確定時に実行します。

【受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール】

web ダウンロード機能を使用する際のダウンロードセンターのパスワードを受信者に通知するメールです。

✉ 受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール

① webダウンロード機能を使用する時のダウンロードセンターのパスワードを受信者に通知するメールです。

送信者のメールアドレス

件名

メールを送信するFromアドレスを設定します。

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて

本文部分

=====
 添付ファイルダウンロードセンターパスワードのお知らせ
 =====

先程送りましたメールの添付ファイルのダウンロード場所のパスワードをお知らせします。

③

【件名】 %SUBJECT%
 【パスワード】 %PASSWORD%

※ダウンロードセンターのURLは別のメールでお知らせします。

パスワードの場合の「%PASSWORD_TYPE%」の内容

ヒントの場合の「%PASSWORD_TYPE%」の内容

ヒントがない場合の「%PASSWORD%」の内容

マクロ	説明	例
%SUBJECT%	元のメールの件名	お見積もりについて
%SENDER_NAME%	送信者のユーザ名	
%SENDER_ADDR%	送信者のメールアドレス	taro@example.jp
%MAILADDRESS%	受信者のメールアドレス	jiro@example.com
%PASSWORD_TYPE%	「パスワード」/「ヒント」	ヒント
%PASSWORD%	パスワード ヒントがある場合はヒント	pAs8vv0rl 貴社の代表電話番号
%REFER%	元のメールの本文	

④

⑤ OK

①	【送信者のメールアドレス】 メールを送信するFrom アドレス（送信元メールアドレス）を設定します。 Default は空です。
②	【件名】 [パスワード通知] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
③	【本文部分】 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
④	【マクロの内容】 マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。
⑤	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

2.1.3 送信者向け言語管理

送信者や内部ユーザ向け通知メールの言語の管理を行います。言語を追加した場合、送信者向け通知メール管理画面で通知メールの内容を変更する事ができます。また、ユーザ設定画面や各ユーザの画面で受け取る通知メールの言語を変更する事ができます。

- ① 【言語】
追加する通知メールの言語をプルダウンの中から選択します。
- ② 【追加 ボタン】
選択した言語を登録します。
- ③ 【言語一覧】
追加した言語の一覧が並びます。
- ④ 【削除 ボタン】
一覧から言語を選択して削除を行います。



メモ

「言語」のプルダウンより「その他」を選択した場合、オリジナルの言語を作成する事が可能です。

通知メールのコピー元ではコピーしたい通知メールを選択します。一覧に表示されているものが全て選択可能です。

2.1.4 受信者向け種別管理

受信者向け通知メールの種別の管理を行います。種別を追加した場合、受信者向け通知メール管理画面で通知メールの内容を変更する事ができます。また、ここで設定した内容は通知メールポリシーの選択肢として表示されます。

システム設定 / 通知メール設定 / 受信者向け種別管理

受信者向け種別 新規登録

メール受信者向け通知メールの種別の管理を行います。
種別を追加した場合、受信者向け通知メール管理画面で通知メールの内容を変更することができます。
また、ここで設定した内容は通知メールポリシーの選択肢として表示されます。

名称

通知メールのコピー元

名称

標準 (日本語)

標準 (英語)

標準 (中国語)

標準 (韓国語)

ページ 1 / 1

①	【名称】 種別の名称を入力します。
②	【通知メールのコピー元】 コピーしたい通知メールを選択します。一覧に表示されているものが全て選択可能です。
③	【追加ボタン】 種別を登録します。
④	【種別一覧】 追加した種別の一覧が並びます。
⑤	【削除ボタン】 一覧から名称を選択して削除を行います。

2.2 管理者設定・管理

システム管理者画面【システム設定】【管理者設定・管理】

管理者設定・管理では、管理者画面での各種設定及び閲覧において、各用途別の権限を持たせたアカウントを作成します。用途別に管理者アカウントを使用する事が可能となります。

管理者 新規登録/更新 [管理者 新規登録/更新] では新規に管理者アカウントを作成します。

【設定項目】

1	【管理者ID】 新規に作成する管理者IDを入力します。
2	【管理者パスワード】 新規に作成する管理者パスワードを入力します。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p> メモ</p> <p>入力できるパスワードの長さ：最低4文字 ~ 最長1024文字 使用可能文字列：[0-9][a-z,A-Z] ['~!@#\$%^&*()-_+=[] :; '<> , . ? / ¥ "]</p> </div>
3	【管理者パスワード（確認）】 確認の為、再度パスワードを入力します。

4	<p>【タイプ】</p> <p>新規に作成する管理者アカウントの権限タイプを選択します。</p> <p>ドメイン管理者 ドメインの管理者として必要な権限を持ったタイプ <管理するドメイン> ドメイン管理者を選択した時、ドメイン選択ロールダウンメニューが現れます。登録されたドメインの中から選択します。</p> <p>ポリシーグループ管理者 ポリシーグループの管理者として必要な権限を持ったタイプ <管理するポリシーグループ> ポリシーグループ管理者を選択した時、ポリシーグループ選択ロールダウンメニューが現れます。登録されたポリシーグループの中から選択します。</p> <p>[タイプ]で選択した内容によって「管理するドメイン」または「管理するポリシーグループ」項目が表示されます。</p> <p>タイプが[ドメイン管理者]の場合 ドメインの管理者として必要な権限を持ったドメインを選択。</p> <p>タイプが[ポリシーグループ管理者]の場合 ポリシーグループの管理者として必要な権限を持ったポリシーグループ名を選択。</p>
5	<p>【追加 ボタン】</p> <p>記入・選択した設定で新規に管理者を作成します。追加された管理者アカウントは下の権限一覧に登録します。</p>
6	<p>【更新 ボタン】</p> <p>編集した内容で権限が更新します。</p>
7	<p>【キャンセル ボタン】</p> <p>更新をキャンセルする場合に使用します。</p>

【検索機能】

8	<p>【タイプ メニュー】</p> <p>検索対象に登録された権限タイプを指定します。</p>
9	<p>【キーワード対象項目 メニュー】</p> <p>右の入力ボックスのキーワードの対象となる項目を選択します。</p>
10	<p>【キーワード入力】</p> <p>検索キーワードを入力します。</p>
11	<p>【検索 ボタン】</p> <p>一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND条件で行われます。</p>
12	<p>【表示 メニュー】</p> <p>1ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。</p>

管理者一覧 管理者 新規登録で作成された、各管理者ごとの設定情報を一覧で表示します。

【表示項目】

13	<p>【管理者ID】</p> <p>登録されている管理者IDを表示します。</p>
14	<p>【タイプ】</p> <p>各管理者に付与された権限タイプを表示します。</p>
15	<p>【ドメイン / ポリシーグループ】</p> <p>各管理者に権限を付与されたドメイン名やポリシーグループ名を表示します。</p>
16	<p>【削除 ボタン】</p> <p>管理者一覧から各管理者名の左のチェックボックスを選択し実行する事で、その管理者アカウントを削除します。依存関係により削除できない場合もあります。その際は表示されるメッセージに従って依存関係先の設定を見直す必要があります。</p>

 【 / 1 メニュー】
複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。

**注意**

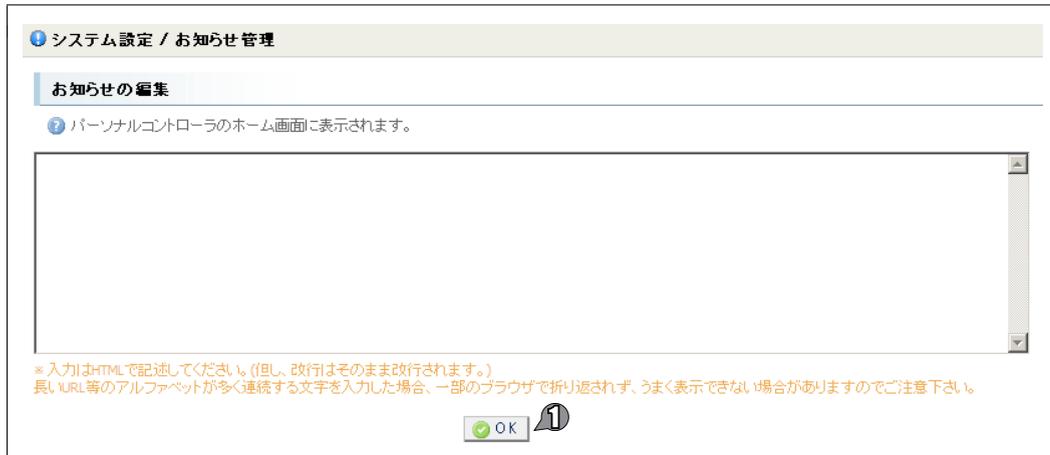
ここで登録した管理者アカウントは下記URLからのログインとなります。

タイプ「ドメイン管理者 or グループ管理者」のアカウントによるログインURL
【URL】 [https://\[顧客ID\].activegate-ss.jp/gate.igm/manager_login](https://[顧客ID].activegate-ss.jp/gate.igm/manager_login)

2.3 お知らせ管理

システム管理者画面:【システム設定】-【お知らせ管理】

パーソナルコントローラのログイン後の最初のホーム画面上（Default設定）の[お知らせ]メニューに、アナウンスメッセージを表示する事ができます。このアナウンスメッセージの登録・編集をこの画面で行います。



システム設定 / お知らせ管理

お知らせの編集

パーソナルコントローラのホーム画面に表示されます。

※ 入力にはHTMLで記述してください。(但し、改行はそのまま改行されます。) 長いURL等のアルファベットが多く連続する文字を入力した場合、一部のブラウザで折り返されず、うまく表示できない場合がありますのでご注意ください。

OK

HTML タグを使用しお知らせメッセージを記述します。

入力はHTMLで記述して下さい。(但し、改行はそのまま改行します。) 長いURL等のアルファベットが多く連続する文字を入力した場合、一部のブラウザで折り返されず、うまく表示できない場合があります。ご注意ください。

①

【OK ボタン】

設定の確定（設定の反映には画面右上部の**設定反映** ボタンをクリックする必要があります。）

2.4 プロパティ

システム管理者画面【システム設定】【プロパティ】

Active!gate SSのシステム管理者に関する情報を設定します。システム管理者画面へのログインの際に使用する、ログインパスワードを設定します。

①	【ログインID】 システム管理者画面へのログインIDです。Active!gate SSでは変更は行えません。
②	【ログインパスワード】 ログインパスワードを設定します。  メモ 入力できるパスワードの長さ：最低4文字 ~ 最長1024文字 使用可能文字列：[0-9][a-z,A-Z] ['~!@#\$%^&*()-_+=[{]} :; '<> ,. ? / ¥ "]
③	【ログインパスワード(確認)】 確認の為、再度パスワードを入力します。
④	【OK ボタン】 設定の確定（設定の反映には画面右上部の 設定反映 ボタンをクリックする必要があります。）

2.5 パーソナルコントローラ設定

システム管理者画面:【システム設定】>【パーソナルコントローラ設定】

ユーザが使用するパーソナルコントローラの各画面や画面内の設定項目、各機能について、表示/非表示の設定と、ユーザによる各設定項目の設定変更に対し許可するかないかの設定を行います。

各機能毎の設定を有効にしていない場合、設定操作ができません。また、システムポリシー（強制）の設定項目は、ここでの設定にかかわらず常に非表示となります。

The screenshot displays two overlapping windows from the Active!gate system. The left window, titled 'パーソナルコントローラ: ログイン画面', contains a login form with fields for 'ユーザID', 'ドメイン' (set to 'ah80.example.jp'), and 'パスワード', and a 'ログイン' button. The right window, titled 'パーソナルコントローラ: メニュー画面', shows a dashboard with a 'MENU' sidebar listing various settings like '保留ポリシー', 'ファイル変換ポリシー', and '変換ポリシー'. It also features a 'お知らせ' section and a '統計情報' table for the period 2011-02-16.

項目	値
受付メール数	0 通
送信拒否メール数	0 通
保留 (配送可能)	0 通
結果	0 通
配送	0 通 0 人
保留期間経過後削除	0 通
保留期間経過後配送	0 通 0 人
保留なし	0 通 0 人
普通に配送	0 通
配送メール数(宛先到)	0 人
配送済	0 人
配送中	0 人
リトライ中	0 人
配送失敗	0 人

2.5.1 メニュー設定

システム管理者画面【システム設定】▶【パーソナルコントローラ設定】▶【メニュー設定】

メニュー設定は、ユーザが使用するパーソナルコントローラにログインする際の「ログイン画面」とログイン後に表示される「メニュー画面」に出力される各メニュー、又は各機能について表示/非表示を設定します。

各メニューや各機能を非表示にすることによって、ユーザはその機能を使用できなくなります。また、機能を限定することにより、簡潔なインターフェースをユーザに提供することが可能です。

ログイン画面

パーソナルコントローラのログイン画面に関する設定を行います。

①	【パーソナルコントローラからのログイン】 パーソナルコントローラのログイン（http://XXXXX/gate/pc.igm）の使用許可を決定します。主に「シングルサインオン」を設定時に使用します。詳細は、後述 184ページ：「シングルサインオン」を参照して下さい。 許可する ログイン画面を表示します。 許可しない ログイン画面が「404 NOT FOUND」となりログイン画面が表示されません。
②	【ログインタイプ】 ドメインについて表示/非表示（選択窓）を設定します。 ドメインを表示せず入力させる ドメイン選択部分を表示せずユーザID入力欄にUserID又はUserID@Domainを入力し認証します。 ドメインを選択させる 登録済みドメイン選択プルダウンからログイン先ドメインを選択します。
③	【次回ログイン省略機能表示】 表示する チェックボックス「次回のログインを省略する」を表示します。 表示しない チェックボックス「次回のログインを省略する」を表示しません。
④	【ログイン省略可能期間】 1度ログイン認証を行った後、再ログイン時の認証を省略させる期間を設定します。 []日 ログイン認証省略期間を設定します。（単位：日）

⑤	【ログイン後表示ページ】 ログイン直後に表示される画面を設定します。 ホーム 最初にホーム画面を表示します。 メール一覧 最初にメール一覧画面を表示します。 保留設定 最初に保留設定画面を表示します。 保留例外設定 最初に保留例外設定画面を表示します。 保留詳細設定 最初に保留詳細設定画面を表示します。 添付ファイル暗号化 最初に添付ファイル暗号化設定画面を表示します。 webダウンロード設定 最初にwebダウンロード設定画面を表示します。 添付ファイル対象 最初に添付ファイル対象設定画面を表示します。 パスワード設定 最初にパスワード設定画面を表示します。 ヘッダ変換設定 最初にヘッダ変換設定画面を表示します。 本文変換設定 最初に本文変換設定画面を表示します。 通知メールポリシー設定 最初に通知メールポリシー設定画面を表示します。 受信者向け通知メール種別管理 最初に受信者向け通知メール種別管理画面を表示します。 通知メール管理 最初に通知メール管理画面を表示します。 プロパティ 最初にプロパティ画面を表示します。
⑥	【言語選択】 言語選択について表示/非表示（選択窓）を設定します。 表示する 「言語選択」を表示します。 表示しない 「言語選択」を表示しません。 デフォルトは「表示する」です。

ホーム画面

ホーム画面に関するを行います。

ホーム画面	
ホームメニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ お知らせ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ ログイン情報	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ 承認者としての統計	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ 統計情報	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤

①	【ホームメニュー】 ホーム画面について表示/非表示を設定します。 表示する ホーム画面を表示します。 表示しない ホーム画面を表示しません。
②	【お知らせ】 お知らせ画面について表示/非表示を設定します。 表示する お知らせ画面を表示します。 表示しない お知らせ画面を表示しません。
③	【ログイン情報】 ログイン情報について表示/非表示を設定します。 表示する ログイン情報を表示します。 表示しない ログイン情報を表示しません。
④	【承認者としての統計】 承認者としての統計について表示/非表示を設定します。 表示する 承認者としての統計を表示します。 表示しない 承認者としての統計を表示しません。
⑤	【統計情報】 統計情報画面について表示/非表示を設定します。 表示する 統計情報を表示します。 表示しない 統計情報を表示しません。

メール一覧画面

メール一覧画面の設定を行います。

メール一覧画面	
メール一覧メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①

① 【メール一覧メニュー】
 メール一覧画面について表示/非表示を設定します。
 表示する メール一覧画面を表示します。
 表示しない メール一覧画面を表示しません。

承認メール一覧画面

承認メール一覧画面の設定を行います。

承認メール一覧画面	
承認メール一覧メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①

① 【承認メール一覧メニュー】
 承認メール一覧画面について表示/非表示を設定します。
 表示する 承認メール一覧画面を表示します。
 表示しない 承認メール一覧画面を表示しません。

保留設定タイプ

保留設定を行う為の画面タイプを2通りから選択します。

保留設定タイプ	
保留設定タイプ	<input checked="" type="radio"/> 保留設定と保留例外設定の2画面で設定する <input type="radio"/> 保留設定画面のみで設定する ①

2画面タイプを指定した場合、保留例外設定のポリシーが保留設定のポリシーより優先されます。

① 【保留設定タイプ】
 保留設定と保留例外設定の2画面で設定する
 「保留設定」画面と「保留例外設定」画面の2つの画面をそれぞれ表示させ、保留と保留例外とを別々の画面で設定を行います。(2画面タイプを指定した場合、保留例外設定のポリシーが保留設定のポリシーより優先します。)
 保留設定画面のみで設定する
 「保留設定」画面のみ表示します。この場合「保留例外設定」についても「保留設定」画面上から行います。

保留設定画面

保留設定画面に関する設定を行います。

保留設定画面	
保留設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 1
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 2
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 3
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 4
▶ 優先度設定	<input type="radio"/> 表示する <input checked="" type="radio"/> 表示しない 5

2画面タイプを指定した場合、優先度は常に非表示となります。

1	【保留設定メニュー】 保留設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 保留設定メニューを表示します。 表示しない 保留設定メニューを表示しません。
2	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
3	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
4	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。
5	【優先度設定】 優先度設定について表示/非表示を設定します。 表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

保留例外設定画面

保留例外設定画面に関する設定を行います。

保留例外設定画面	
保留例外設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④

①	【保留例外設定メニュー】 保留例外設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 保留例外設定メニューを表示します。 表示しない 保留例外設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
④	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

保留詳細設定画面

保留詳細設定画面に関する設定を行います。

保留詳細設定画面	
保留詳細設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ 保留期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ 保留期間経過後の処理方法	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ 保留通知メールポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ リマインダーポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ リマインダー間隔と回数	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶ パスワード通知保留期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑨

①	【保留詳細設定メニュー】 保留詳細設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 保留詳細設定メニューを表示します。 表示しない 保留詳細設定メニューを表示しません。
----------	--

②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【保留期間】 保留期間について表示/非表示を設定します。 表示する 保留期間を表示します。 表示しない 保留期間を表示しません。
④	【保留期間経過後の処理方法】 保留期間経過後の処理方法について表示/非表示を設定します。 保留期間は保留キューに入った時点から計測します。 表示する 保留期間経過後の処理方法を表示します。 表示しない 保留期間経過後の処理方法を表示しません。
⑤	【保留通知メールポリシー】 保留通知メールポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する 保留通知メールポリシーを表示します。 表示しない 保留通知メールポリシーを表示しません。
⑥	【リマインダーポリシー】 リマインダーポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する リマインダーポリシーを表示します。 表示しない リマインダーポリシーを表示しません。
⑦	【リマインダー間隔と回数】 リマインダー間隔と回数について表示/非表示を設定します。 表示する リマインダー間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダー間隔と回数を表示しません。
⑧	【パスワード通知保留期間】 パスワード通知保留期間について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知保留期間を表示します。 表示しない パスワード通知保留期間を表示しません。
⑨	【優先度設定】 優先度設定について表示/非表示を設定します。 表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

添付ファイル暗号化設定画面

添付ファイル暗号化設定画面に関する設定を行います。

添付ファイル暗号化設定画面	
添付ファイル暗号化設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ 添付ファイル暗号化ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ zipして暗号化ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ 拡張子設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧

①	【添付ファイル暗号化設定メニュー】 添付ファイル暗号化設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化設定メニューを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【添付ファイル暗号化ポリシー】 添付ファイル暗号化ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化ポリシーを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシーを表示しません。
④	【zipして暗号化ポリシー】 zipして暗号化ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する zipして暗号化ポリシーを表示します。 表示しない zipして暗号化ポリシーを表示しません。
⑤	【拡張子設定】 拡張子設定について表示/非表示を設定します。 表示する 拡張子設定を表示します。 表示しない 拡張子設定を表示しません。
⑥	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
⑦	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。
⑧	【優先度設定】 優先度設定について表示/非表示を設定します。 表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

webダウンロード設定画面

webダウンロード設定画面に関する設定を行います。

webダウンロード設定画面	
webダウンロード設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶webダウンロードポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ダウンロード可能期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ダウンロードURL通知方法	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧

①	【webダウンロード設定メニュー】 webダウンロード設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロード設定メニューを表示します。 表示しない webダウンロード設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【webダウンロードポリシー】 webダウンロードポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロードポリシーを表示します。 表示しない webダウンロードポリシーを表示しません。
④	【ダウンロード可能期間】 ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。
⑤	【ダウンロードURL通知方法】 ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。
⑥	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
⑦	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。
⑧	【優先度設定】 優先度設定について表示/非表示を設定します。 表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

添付ファイル対象設定画面

添付ファイル対象設定画面に関する設定を行います。

添付ファイル対象設定画面	
添付ファイル対象設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①
▶ 添付ファイル変換	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^②
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^③

①	<p>【添付ファイル対象設定メニュー】</p> <p>添付ファイル対象設定メニューについて表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 添付ファイル対象設定メニューを表示します。 表示しない 添付ファイル対象設定メニューを表示しません。</p> <p>デフォルトは「表示する」です。</p>
②	<p>【添付ファイル変換】</p> <p>添付ファイル変換について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 添付ファイル変換を表示します。 表示しない 添付ファイル変換を表示しません。</p> <p>デフォルトは「表示する」です。</p>
③	<p>【優先度設定】</p> <p>優先度設定について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。</p> <p>デフォルトは「表示する」です。</p>

**注意**

「表示しない」の場合、パーソナルコントローラ側ではメニューが消えてユーザが使用できない状態になります。ユーザ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、上記設定項目を「表示する」に変更して下さい。

またメール詳細画面（2段階）での添付ファイル対象による変更も行いたい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メール詳細設定】の「メール詳細画面（2段階）/添付ファイル対象ポリシー」を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になります。ポリシー設定にはご注意下さい。

パスワード設定画面

パスワード設定画面に関する設定を行います。

パスワード設定画面	
パスワード設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ パスワード設定方法	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ パスワード通知ポリシー(自分)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ パスワード通知ポリシー(宛先)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ パスワード通知文言の追加ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑨

①	【パスワード設定メニュー】 パスワード設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する パスワード設定メニューを表示します。 表示しない パスワード設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【パスワード設定方法】 パスワード設定方法について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード設定方法を表示します。 表示しない パスワード設定方法を表示しません。
④	【パスワード通知ポリシー（自分）】 パスワード通知ポリシー（自分）について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知ポリシー（自分）を表示します。 表示しない パスワード通知ポリシー（自分）を表示しません。
⑤	【パスワード通知ポリシー（宛先）】 パスワード通知ポリシー（宛先）について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知ポリシー（宛先）を表示します。 表示しない パスワード通知ポリシー（宛先）を表示しません。
⑥	【パスワード通知文言の追加ポリシー】 パスワード通知文言の追加ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知文言の追加ポリシーを表示します。 表示しない パスワード通知文言の追加ポリシーを表示しません。
⑦	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
⑧	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

**【優先度設定】**

優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。

表示しない 優先度設定を表示しません。

ヘッダ変換設定画面

ヘッダ変換設定画面に関する設定を行います。

ヘッダ変換設定画面	
ヘッダ変換設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ Bcc変換ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ Bcc変換詳細設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ Dateヘッダ変更ポリシー	<input type="radio"/> 表示する <input checked="" type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ Cc/Bcc自動追加	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑨

①	【ヘッダ変換設定メニュー】 ヘッダ変換設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する ヘッダ変換設定メニューを表示します。 表示しない ヘッダ変換設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【Bcc変換ポリシー】 Bcc変換ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する Bcc変換ポリシーを表示します。 表示しない Bcc変換ポリシーを表示しません。
④	【Bcc変換詳細設定】 Bcc変換メールのToアドレスについて表示/非表示を設定します。 表示する Bcc変換メールのToアドレスを表示します。 表示しない Bcc変換メールのToアドレスを表示しません。
⑤	【Dateヘッダ変更ポリシー】 Dateヘッダ変更ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する Dateヘッダ変更ポリシーを表示します。 表示しない Dateヘッダ変更ポリシーを表示しません。
⑥	【Cc/Bcc自動追加】 Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。 表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。 表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。
⑦	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
⑧	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

**【優先度設定】**

優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。

表示しない 優先度設定を表示しません。

本文変換設定画面

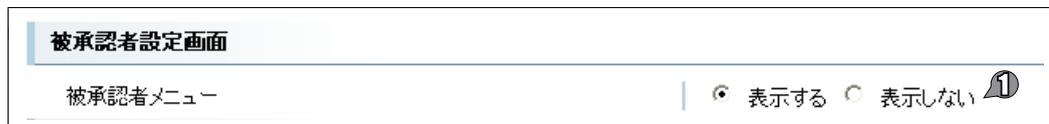
本文変換設定画面に関する設定を行います。

本文変換設定画面	
本文変換設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 条件設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ ウィルススキャン定型文	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ 自由定型文	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ 自由定型文の内容	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ 対象の宛先	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ グループ	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦
▶ 優先度設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑧

①	【本文変換設定メニュー】 本文変換設定メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 本文変換設定メニューを表示します。 表示しない 本文変換設定メニューを表示しません。
②	【条件設定】 条件設定表示について表示/非表示を設定します。 表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。
③	【ウィルススキャン定型文】 ウィルススキャン定型文について表示/非表示を設定します。 表示する ウィルススキャン定型文を表示します。 表示しない ウィルススキャン定型文を表示しません。
④	【自由定型文】 自由定型文について表示/非表示を設定します。 表示する 自由定型文を表示します。 表示しない 自由定型文を表示しません。
⑤	【自由定型文の内容】 自由定型文の内容について表示/非表示を設定します。 表示する 自由定型文の内容を表示します。 表示しない 自由定型文の内容を表示しません。
⑥	【対象の宛先】 対象の宛先について表示/非表示を設定します。 表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。
⑦	【グループ】 グループについて表示/非表示を設定します。 表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。
⑧	【優先度設定】 優先度設定について表示/非表示を設定します。 表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

被承認者設定画面

被承認者設定画面に関する設定を行います。



①

【被承認者メニュー】

被承認者メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 被承認者メニューを表示します。
表示しない 被承認者メニューを表示しません。

承認ポリシー画面

承認ポリシー画面に関する設定を行います。



①

【承認設定メニュー】

承認設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認設定メニューを表示します。
表示しない 承認設定メニューを表示しません。

②

【承認対象設定】

承認対象設定について表示/非表示を設定します。

表示する 承認対象設定を表示します。
表示しない 承認対象設定を表示しません。

③

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。
表示しない 条件設定を表示しません。

④

【承認ポリシー方法】

承認ポリシー方法について表示/非表示を設定します。

表示する 承認ポリシー方法を表示します。
表示しない 承認ポリシー方法を表示しません。

⑤

【Cc/Bcc自動追加】

Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。

表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。
表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。

⑥

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。
表示しない 優先度設定を表示しません。

代理者設定画面

代理者設定画面に関する設定を行います。

代理者設定画面	
代理者設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①

①

【代理者設定メニュー】

代理者設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 代理者設定メニューを表示します。
表示しない 代理者設定メニューを表示しません。

不在設定画面

不在設定画面に関する設定を行います。

不在設定画面	
不在設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①

①

【不在設定メニュー】

不在設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 不在設定メニューを表示します。
表示しない 不在設定メニューを表示しません。

承認通知メール設定画面

承認通知メール設定画面に関する設定を行います。

承認通知メール設定画面	
承認通知メール設定メニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①
▶承認依頼メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^②
▶承認依頼リマインダーメール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^③
▶リマインダーの間隔と回数	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^④
▶自分が処理したメールの承認済通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑤
▶代理者が処理したメールの承認済通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑥
▶自分が処理したメールの差戻し通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑦
▶代理者が処理したメールの差戻し通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑧
▶承認期間経過後削除の通知メール (自分が担当の場合)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑨
▶承認期間経過後削除の通知メール (代理者・不在代理者が担当の場合)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑩

①

【承認通知メール設定メニュー】

承認通知メール設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認通知メール設定メニューを表示します。
表示しない 承認通知メール設定メニューを表示しません。

②	【承認依頼メール】 承認依頼メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認依頼メールを表示します。 表示しない 承認依頼メールを表示しません。
③	【承認依頼リマインダーメール】 承認依頼リマインダーメールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認依頼リマインダーメールを表示します。 表示しない 承認依頼リマインダーメールを表示しません。
④	【リマインダーの間隔と回数】 リマインダーの間隔と回数について表示/非表示を設定します。 表示する リマインダーの間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダーの間隔と回数を表示しません。
⑤	【自分が処理したメールの承認済通知メール】 自分が処理したメールの承認済通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 自分が処理したメールの承認済通知メールを表示します。 表示しない 自分が処理したメールの承認済通知メールを表示しません。
⑥	【代理者が処理したメールの承認済通知メール】 代理者が処理したメールの承認済通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 代理者が処理したメールの承認済通知メールを表示します。 表示しない 代理者が処理したメールの承認済通知メールを表示しません。
⑦	【自分が処理したメールの差戻し通知メール】 自分が処理したメールの差戻し通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 自分が処理したメールの差戻し通知メールを表示します。 表示しない 自分が処理したメールの差戻し通知メールを表示しません。
⑧	【代理者が処理したメールの差戻し通知メール】 代理者が処理したメールの差戻し通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 代理者が処理したメールの差戻し通知メールを表示します。 表示しない 代理者が処理したメールの差戻し通知メールを表示しません。
⑨	【承認期間経過後削除の通知メール（自分が担当の場合）】 承認期間経過後削除（自分が担当の場合）の通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認期間経過後削除の通知メールを表示します。 表示しない 承認期間経過後削除の通知メールを表示しません。
⑩	【承認期間経過後削除の通知メール（代理者・不在代理者が担当の場合）】 承認期間経過後削除（代理者・不在代理者が担当の場合）の通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認期間経過後削除の通知メールを表示します。 表示しない 承認期間経過後削除の通知メールを表示しません。

通知メール管理画面

通知メール管理画面に関する設定を行います。

通知メール管理画面	
通知メール管理メニュー	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 1
▶ 添付ファイル暗号化通知文 (元メールの文頭に追加される物)	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 2
▶ 暗号化したファイルのパスワード通知メール	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 3
▶ ダウンロードセンターURL通知文 (元メールの文頭に追加される物)	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 4
▶ ダウンロードセンターURL通知メール (別メールで配送される物)	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 5
▶ ダウンロードセンターパスワード配送 通知文(元メールの文頭に追加される物)	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 6
▶ 受信者向けダウンロードセンターの パスワード通知メール	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <input type="checkbox"/> 表示しない 7

1	【通知メール管理メニュー】 通知メール管理メニューについて表示/非表示を設定します。 表示する 通知メール管理メニューを表示します。 表示しない 通知メール管理メニューを表示しません。
2	【添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)】 添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示しません。
3	【暗号化したファイルのパスワード通知メール】 暗号化したファイルのパスワード通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 暗号化したファイルのパスワード通知メールを表示します。 表示しない 暗号化したファイルのパスワード通知メールを表示しません。
4	【ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)】 ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示しません。
5	【ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)】 ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)を表示します。 表示しない ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)を表示しません。
6	【ダウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)】 ダウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない ダウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示しません。

7

【受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール】

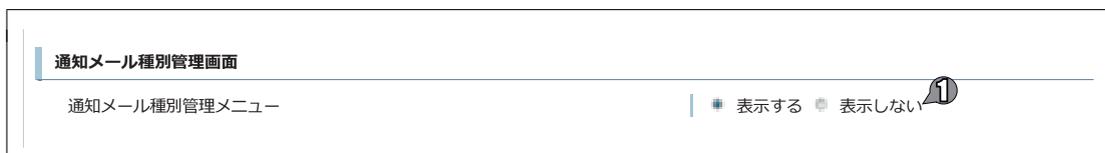
受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールを表示します。

表示しない 受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールを表示しません。

通知メール種別管理画面

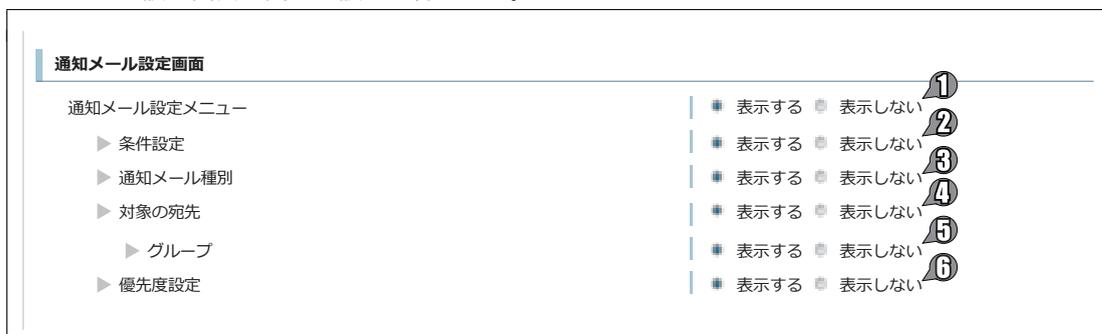
通知メール種別管理画面に関する設定を行います。



1 【通知メール種別管理メニュー】
通知メール種別管理メニューについて表示/非表示を設定します。
表示する 通知メール種別管理メニューを表示します。
表示しない 通知メール種別管理メニューを表示しません。

通知メール設定画面

通知メール設定画面に関する設定を行います。



①	<p>【通知メール設定メニュー】</p> <p>通知メール設定メニューについて表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 通知メール設定メニューを表示します。 表示しない 通知メール設定メニューを表示しません。</p>
②	<p>【条件設定】</p> <p>条件設定表示について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。</p>
③	<p>【通知メール種別】</p> <p>通知メール種別 表示について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 通知メール種別 を表示します。 表示しない 通知メール種別 を表示しません。</p>
④	<p>【対象の宛先】</p> <p>対象の宛先について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。</p>
⑤	<p>【グループ】</p> <p>グループについて表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。</p>
⑥	<p>【優先度設定】</p> <p>優先度設定について表示/非表示を設定します。</p> <p>表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。</p>

プロパティ画面

プロパティ画面に関する設定を行います。

プロパティ画面	
プロパティメニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
承認通知メール設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶承認待ちの通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶代理者選択可能通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶承認済み通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤

①	【プロパティメニュー】 プロパティメニューについて表示/非表示を設定します。 表示する プロパティメニューを表示します。 表示しない プロパティメニューを表示しません。
②	【承認通知メール設定】 承認通知メール設定について表示/非表示を設定します。 表示する 承認通知メール設定を表示します。 表示しない 承認通知メール設定を表示しません。
③	【承認待ちの通知メール】 承認待ちの通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認待ちの通知メールを表示します。 表示しない 承認待ちの通知メールを表示しません。
④	【代理者選択可能通知メール】 代理者選択可能通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 代理者選択可能通知メールを表示します。 表示しない 代理者選択可能通知メールを表示しません。
⑤	【承認済み通知メール】 承認済み通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 承認済み通知メールを表示します。 表示しない 承認済み通知メールを表示しません。

ヘッダーメニュー

ヘッダーメニューに関する設定を行います。

ヘッダーメニュー	
ヘルプメニュー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①

①	【ヘルプメニュー】 ヘルプメニューについて表示/非表示を設定します。 表示する ヘルプメニューを表示します。 表示しない ヘルプメニューを表示しません。
---	--

2.5.2 メール詳細設定

システム管理者画面【システム設定】【パーソナルコントローラ設定】【メール詳細設定】

メール詳細設定は、ユーザが使用するパーソナルコントローラのメール一覧から「開く」ボタン、または保留通知メールのリンク先の参照にて表示させる画面、メール詳細画面の各種設定を行います。

【各メール詳細画面図】

The screenshot displays two overlapping windows of the 'メール詳細画面' (Email Detail Screen).

メール詳細画面 (第1段階) (Stage 1):

- 保留理由: 添付ファイル暗号化されていないものがある
- 件名: 見積り
- 送信者: a001@sh-p01.example.jp
- 宛先: user3@sh-m01.example.jp, user2@sh-m01.example.jp, user1@sh-m01.example.jp
- 送信日時: 16:25:22
- 添付ファイル:
 - 1: ○○○○傾向分析見積書.pdf (45.65KB)
 - 2: ▲▲▲▲特記事項.pdf (45.65KB)
 - 3: ■■■■傾向分析見積書.pdf (45.69KB)
 - 4: ★★★★★申込書一式.zip (123.28KB)

メール詳細画面 (第2段階) (Stage 2):

- メールアドレス: a001@sh-p01.example.jp
- 送信者: user3@sh-m01.example.jp, user2@sh-m01.example.jp, user1@sh-m01.example.jp
- 送信日時: 17:59:09
- 操作メニュー:
 - zipして暗号化
 - webDL
 - URL通知
 - パスワード
 - ヒント
 - 登録
 - PW通知
- メール本文プレビュー:
 - 1: ○○○○傾向分析見積書.pdf (4592KB)
 - 2: ▲▲▲▲特記事項.pdf (45.65KB)
 - 3: ■■■■傾向分析見積書.pdf (45.69KB)
 - 4: ★★★★★申込書一式.zip (123.28KB)

メール詳細画面は第1段階と第2段階に別れており、第1段階では主に保留ポリシーにマッチし保留されたメールの内容チェックや添付ファイルのチェックを行います。第2段階では、zip変換やWebダウンロードへの変更、パスワード、添付ファイル対象、ヘッダ変換等の変更が可能です。ユーザ自身が見直しを行う事ができます。

メール詳細画面（1段階）

保留の確認を行うメール詳細画面（1段階）について表示/非表示の設定を行います。

メール詳細画面(1段階)

① 保留の確認を行うメール詳細画面(1段階)での表示設定を行います。

添付ファイルプレビュー 表示する 表示しない ①

「次へ」ボタン 表示する 表示しない ②

① 【添付ファイルプレビュー】

添付ファイルのプレビュー機能（ボタン）について表示/非表示を設定します。

表示する ボタンを表示します。

表示しない ボタンを表示しません。

② 【「次へ」ボタン】

「次へ」ボタンについて表示/非表示を設定します。

表示する 「次へ」ボタンを表示します。

表示しない 「次へ」ボタンを表示しません。

⚠ 注意

保留ポリシーにて、保留期間経過後の処理方法を「配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す」に設定した状態で、「表示しない」を選択した場合、ボタンが非表示になる為、変更が行えず、配送もできない状態になってしまいます。ご注意ください。

メール詳細画面（2段階）

添付ファイル変換やWebダウンロード、ヘッダ変換等の変更を行う事ができるメール詳細画面（2段階）での表示の設定を行います。ここで「表示する」または「表示しない」を設定しますと、メール詳細画面（2段階）での各宛先毎の右に出力される各ポリシー設定部が表示・非表示となります。

メール詳細画面(2段階)

① 添付ファイル変換やヘッダ変換等の表示や変更を行うメール詳細画面(2段階)での表示設定を行います。ポリシーに関する項目は、ユーザより優先度の高いポリシーにマッチした場合は変更不可の状態表示のみとして、ユーザポリシー又はユーザより優先度の低いポリシーにマッチした場合は変更可として表示されます。

メール詳細画面(2段階) 表示する 表示しない ①

① 【メール詳細画面（2段階）】

メール詳細画面（2段階）について表示/非表示を設定します。

表示する メール詳細画面（2段階）を表示します。

表示しない メール詳細画面（2段階）を表示しません。

⚠ 注意

パスワードポリシーにて、パスワード設定方法を「手動（空）」に設定した状態で、「表示しない」を選択した場合、画面が非表示になる為、変更が行えず、配送もできない状態になってしまいます。ご注意ください。

添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル暗号化ポリシー部分に関する設定を行います。

▶ 添付ファイル暗号化ポリシー	
添付ファイル暗号化ポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 添付ファイル暗号化	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ zipして暗号化	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ 拡張子指定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④

①	【添付ファイル暗号化ポリシー全体】 添付ファイル暗号化ポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化ポリシー全体を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシー全体を表示しません。
②	【添付ファイル暗号化】 添付ファイル暗号化について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化を表示しません。
③	【zipして暗号化】 zipして暗号化について表示/非表示を設定します。 表示する zipして暗号化を表示します。 表示しない zipして暗号化を表示しません。
④	【拡張子設定】 拡張子設定について表示/非表示を設定します。 表示する 拡張子設定を表示します。 表示しない 拡張子設定を表示しません。

webダウンロードポリシー

webダウンロードポリシーに関する設定を行います。

▶ webダウンロードポリシー	
webダウンロードポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①
▶ webダウンロード	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^②
▶ ダウンロード可能期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^③
▶ ダウンロードURL通知方法	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^④

①	【webダウンロードポリシー全体】 webダウンロードポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロードポリシー全体を表示します。 表示しない webダウンロードポリシー全体を表示しません。
②	【webダウンロード】 webダウンロードについて表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロードを表示します。 表示しない webダウンロードを表示しません。
③	【ダウンロード可能期間】 ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。
④	【ダウンロードURL通知方法】 ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。

添付ファイル対象ポリシー

添付ファイル対象に関する設定を行います。

▶ 添付ファイル対象ポリシー

添付ファイル変換対象 | 変更可能 変更不可 

1

【添付ファイル対象ポリシー】

添付ファイル対象ポリシーの変更可能/変更不可を設定します。

変更可能 添付ファイル横のチェックボックスを変更可能にします。

変更不可 添付ファイル横のチェックボックスを変更不可にします。

デフォルトは「変更可能」です。



注意

「変更不可」の場合、メール詳細画面（2段階）にてユーザが添付ファイル対象の変更を行えない状態になります。メール詳細画面（2段階）での変更も可能とさせたい場合、上記設定項目を「変更可能」に変更して下さい。

またユーザ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メニュー設定】の「添付ファイル対象設定画面」の各項目を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になります。ポリシー設定にはご注意下さい。

パスワードポリシー

パスワードポリシーに関する設定を行います。

▶ パスワードポリシー	
パスワードポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^①
▶パスワード設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^②
▶パスワード通知(自分)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^③
▶パスワード通知(宛先)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^④
▶パスワード・ヒントの登録	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ^⑤

①	【パスワードポリシー全体】 パスワードポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する パスワードポリシー全体を表示します。 表示しない パスワードポリシー全体を表示しません。
②	【パスワード設定】 パスワード設定について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード設定を表示します。 表示しない パスワード設定を表示しません。
③	【パスワード通知(自分)】 パスワード通知(自分)について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知(自分)を表示します。 表示しない パスワード通知(自分)を表示しません。
④	【パスワード通知(宛先)】 パスワード通知(宛先)について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知(宛先)を表示します。 表示しない パスワード通知(宛先)を表示しません。
⑤	【パスワード・ヒントの登録】 パスワード・ヒントの登録について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード・ヒントの登録を表示します。 表示しない パスワード・ヒントの登録を表示しません。

ヘッダ変換ポリシー

ヘッダ変換ポリシーに関する設定を行います。

▶ **ヘッダ変換ポリシー**

ヘッダ変換ポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	①
▶ Bcc変換	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	②
▶ Bcc変換詳細設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	③
▶ Dateヘッダ変更	<input type="radio"/> 表示する	<input checked="" type="radio"/> 表示しない	④

①	【ヘッダ変換ポリシー全体】 ヘッダ変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する ヘッダ変換ポリシー全体を表示します。 表示しない ヘッダ変換ポリシー全体を表示しません。
②	【Bcc変換】 Bcc変換ポリシーについて表示/非表示を設定します。 表示する Bcc変換を表示します。 表示しない Bcc変換を表示しません。
③	【Bcc変換詳細設定】 Bcc変換メールのToアドレスについて表示/非表示を設定します。 表示する Bcc変換メールのToアドレスを表示します。 表示しない Bcc変換メールのToアドレスを表示しません。
④	【Dateヘッダ変更】 Dateヘッダ変更について表示/非表示を設定します。 表示する Dateヘッダ変更を表示します。 表示しない Dateヘッダ変更を表示しません。

予約送信

予約送信に関する設定を行います。

▶ **予約送信**

▶ 予約送信	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	①
--------	---------------------------------------	-----------------------------	---

①	【予約送信】 予約送信について表示/非表示を設定します。 表示する 予約送信を表示します。 表示しない 予約送信を表示しません。
----------	--



①	【OK ボタン】 設定の確定（設定の反映には画面右上部の 設定反映 ボタンをクリックする必要があります。）
----------	--

2	【キャンセル ボタン】 設定内容をキャンセルし元に戻します。
---	--

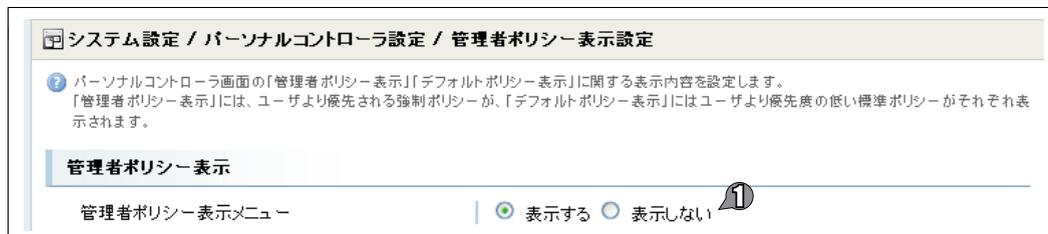
2.5.3 管理者ポリシー表示設定

システム管理者画面【システム設定】>【パーソナルコントローラ設定】>【管理者ポリシー表示設定】

パーソナルコントローラ画面の右上部に表示される<管理者ポリシー表示>ボタンと<デフォルトポリシー表示>ボタンによるユーザが設定するポリシー以外の設定済みポリシーについて表示/非表示の制限します。

管理者ポリシー表示

パーソナルコントローラ上に表示させる管理者ポリシーの内容について制限します。ここで言う管理者ポリシーとは、ユーザの設定とは関係なく強制的に適用されるポリシー（画面メニューの***ポリシー（強制））を意味します。



1

【管理者ポリシー表示メニュー】

管理者ポリシー表示について表示/非表示を設定します。

表示する

管理者ポリシー表示メニューを表示します。

表示しない

管理者ポリシー表示メニューを表示しません。

メニューを表示しない場合、ユーザが強制的に適用されるポリシーを確認する事ができなくなります。

▶ 送信拒否ポリシー

送信拒否

表示する 表示しない

1

1

【送信拒否】

送信拒否について表示/非表示を設定します。

表示する 送信拒否を表示します。

表示しない 送信拒否を表示しません。

▶ 保留ポリシー

保留

表示する 表示しない

1

1

【保留】

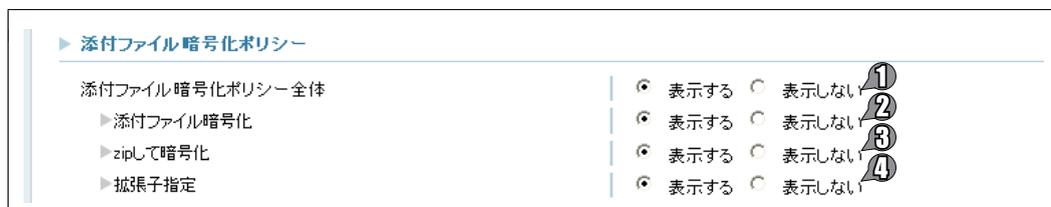
保留について表示/非表示を設定します。

表示する 保留を表示します。

表示しない 保留を表示しません。

▶ 保留詳細ポリシー	
保留詳細ポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ①
▶ 保留期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ②
▶ 保留期間経過後の処理	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ③
▶ 通知メール	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ④
▶ リマインダー	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑤
▶ リマインダー間隔と回数	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑥
▶ パスワード通知保留期間	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない ⑦

①	【保留詳細ポリシー全体】 保留詳細ポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する 保留詳細ポリシーを表示します。 表示しない 保留詳細ポリシーを表示しません。
②	【保留期間】 保留期間について表示/非表示を設定します。 表示する 保留期間を表示します。 表示しない 保留期間を表示しません。
③	【保留期間経過後の処理】 保留期間経過後の処理について表示/非表示を設定します。 保留期間は保留キューに入った時点から計測します。 表示する 保留期間経過後の処理を表示します。 表示しない 保留期間経過後の処理を表示しません。
④	【通知メール】 通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 通知メールを表示します。 表示しない 通知メールを表示しません。
⑤	【リマインダー】 リマインダーについて表示/非表示を設定します。 表示する リマインダーを表示します。 表示しない リマインダーを表示しません。
⑥	【リマインダー間隔と回数】 リマインダー間隔と回数について表示/非表示を設定します。 表示する リマインダー間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダー間隔と回数を表示しません。
⑦	【パスワード通知保留期間】 パスワード通知保留期間について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知保留期間を表示します。 表示しない パスワード通知保留期間を表示しません。



①	【添付ファイル暗号化ポリシー全体】 添付ファイル暗号化ポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化ポリシーを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシーを表示しません。
②	【添付ファイル暗号化】 添付ファイル暗号化について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル暗号化を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化を表示しません。
③	【zipして暗号化】 zipして暗号化について表示/非表示を設定します。 表示する zipして暗号化を表示します。 表示しない zipして暗号化を表示しません。
④	【拡張子指定】 拡張子指定について表示/非表示を設定します。 表示する 拡張子指定を表示します。 表示しない 拡張子指定を表示しません。



①	【webダウンロードポリシー全体】 webダウンロードポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロードポリシー全体を表示します。 表示しない webダウンロードポリシー全体を表示しません。
②	【webダウンロード】 webダウンロードについて表示/非表示を設定します。 表示する webダウンロードを表示します。 表示しない webダウンロードを表示しません。
③	【ダウンロード可能期間】 ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。
④	【ダウンロードURL通知方法】 ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。 表示する ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。

▶ 添付ファイル対象ポリシー	
添付ファイル対象ポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 1
▶ 添付ファイル変換	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 2
▶ ポリシー条件の添付ファイル	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 3

1	【添付ファイル対象ポリシー全体】 添付ファイル対象ポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル対象ポリシー全体を表示します。 表示しない 添付ファイル対象ポリシー全体を表示しません。
2	【添付ファイル変換】 添付ファイル変換について表示/非表示を設定します。 表示する 添付ファイル変換を表示します。 表示しない 添付ファイル変換を表示しません。
3	【ポリシー条件の添付ファイル】 ポリシー条件の添付ファイルについて表示/非表示を設定します。 デフォルトポリシー表示の欄にはありません 表示する ポリシー条件の添付ファイルを表示します。 表示しない ポリシー条件の添付ファイルを表示しません。

▶ パスワードポリシー	
パスワードポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 1
▶ パスワード設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 2
▶ パスワード通知(自分)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 3
▶ パスワード通知(宛先)	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 4
▶ パスワード通知文言の追加	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない 5

1	【パスワードポリシー全体】 パスワードポリシー全体について表示/非表示を設定します。 表示する パスワードポリシー全体を表示します。 表示しない パスワードポリシー全体を表示しません。
2	【パスワード設定】 パスワード設定について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード設定を表示します。 表示しない パスワード設定を表示しません。
3	【パスワード通知(自分)】 パスワード通知(自分)について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知(自分)を表示します。 表示しない パスワード通知(自分)を表示しません。
4	【パスワード通知(宛先)】 パスワード通知(宛先)について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知(宛先)を表示します。 表示しない パスワード通知(宛先)を表示しません。
5	【パスワード通知文言の追加】 パスワード通知文言の追加について表示/非表示を設定します。 表示する パスワード通知文言の追加を表示します。 表示しない パスワード通知文言の追加を表示しません。

▶ スコアポリシー

▶ スコア 表示する 表示しない ①

①	【スコア】
スコアについて表示/非表示を設定します。	
表示する スコアを表示します。	
表示しない スコアを表示しません。	

▶ ヘッダ変換ポリシー

ヘッダ変換ポリシー全体	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	①
▶ Bcc変換	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	②
▶ Bcc変換詳細設定	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	③
▶ Dateヘッダ変更	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	④
▶ Receivedヘッダを全て削除	<input type="radio"/> 表示する	<input checked="" type="radio"/> 表示しない	⑤
▶ Cc/Bcc承認ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 表示する	<input type="radio"/> 表示しない	⑥

①	【ヘッダ変換ポリシー全体】
ヘッダ変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。	
表示する ヘッダ変換ポリシー全体を表示します。	
表示しない ヘッダ変換ポリシー全体を表示しません。	
②	【Bcc変換】
Bcc変換について表示/非表示を設定します。	
表示する Bcc変換を表示します。	
表示しない Bcc変換を表示しません。	
③	【Bcc変換詳細設定】
Bcc変換詳細設定について表示/非表示を設定します。	
表示する Bcc変換詳細設定を表示します。	
表示しない Bcc変換詳細設定を表示しません。	
④	【Dateヘッダ変更】
Dateヘッダ変更について表示/非表示を設定します。	
表示する Dateヘッダ変更を表示します。	
表示しない Dateヘッダ変更を表示しません。	
⑤	【Receivedヘッダを全て削除】
Receivedヘッダを全て削除について表示/非表示を設定します。	
表示する Receivedヘッダを全て削除を表示します。	
表示しない Receivedヘッダを全て削除を表示しません。	
⑥	【Cc/Bcc自動追加】
Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。	
表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。	
表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。	

▶ **本文変換ポリシー**

本文変換ポリシー全体 表示する 表示しない ^①

▶ ウィルススキャン定型文 表示する 表示しない ^②

▶ 自由定型文 表示する 表示しない ^③

- ① 【本文変換ポリシー全体】**
本文変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。
表示する 本文変換ポリシー全体を表示します。
表示しない 本文変換ポリシー全体を表示しません。
- ② 【ウィルススキャン定型文】**
ウィルススキャン定型文について表示/非表示を設定します。
表示する ウィルススキャン定型文を表示します。
表示しない ウィルススキャン定型文を表示しません。
- ③ 【自由定型文】**
自由定型文について表示/非表示を設定します。
表示する 自由定型文を表示します。
表示しない 自由定型文を表示しません。

通知メールポリシー

通知メールポリシー全体 表示する 表示しない ^①

- ① 【通知メールポリシー】**
通知メールポリシーについて表示/非表示を設定します。
表示する 通知メールポリシーを表示します。
表示しない 通知メールポリシーを表示しません。

▶ **内部外部定義**

内部外部定義全体 表示する 表示しない ^①

- ① 【内部外部定義全体】**
内部外部定義全体について表示/非表示を設定します。
表示する 内部外部定義全体を表示します。
表示しない 内部外部定義全体を表示しません。

デフォルトポリシー表示

パーソナルコントローラ上に表示させるデフォルトポリシーの内容について制限します。ここで言うデフォルトポリシーとは、ユーザによるポリシーが未設定の場合、適用されるポリシー（画面メニューの***ポリシー（標準））を意味します。



1 【デフォルトポリシー表示メニュー】

デフォルトポリシー表示メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する デフォルトポリシー表示メニューを表示します。
表示しない デフォルトポリシー表示メニューを表示しません。

注意

「表示しない」に設定した場合、メニューは表示されません。その為ユーザは標準的に適用されるポリシー（ユーザポリシーに該当しない場合、適用されるポリシー）を確認する事ができなくなります。



メモ

デフォルトポリシー表示以降の各項目の設定については管理者ポリシー部と同様の為、設定内容を省略させていただきます。

以下：省略となる機能

- 送信拒否ポリシー
- 保留ポリシー
- 保留詳細ポリシー
- 添付ファイル暗号化ポリシー
- webダウンロードポリシー
- 添付ファイル対象ポリシー
- パスワードポリシー
- ヘッダ変換ポリシー
- 本文変換ポリシー
- 通知メールポリシー

3 ポリシー設定

システム管理者画面【ポリシー設定】

Active!gate SSを使用する送信メールについてこのポリシーと呼ばれる条件の設定を行う事で、保留や添付ファイル暗号化（zip暗号化）等の機能がご利用可能です。また、各設定画面ごとのポリシーに優先順位を付けこれをポリシーチェーンと呼び、このチェーンも含めチェーン内の各ポリシーにも、優先順位が付けられます。ポリシーチェーンの詳細は、後述 183ページ：「ポリシーチェーン管理」を参照して下さい。以下に各ポリシー設定画面ごとに説明致します。



注意

全てのポリシー設定に共通する動作として、対象となるドメイン・メールアドレスはheader-to/cc/bcc, header-fromとなります。

ユーザ登録及び登録ユーザへの各通知メールは元メールのenvelope-fromが対象となり、宛先への通知メール等は元メールのenvelope-toが対象となります。

3.1 システムポリシー（強制）

システム管理者画面【ポリシー設定】【システムポリシー（強制）】

システム全体に有効となるポリシーで全ユーザに強制的に適用されるポリシーです。ここで設定された項目は全ユーザのパーソナルコントローラ上に表示されなくなります。ユーザは設定自体を行えません。



注意

設定を行った項目は、その下位の「管理者ポリシー（強制） グループポリシー（強制） ユーザポリシー、グループポリシー（標準） 管理者ポリシー（標準）」に項目が表示されなくなり、詳細な条件設定が不可能になります。例えば「保留ポリシー 使用しない」とした場合、左MENU部の「保留」欄そのものが消えてしまいます。ご注意ください。

3.1.1 保留ポリシー

送信メールをサーバ上に保留し、配送させない為の設定を行います。

🔗 ポリシー設定 / システムポリシー(強制)

システムポリシー(強制)

🔍 システムポリシーの設定を行います。設定する項目のチェックボックスをオンにして設定を行って下さい。

💡 ここで設定した内容は最優先としてシステム全体で使用され、他の部分では変更不可又は非表示になります。

▶ **保留ポリシー**

<input type="checkbox"/> 保留ポリシー	保留機能のオン/オフを設定できます。保留機能を使用する場合、メールは送信されず、サーバ上に保留されます。
<input type="checkbox"/> 保留期間設定	保留する場合にメールをサーバに残す期間を設定出来ます。
<input type="checkbox"/> 保留期間経過後の処理方法	保留中に配送や削除の指示がなかったメールについての動作を設定できます。
<input type="checkbox"/> 保留通知メールポリシー	メールが保留された場合、送信者に通知メールを配信するかどうかを設定できます。
<input type="checkbox"/> リマインダーポリシー	保留されたメールに配送や破棄の指示がない場合、一定期間毎にリマインダーメールを配信するかどうかを設定できます。
<input type="checkbox"/> リマインダー間隔と回数	リマインダーを配信する間隔と回数を設定することができます。
<input type="checkbox"/> パスワード通知保留期間設定	添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送されます。

▶ **添付ファイル暗号化ポリシー**

<input type="checkbox"/> 添付ファイル暗号化ポリシー	添付ファイルを1つのパスワード付きファイルに暗号化するかどうかを設定できます。
--	---



メモ

全ての項目はご利用開始直後は何も設定されていません。各項目の左のチェックボックスにチェックを入れる事によって機能致します。またチェックを入れると下記のように詳細設定項目を表示します。

ポリシー設定 / システムポリシー(強制)

システムポリシー(強制)

システムポリシーの設定を行います。設定する項目のチェックボックスをオンにして設定を行って下さい。

ここで設定した内容は最優先としてシステム全体で使用され、他の部分では変更不可又は非表示になります。

▶ **保留ポリシー**

保留ポリシー

保留する 保留しない

ここで保留するに設定した場合、すべてのメールは送信されず、サーバ上に保留されます。

▶ **確認する項目**

全宛先

全ドメイン

From

件名

本文全体

全添付ファイル名

添付ファイル内容確認 プレビュー確認 ページまで

確認する項目なし

保留期間設定

分 (5分 ~ 7日)

保留する場合にメールをサーバに残す期間を設定します。5分以上の期間を設定してください。

保留期間経過後の処理方法

配送先に配送する

配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す

保留中に配送や削除の指示がなかったメールについての動作を設定します。但し、添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワードが設定されていないために保留されたメールは、この設定にかかわらず、削除されません。

保留通知メールポリシー

配信する 配信しない

メールが保留された場合、送信者に通知メールを配信することができます。通知メール内のURLをクリックすることで、パーソナルコントロールにログインせずにメールの配送や削除の指示が可能です。保留通知メールはメール保留決定時点ですぐに配信されます。

リマインダーポリシー

配信する 配信しない

保留されたメールに配送や破棄の指示がない場合、一定期間毎にリマインダーメールを配信することができます。

リマインダー間隔と回数

リマインダー間隔 分 (5分 ~ 7日)

リマインダー回数

リマインダーを配信する間隔と回数を設定することができます。

パスワード通知保留期間設定

分 (0分 ~ 24時間)

添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄することが可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送されます。0を指定した場合は元メール配送完了後、すぐに配送が開始されます。

▶ **添付ファイル暗号化ポリシー**

添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイルを1つのパスワード付きファイルに暗号化するかどうかを設定できます。

順を追って各項目についてご説明します。

1

【保留ポリシー】

保留機能を使用するかしないかの設定を行います。

保留する 保留機能を使用します。

保留しない 保留機能を使用しません。



メモ

【確認する項目について】

設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要があります。「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、パルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定した確認項目をチェックしない限り配送を行えません。

宛先に関するポリシーにマッチし保留された場合、宛先をチェックする事がご利用方法として一般的に必要と思われる事が、ここでは本文全体をチェックさせる事も可能です。例として、宛先に外部が含まれるポリシーにマッチし保留された場合、宛先のチェックは当然ながら、外部への送信の為、「本文の内容もチェックさせたい」として2重チェックにさせる事も可能です。

2	<p>【確認する項目】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全宛先：保留されたメールのチェック項目を全宛先とします。</p> <p><input type="text" value="一つずつ"/> <input type="text"/>：各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。</p> <p><input type="text" value="全部まとめて"/> <input type="text"/>：宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。</p> <p><input type="text" value="伏せ字入力"/> <input type="text"/>：各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全ドメイン：保留されたメールのチェック項目を全ドメインとします。</p> <p><input type="text" value="一つずつ"/> <input type="text"/>：各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。</p> <p><input type="text" value="全部まとめて"/> <input type="text"/>：宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。</p> <p><input type="text" value="伏せ字入力"/> <input type="text"/>：各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。</p>
	<p>【確認する項目】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> From：保留されたメールのチェック項目をFromとします。</p> <p><input type="text" value="アドレス確認"/> <input type="text"/>：From のチェックを行います。</p> <p><input type="text" value="伏せ字入力"/> <input type="text"/>：From に伏せ字入力によるチェックを行います。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> メモ</p> <p>Fromをチェック項目とした場合の伏せ字入力では、保留されたメールのEnvelope Fromを参照します。Envelope FromとHeader Fromが異なる場合は、伏せ字入力によるチェックは無効になります。</p> </div> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 件名：保留されたメールのチェック項目を件名とします。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本文全体：保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。</p>
	<p>【確認する項目】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全添付ファイル名：保留されたメールのチェック項目を全添付ファイル名とします。</p> <p><input type="text" value="一つずつ"/> <input type="text"/>：各添付ファイルごとに1 つずつチェックが必要となります。</p> <p><input type="text" value="全部まとめて"/> <input type="text"/>：添付ファイルを全部まとめて1 度にチェックします。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル内容確認：保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プレビュー確認：添付ファイルのプレビューを必須にします。</p> <p><input type="text" value="5"/> <input type="text"/> ページまで：プレビューが必要なページ数を選択します。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 確認する項目なし：保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行います。</p>

③	【保留期間設定】 保留する期間の設定を行います。[] (分/時間/日)
④	【保留期間経過後の処理方法】 保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。 保留期間は保留キューに入った時点から計測します。 配送先に配送する 保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。 配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す 保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。
⑤	【保留通知メールポリシー】 保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
⑥	【リマインダーポリシー】 保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。 配信する リマインダー配信を行います。 配信しない リマインダー配信を行いません。
⑦	【リマインダー間隔と回数】 リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用する設定になっている必要があります。 リマインダー間隔 [] (分/時間/日) リマインダー回数 []
⑧	【パスワード通知保留期間設定】 パスワード通知を保留する場合にメールをサーバに残す期間を設定します。0分以上の期間を設定して下さい。 [] (分/時間)

3.1.2 添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分を添付ファイル暗号化させる為の設定を行います。

▶ 添付ファイル暗号化ポリシー	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル暗号化ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない 「使用する」にした場合、添付ファイル(1つ)のパスワード付きファイルに暗号化して配送します。
<input checked="" type="checkbox"/> zipして暗号化ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない 添付ファイル暗号化を使用する場合、zip変換したファイルに対してさらに暗号化を行うことで元ファイルのファイル名を隠すことが可能です。(変換されたファイルを復号化するとランダムなファイル名のzipファイルが解凍されます。) 添付ファイル暗号化方式に「7zip(ファイル名も暗号化)」を使用する場合は不要です。
<input checked="" type="checkbox"/> 拡張子設定	拡張子 <input type="text" value="zip"/> (例) zi 添付ファイル暗号化時の拡張子を指定することができます。

1	【添付ファイル暗号化ポリシー】 添付ファイル付きメールの添付ファイルを添付ファイル暗号化するかしないかの設定を行います。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。 使用する 添付ファイル暗号化します。 使用しない 添付ファイル暗号化しません。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> メモ</p> <p>パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準） - パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ：「パスワードポリシー」を参照して下さい。</p> </div>
2	【zipして暗号化ポリシー】 添付ファイル暗号化を使用する場合、zip変換したファイルに対してさらに暗号化を行う事で、元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。(変換されたファイルを復号化するとランダムなファイル名のzipファイルが解凍します。) 添付ファイル暗号化方式に「7zip(ファイル名も暗号化)」を使用する場合、不要です。 使用する zipして暗号化します。 使用しない zipして暗号化しません。
3	【拡張子指定】 添付ファイル暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。 拡張子 []

3.1.3 webダウンロードポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分をwebダウンロードさせる為の設定を行います。

▶ webダウンロードポリシー	
<input checked="" type="checkbox"/> webダウンロードポリシー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない ① <small>「使用する」にした場合、添付ファイルを切り離してサーバ上に残します。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスすることにより添付ファイルをダウンロードできます。</small>
<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロード可能期間	<input type="text" value=""/> 日(1~7) ② <small>添付ファイルはこのダウンロード可能期間が経過した後、サーバ上から見えなくなります。</small>
<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードURL通知方法	<input checked="" type="radio"/> 本文の文頭に追加する <input type="radio"/> 別メールで配送する ③ <small>受信者に対してのダウンロードセンターのURLの通知方法を設定します。</small>

①	<p>【webダウンロードポリシー】</p> <p>添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active!gate SSサーバに保存し、web（ブラウザベース）でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。</p> <p>使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。</p> <p> メモ</p> <p>パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準） - パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ：「パスワードポリシー」を参照して下さい。</p>
②	<p>【ダウンロード可能期間】</p> <p>保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[]（単位：日）</p>
③	<p>【ダウンロードURL通知方法】</p> <p>宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態であることを知らせる方法を設定します。</p> <p>本文の文頭に追加する 宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能であることを追記します。</p> <p>別メールで配送する 添付ファイルが分離されダウンロード可能であることを元メールとは別のメールを自動配信し通知します。</p>

3.1.4 パスワードポリシー

添付ファイル暗号化やwebダウンロード化された添付ファイルの暗号化（パスワード設定）やパスワードの通知方法に関する設定を行います。

▶ **パスワードポリシー**

<input checked="" type="checkbox"/> パスワード設定方法	<p><input type="radio"/> ランダム <input checked="" type="radio"/> 手動 ①</p> <p>添付ファイル暗号化やwebダウンロードで使用するパスワードを設定します。</p> <p>パスワード <input style="width: 100px;" type="text"/></p> <p>パスワードを空に設定すると、メールは保留され、各ユーザが個別にメール詳細画面で個別に設定することができます。但し、保留期間中にパスワードが設定されなかった場合は、メールは保留期間経過後に削除されます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> パスワード通知ポリシー(自分)	<p><input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない ②</p> <p>パスワード通知を送信元に対して配信するかどうかを設定します。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> パスワード通知ポリシー(宛先)	<p><input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない ③</p> <p>パスワード通知を相手先に対して配信するかどうかを設定します。</p> <p>メールを送るたびに通知 <input type="text"/></p> <p>パスワードを変更した場合やランダムなパスワードが選択されている場合は、「初回のみ通知」を選択しても必要に応じてパスワードが配信されます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> パスワード通知文言の追加ポリシー	<p><input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない ④</p> <p>元メールの先頭にパスワード通知文言の追加をするかどうかを設定します。「パスワード通知ポリシー(宛先)」が「通知する」を選択されている場合にのみ利用可能となります。</p>

①	【パスワード設定方法】
	<p>添付ファイル暗号化やwebダウンロードに付与されるパスワード設定方法を設定します。</p> <p>ランダム システムが毎回ランダムなパスワードを生成します。生成されるパスワードは、英数字と記号を含む10桁です。 生成される文字列：<code>[2-9][a-z,A-Z(小文字[o] 大文字[I,O]除外)][!@#%&* _-+=<>?/]</code></p> <p>手動 手動でパスワードを設定します。最短「8桁」から最長「50桁」の間で設定できます。 使用可能文字列：<code>[0-9][a-z,A-Z][!~!@#%&^&*() _-+=[{}] :;';<>,.?/]</code></p> <p>ポリシー設定画面のパスワード欄を空にするとメールが保留され、ユーザがメール詳細画面で個別にパスワードを設定することができます。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> メモ</p> <p>パスワードの長さや使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準）-パスワードポリシー」にて行います。</p> </div>
②	【パスワード通知ポリシー（自分）】
	<p>付与されたパスワードを自分（送信者）宛へ通知をするかしないかの設定を行います。</p> <p>通知する 自分（送信者）に通知します。 通知しない 自分（送信者）に通知をしません。</p>
③	【パスワード通知ポリシー（宛先）】
	<p>付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。</p> <p>通知する 宛先に通知します。 メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。</p> <p>通知しない 通知をしません。</p>

4

【パスワード通知文言の追加ポリシー】

ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの設定を行います。「パスワード通知ポリシー(宛先)」が「通知する」を選択されている場合にのみ利用可能となります。

追加する 元メールの先頭に追記します。

追加しない 元メールへの追記をしません。

3.1.5 ヘッダ変換ポリシー

送信メールのヘッダ部分を自動で変換する為の設定を行います。

▶ ヘッダ変換ポリシー

Bcc変換ポリシー

Bcc変換詳細設定

Dateヘッダ変更ポリシー

Receivedヘッダ削除ポリシー

Cc/Bcc自動追加

① 変換する 変換しない

外部宛先をBcc変換する

内部宛先をBcc変換する

To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、どのアドレスを変換するかも設定できます。

② ToにFromアドレスを使う

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う

Toに [] を使う

Bcc変換後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定します。なお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。

③ 変更する 変更しない

保留されたメールを変更する

10 時間経過したメールを変更する

保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。

④ 削除する 削除しない

Receivedヘッダを全て削除するかどうかを設定できます。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

⑤ する しない

設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

▼Ccに追加するメールアドレス

Ccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力してください。

▼Ccに追加する件名

Ccに追加する件名を設定します。

▼Ccに追加する本文

Ccに追加する本文を設定します。

元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

▼Bccに追加するメールアドレス

Bccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力してください。

▼Bccに追加する件名

Bccに追加する件名を設定します。

▼Bccに追加する本文

Bccに追加する本文を設定します。

元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

①

【Bcc変換ポリシー】

To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、どのアドレスを変換するかも設定できます。

変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。

- 外部宛先をBcc変換する
宛先が外部（Active!gate SSに未登録のドメイン）の場合変換します。
- 内部宛先をBcc変換する
宛先が内部（Active!gate SSに登録されたドメイン）の場合変換します。

変換しない Bcc変換を行いません。

②

【Bcc変換詳細設定】

Bcc変換後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定します。なお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。

ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。

Toに入力値[]を使う Toに指定したものを使用します。

<p>③</p>	<p>【Dateヘッダ変更ポリシー】</p> <p>Active!gate SSを経由するメールヘッダのDate（時刻）を変更する為の機能です。保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。</p> <p>変更する 変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 保留されたメールを変更する 保留メールのみを対象とします。 <input checked="" type="checkbox"/> []時間経過したメールを変更する 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象とします。 <p>変更しない 変更しません。</p>
<p>④</p>	<p>【Receivedヘッダ削除ポリシー】</p> <p>Active!gate SSを経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合があります。ご注意下さい。</p> <p>削除する Receivedヘッダを削除します。</p> <p>削除しない Receivedヘッダを削除しません。</p>
<p>⑤</p>	<p>【Cc/Bcc自動追加】</p> <p>CcやBccに自動でメールアドレスを追加して送信します。</p> <p>CcやBccに自動追加するアドレスと同一のアドレスが元メールに存在する場合、重複して宛先に追加されることはありません。「追加する件名」や「追加する本文」は、自動追加に設定されている全アドレスに対して追加されます。</p> <p>する</p> <p>Ccに追加するメールアドレス Ccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。</p> <p>Ccに追加する件名 「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。</p> <p>Ccに追加する本文 「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>Bccに追加するメールアドレス Bccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。</p> <p>Bccに追加する件名 「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。</p> <p>Bccに追加する本文 「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>しない メールアドレスは追加しません。</p>

3.1.6 本文変換ポリシー

送信メールの本文に自動で文言を設定する為の設定を行います。

▶ 本文変換ポリシー

<input checked="" type="checkbox"/> ウィルススキャン定型文	<input checked="" type="radio"/> 挿入する <input type="radio"/> 挿入しない ^① <input type="radio"/> 本文の先頭 <input type="radio"/> 本文の末尾 <small>ウィルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入することができます。定型文の変更は「システムポリシー(標準)」で行います。アンチウイルスオプション使用時のみの動作となります。</small>
<input checked="" type="checkbox"/> 自由定型文	<input checked="" type="radio"/> 挿入する <input type="radio"/> 挿入しない ^② <input type="radio"/> 本文の先頭 <input type="radio"/> 本文の末尾 <small>メール本文に自由定型文を挿入することができます。</small>
<input checked="" type="checkbox"/> 自由定型文の内容	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 標準 </div> <div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div> <small>元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</small>

①	【ウィルススキャン定型文】
	<p>ウィルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。定型文の変更は「システムポリシー(標準)」で行います。アンチウイルスオプション使用時のみの動作となります。</p> <p>挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。</p> <p>挿入しない 挿入しません。</p>
②	【自由定型文】
	<p>メール本文に自由定型文を挿入する事ができます。</p> <p>挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。</p> <p>挿入しない 挿入しません。</p>
③	【自由定型文の内容】
	<p>自由定型文の内容を設定します。標準 / 英語から選択します。 元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。 最大入力文字数は1024文字までとなっています。</p>

注意

自由定型文 / ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。

3.1.7 通知メールポリシー

受信者（各宛先）に配送される通知メールの設定を行います。

通知メールポリシー

受信者向け通知メールの種類

標準 (日本語)

配送先に通知する通知メールの種類を設定します。

OK

①

【受信者向け通知メールの種類】

「受信者向け種別管理」にて追加した言語の種別を選択します。
詳細は、前述 62ページ：「受信者向け種別管理」を参照して下さい。



メモ

受信者向け通知メールのデフォルトは「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」にて決定されます。詳細は、後述 174ページ：「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

②

【OK ボタン】

画面上の全ての変更した内容を確定させます。 反映とは異なります。

3.2 管理者ポリシー（強制）

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】

管理者のみが設定するポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、本マニュアルの各ポリシーの章内での説明は省略させて頂きます。

【共通設定項目の省略対象となる画面】

- グループポリシー（強制）
- ユーザポリシー
- グループポリシー（標準）
- 管理者ポリシー（標準）

3.2.1 送信拒否

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【送信拒否】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【送信拒否】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【送信拒否】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【送信拒否】

受付メール（メール送信者が Active!gate SSを使用して送信されたメール（Active!gate SSが受信したメール）。以降省略）が、設定するポリシーに合致した場合、そのメールを宛先へ配送せず、エラーメールとして送信者に配送させたり、指定の宛先に転送させたりする送信拒否の設定を行います。この機能は管理者のみが設定できる機能で、各ユーザにて設定する事はできません。

ポリシー新規登録/更新

送信拒否に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①	<p>【ポリシー名】 ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。</p>
②	<p>【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。</p>
③	<p>【送信拒否ポリシー】 登録するポリシーが送信拒否をする為のポリシーなのか、または送信拒否をしない為のポリシーなのかを選択します。</p> <p>送信拒否する 送信拒否をする為のポリシーです。 送信者に返送 送信拒否になった場合、送信者に通知メールを配送するかを設定します。 する： 通知メールの配送を設定します。 しない： 通知メールの配送を設定しません。</p> <p>送信拒否しない 送信拒否しない為のポリシーです。</p>

4	【拒否メール転送】 メールが拒否された場合、指定の宛先にそのメールを転送します。内部・外部共に有効です。 転送する メールが拒否された場合、指定の宛先にそのメールを転送します。 テキストエリア 転送させる宛先を指定します。宛先は複数指定可能です。 改行で登録を行います。 転送しない 転送しません。
5	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
6	【追加 ボタン】 登録します。
7	【更新 ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
8	【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

9	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
10	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
11	【検索 ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

12	【優先度】 優先度の表示。
13	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
14	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
15	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
16	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
17	【削除 ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
18	【 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.2 保留

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【保留】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【保留】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【保留】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【保留】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【保留】

送信メールの保留ポリシーを設定します。設定したポリシーに該当する送信メールは送信されず保留します。

ポリシー新規登録/更新

保留に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①	【ポリシー名】 ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。
②	【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。
③	【ポリシー】 登録するポリシーが保留をする為のポリシーなのか、または保留をしない為のポリシーなのかを選択します。 保留する 保留をする為のポリシーです。 保留しない 保留しない為のポリシーです。

4 【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。
 特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。
 内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。
 準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。
 その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。
 グループ 登録済みグループから選択します。

メモ

その他の宛先 の指定方法について
 テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。
 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。
 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。
 例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

メモ

【確認する項目について】
 設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要があります。
 「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、バルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定した確認項目を
 チェックしない限り配送を行えません。

5 【確認する項目】

宛先 : 保留されたメールのチェック項目を宛先とします。

<input type="checkbox"/> 全宛先	: 全宛先がチェック対象となります。
<input type="checkbox"/> 全外部宛先	: 全外部宛先がチェック対象となります。
<input type="checkbox"/> 条件に一致	: 条件設定にて「宛先」を選択した場合に出力されます。 : 条件設定にて設定した宛先がチェック対象となります。

<input type="checkbox"/> 一つずつ	: 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。
<input type="checkbox"/> 全部まとめて	: 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。
<input type="checkbox"/> 伏せ字入力	: 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

ドメイン : 保留されたメールのチェック項目をドメインとします。

<input type="checkbox"/> 全ドメイン	: 全ドメインがチェック対象となります。
<input type="checkbox"/> 全外部ドメイン	: 全外部ドメインがチェック対象となります。
<input type="checkbox"/> 条件に一致	: 条件設定にて「宛先」を選択した場合に出力されます。 : 条件設定にて設定した宛先(ドメイン)がチェック対象となります。

<input type="checkbox"/> 一つずつ	: 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。
<input type="checkbox"/> 全部まとめて	: 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。
<input type="checkbox"/> 伏せ字入力	: 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

5	<p>【確認する項目】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> From : 保留されたメールのチェック項目をFromとします。</p> <p><input type="checkbox"/> アドレス確認 : From のチェックを行います。</p> <p><input type="checkbox"/> 伏せ字入力 : From に伏せ字入力によるチェックを行います。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> メモ</p> <p>Fromをチェック項目とした場合の伏せ字入力では、保留されたメールのEnvelope Fromを参照します。Envelope FromとHeader Fromが異なる場合は、伏せ字入力によるチェックは無効になります。</p> </div> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 件名 : 保留されたメールのチェック項目を件名とします。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体 : 件名全体がチェック対象となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 条件に一致 : 条件設定にて「件名」又は「件名・本文・添付ファイル」を選択した場合に出力されます。 : 条件設定にて設定した件名がチェック対象となります。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本文全体 : 保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 条件に一致した本文 : 条件設定にて「本文」を選択した場合に選択可能になります。 : 保留されたメールのチェック項目を条件に一致した本文とします。</p>
	<p>【確認する項目】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル名 : 保留されたメールのチェック項目を添付ファイル名とします。</p> <p><input type="checkbox"/> 全添付ファイル : 全添付ファイルがチェック対象となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 条件に一致 : 条件設定にて「添付ファイル」又は「件名・本文・添付ファイル」を選択した場合に出力されます。 : 条件設定にて設定した添付ファイルがチェック対象となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 一つずつ : 各添付ファイルごとに1つずつチェックが必要となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 全部まとめて : 添付ファイルを全部まとめて1度にチェックします。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル内容確認 : 保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。</p> <p><input type="checkbox"/> 全添付ファイル : 全添付ファイルがチェック対象となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 条件に一致 : 条件設定にて「添付ファイル」又は「件名・本文・添付ファイル」を選択した場合に出力されます。 : 条件設定にて設定した添付ファイルがチェック対象となります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プレビュー確認 : 添付ファイルのプレビューを必須にします。</p> <p><input type="text" value="5"/> ページまで : プレビューが必要なページ数を選択します。</p> <hr/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 確認する項目なし : 保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行えます。</p>
6	<p>【優先度設定】</p> <p>登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。</p> <p>最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。</p> <p>最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。</p>
7	<p>【追加ボタン】</p> <p>登録します。</p>
8	<p>【更新ボタン】</p> <p>一覧から選択したポリシー内容を更新します。</p>

9	【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。
---	--



【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

④	【優先度】 優先度の表示。
⑤	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑥	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑦	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑩	【▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.3 保留詳細

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【保留詳細】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【保留詳細】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【保留詳細】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【保留詳細】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【保留詳細】

保留されたメールに対し、保留期間や通知メール等の詳細なポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

保留詳細に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

👤 **ポリシー設定 / 管理者ポリシー(強制) / 保留詳細ポリシー設定**

管理者ポリシー(強制) 新規登録

📌 保留された場合の動作についての詳細なポリシーを設定できます。

💡 このポリシーはユーザのポリシーより優先されます。

ポリシー名 1

▶ **条件設定**

💡 ポリシーを適用する条件を設定します。

2

▶ **ポリシー**

💡 このポリシーに適用する項目のチェックボックスをオンにして設定を行います。

保留期間設定 分 3
保留する場合にメールをサーバーに残す期間を設定します。5分以上の期間を設定してください。

保留期間経過後の処理方法
 配送先に配送する 4
 配送せずサーバーから削除して送信者にエラーメールを送る
保留中に配送や削除の指示がなかったメールについての動作を設定します。但し、zipやwebダウンロードのパスワードが設定されていないために保留されたメールは、この設定にかかわらず、削除されます。

保留通知メールポリシー
 配信する 配信しない 5
メールが保留された場合、送信者に通知メールを配信することができます。通知メール内のURLをクリックすることで、パーソナルコントロールにログインせずにメールの配送や削除の指示が可能です。保留通知メールはメール保留決定時点ですぐに配信されます。

リマインダーポリシー
 配信する 配信しない 6
保留されたメールに配送や破棄の指示がない場合、一定期間毎にリマインダーメールを配信することが出来ます。

リマインダー間隔と回数 分 7

リマインダーを配信する場合の間隔と回数を設定することができます。

パスワード通知保留期間設定 分 8
zip変換やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄することが可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送されます。0を指定した場合は元メール配送完了後、すぐに配送が開始されます。

▶ **優先度設定**

💡 ポリシーは優先度の高い(数字の小さい)順に適用されます。

優先度 9

10 11 12

1

【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

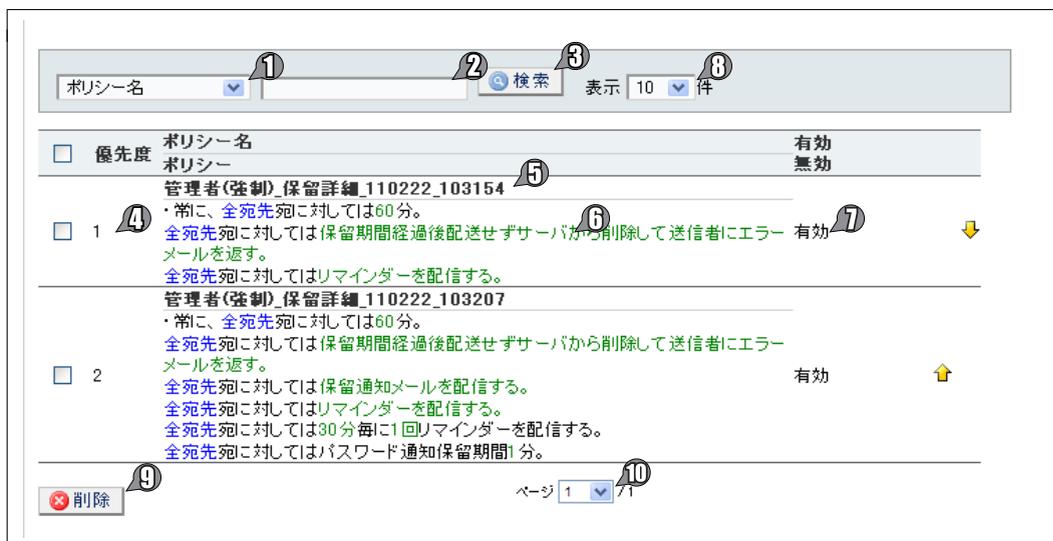
2

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。

ポリシー 保留後の主な動作について設定します。

③	【保留期間設定】 保留する期間の設定を行います。[] (分/時間/日)
④	【保留期間経過後の処理方法】 保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。 保留期間は保留キューに入った時点から計測します。 配送先に配送する 保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。 配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す 保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。
⑤	【保留通知メールポリシー】 保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
⑥	【リマインダーポリシー】 保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。 配信する リマインダー配信を行います。 配信しない リマインダー配信を行いません。
⑦	【リマインダー間隔と回数】 リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用する設定になっている必要があります。 リマインダー間隔 [] (分/時間/日) リマインダー回数 []
⑧	【パスワード通知保留期間設定】 添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。 保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄する事が可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送します。0分を指定した場合、元メール配送完了後、すぐに配送が開始します。 パスワード通知保留期間 [] (分/時間)
⑨	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
⑩	【追加ボタン】 登録します。
⑪	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
⑫	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

④	【優先度】 優先度の表示。
⑤	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑥	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑦	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑩	【▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.4 添付ファイル暗号化

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【添付ファイル暗号化】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【添付ファイル暗号化】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【添付ファイル暗号化】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【添付ファイル暗号化】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【添付ファイル暗号化】

添付ファイルを添付ファイル暗号化する為のポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

添付ファイル暗号化に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①

【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

②

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ:「条件設定」を参照して下さい。

③

【添付ファイル暗号化ポリシー】

メールの添付ファイルを1つのパスワード付きファイルに暗号化するかしないかの設定を行います。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。

使用する 添付ファイル暗号化します。
使用しない 添付ファイル暗号化しません。



メモ

パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準） - パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ:「パスワードポリシー」を参照して下さい。

4	<p>【zipして暗号化ポリシー】</p> <p>添付ファイル暗号化を使用する場合、zip変換したファイルに対してさらに暗号化を行う事で、元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。本設定により2回暗号化が行われ、これにより元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。</p> <p>使用する zipして暗号化します。 使用しない zipして暗号化しません。</p>
5	<p>【拡張子指定】</p> <p>添付ファイル暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。</p> <p>拡張子 []</p>
6	<p>【対象の宛先】</p> <p>対象の宛先を設定します。</p> <p>全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。 特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。</p> <p>チェックを入れると下記項目を表示します。</p> <p>外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。 内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。 準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。 その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。 グループ 登録済みグループから選択します。</p> <p>宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する チェックした場合、配送先MTAがSTARTTLSに対応している場合のみこのポリシーが適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」を設定できるのは、「管理者ポリシー（強制）」、「グループポリシー（強制）」、「グループポリシー（標準）」、「管理者ポリシー（標準）」に含まれる場合のみとなります。</p> <p> 注意</p> <p>パーソナルコントローラ画面には「管理者ポリシー」を表示する機能がありますが、「システム設定 > パーソナルコントローラ設定 > 管理者ポリシー表示」で本ポリシーの非表示/表示状態を変更することはできません。</p> <p> 注意</p> <p>異なるポリシー間で、同一条件の「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」がチェック/非チェック状態のポリシーを登録した場合、ポリシーチェーンの優先順位の高いものの設定が適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>その他の宛先 の指定方法について テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]</p> <p>また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。 例: [.example.jp]</p> <p>上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。</p>
7	<p>【優先度設定】</p> <p>登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。</p> <p>最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。</p>

8	【追加ボタン】 登録します。
9	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
10	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



メモ

「ヘッダ変換」等のActive!gate SSのポリシーで追加されたCc、Bcc先のメールサーバは、STARTTLSかどうかの判定対象には含まれません。そのため、ポリシーで追加されたCc、Bcc先には「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」が設定されたポリシーのアクションは適用されません。

The screenshot shows a table of policies with the following callouts:

- 1: Policy name dropdown
- 2: Search button
- 3: Search input field
- 4: Priority column
- 5: Policy name column
- 6: Policy content column
- 7: Effective/Ineffective status column
- 8: Display count dropdown
- 9: Delete button
- 10: Page number dropdown

【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

1	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
2	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
3	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

4	【優先度】 優先度の表示。
5	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
6	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
7	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
8	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
9	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
10	【1 / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.5 web ダウンロード

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【webダウンロード】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【webダウンロード】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【webダウンロード】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【webダウンロード】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【webダウンロード】

添付ファイルを分離して Active!gate SSサーバに保存しwebダウンロード機能を使用して、宛先に提供します。

ポリシー新規登録/更新

webダウンロードに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

① 【ポリシー名】
ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

② 【条件設定】
ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。

<p>③</p>	<p>【webダウンロードポリシー】</p> <p>添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active!gate SSサーバに保存し、web（ブラウザベース）でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。</p> <p>使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。</p> <p> メモ</p> <p>パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準）- パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ：「パスワードポリシー」を参照して下さい。</p>
<p>④</p>	<p>【ダウンロード可能期間】</p> <p>保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[]（単位：日）</p>
<p>⑤</p>	<p>【ダウンロードURL通知方法】</p> <p>宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態であることを知らせる方法を設定します。</p> <p>本文の文頭に追加する 宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能であることを追記します。</p> <p>別メールで配送する 添付ファイルが分離されダウンロード可能であることを元メールとは別のメールを自動配信し通知します。</p>
<p>⑥</p>	<p>【認証失敗回数超過時のログイン制限】</p> <p>ダウンロードセンターのログイン画面で連続して認証に失敗した場合に、ログインを制限する機能を設定します。</p> <p>使用する ログイン制限機能を使用します。 使用しない ログイン制限機能を使用しません。</p> <p>ログイン制限を行う場合は、認証失敗回数の上限を指定してください。</p> <p>認証失敗回数上限 : []（単位：回数）</p> <p> メモ</p> <p>認証失敗回数は、メールごとに受信者単位でカウントされます。また、一度成功すると失敗回数はリセットされます。</p> <p>ロックされると、メール詳細画面の宛先別配送状況に「パスワード入力ロック解除」ボタンが追加されます。このボタンを押下することによって、ロックを解除できます。</p>

7	<p>【対象の宛先】</p> <p>対象の宛先を設定します。</p> <p>全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。 特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。</p> <p>チェックを入れると下記項目を表示します。</p> <p>外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。 内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。 準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。 その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。 グループ 登録済みグループから選択します。</p> <p>宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する チェックした場合、配送先MTAがSTARTTLSに対応している場合のみこのポリシーが 適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」を設定できるのは、「管理者ポリシー（強制）」、「グループポリシー（強制）」、「グループポリシー（標準）」、「管理者ポリシー（標準）」に含まれる場合のみとなります。</p> <p> 注意</p> <p>パーソナルコントローラ画面には「管理者ポリシー」を表示する機能がありますが、「システム設定 > パーソナルコントローラ設定 > 管理者ポリシー表示」で本ポリシーの非表示/表示状態を変更することはできません。</p> <p> 注意</p> <p>異なるポリシー間で、同一条件の「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」がチェック/非チェック状態のポリシーを登録した場合、ポリシーチェーンの優先順位の高いものの設定が適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>その他の宛先の指定方法について テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]</p> <p>また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。 例: [.example.jp]</p> <p>上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。</p>
8	<p>【優先度設定】</p> <p>登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。</p> <p>最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。</p>
9	<p>【追加 ボタン】</p> <p>登録します。</p>
10	<p>【更新 ボタン】</p> <p>一覧から選択したポリシー内容を更新します。</p>
11	<p>【キャンセル ボタン】</p> <p>設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。</p>



メモ

「ヘッダ変換」等のActive!gate SSのポリシーで追加されたCc、Bcc先のメールサーバは、STARTTLSかどうかの判定対象には含まれません。そのため、ポリシーで追加されたCc、Bcc先には「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」が設定されたポリシーのアクションは適用されません。

【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【(検索)ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

④	【優先度】 優先度の表示。
⑤	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑥	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑦	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【(削除)ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑩	【1 / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.6 添付ファイル対象

システム管理者画面【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（強制）】>【添付ファイル対象】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】>【グループポリシー（強制）】>【添付ファイル対象】

システム管理者画面【ポリシー設定】>【ユーザポリシー】>【添付ファイル対象】

システム管理者画面【ポリシー設定】>【グループポリシー（標準）】>【添付ファイル対象】

システム管理者画面【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（標準）】>【添付ファイル対象】



メモ

パーソナルコントローラ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メニュー設定】の「添付ファイル対象設定画面 / 添付ファイル対象設定メニュー」を変更して下さい。

メール詳細画面（2段階）での変更も可能とさせたい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メール詳細設定】の「メール詳細画面（2段階） / 添付ファイル対象ポリシー」を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になります。ポリシー設定にはご注意ください。

ユーザ（送信者）が送信する様々な種類の添付ファイルを、添付ファイル対象ポリシーにて切り分け、前述の各ポリシーの対象 / 非対象とさせる事が可能です。

例えば、あるキーワードを含むファイル名のみを【添付ファイル暗号化（zip変換）】ポリシーの対象とさせたり、【送信拒否】ポリシーの対象から除外させる事や、特定の拡張子を【保留】ポリシーの「条件：添付ファイル」の対象から外す事も可能です。ユーザはパーソナルコントローラのメール詳細画面（2段階）にてチェックボックスを押下する事により、任意に変更も可能です。（**強制ポリシーは変更不可**）対象から外された添付ファイルは、通常通りメールに添付します。

[例]

- ファイル名に「お見積り」が含まれているファイルのみを添付ファイル暗号化（zip変換）やwebダウンロードさせたい。
- すでに暗号化されているファイルは添付ファイル暗号化（zip変換）から除外したい。
- サイズが1MB以下のファイルは保留ポリシーの「条件：添付ファイル」から除外させたい。



次ページより各設定項目のご説明と、簡単ではありますが、使用方法を例題を上げてご説明していきます。

ポリシー新規登録/更新

添付ファイル対象に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①	【ポリシー名】 ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。
②	【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p> メモ</p> <p>「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、「添付ファイル対象」ポリシー独自の条件設定になっています。 詳細は、後述 181ページ:「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定を参照して下さい。</p> </div>
③	【添付ファイル変換】 添付ファイル変換の対象 / 非対象を設定します。上記「条件設定」と組み合わせ、どの添付ファイルを【添付ファイル暗号化 (zip変換)】や【webダウンロード】の対象とさせるか、または除外させるかを設定します。 対象とする 添付ファイル変換の対象とします。 対象としない 添付ファイル変換の対象としません。
④	【ポリシー条件の添付ファイル】 ポリシー条件の添付ファイルの対象 / 非対象を設定します。上記「条件設定」と組み合わせ、どの添付ファイルを各ポリシーの条件の対象とさせるか、または除外させるかを設定します。 対象とする 各ポリシー条件の対象とします。 対象としない 各ポリシー条件の対象としません。
⑤	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
⑥	【追加 ボタン】 登録します。
⑦	【更新 ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
⑧	【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

優先度	ポリシー名	有効無効
1	管理者ポリシー(強制):添付転送 ・ヘッダのContent-Type:Message/rfc822を含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。 その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
2	管理者ポリシー(強制):インラインテキスト ・ヘッダのContent-Type:textを含む、ヘッダのContent-Disposition:attachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
3	管理者ポリシー(強制):HTMLインライン画像 ・ヘッダのContent-Type:image/を含む、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Type:multipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Disposition:attachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
4	管理者ポリシー(強制):S/MIME ・親のヘッダのContent-Type:multipart/signedを含む場合、またはヘッダのContent-Type:application/pkcs7-mimeを含む場合、またはヘッダのContent-Type:application/pkcs7-mimeを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。 その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
5	管理者ポリシー(強制):開封通知 ・ヘッダのContent-Type:message/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Type:text/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
6	管理者ポリシー(強制):report 親のヘッダのContent-Type:multipart/reportを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効

【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

④	【優先度】 優先度の表示。
⑤	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑥	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑦	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑩	【1 / 1 ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

【標準で実装されている各ポリシーについて】

添付ファイル対象では初期サービス開始時から既にいくつかのポリシーが実装されています。

【管理者ポリシー（強制）】では主に「ポリシー条件の添付ファイル」を設定させたポリシーが多く、【管理者ポリシー（標準）】では主に「添付ファイル変換」を設定したポリシーが作成されています。

簡単ではありますが、以下に各ポリシーの詳細についてご説明致します。



注意

標準で実装されている各ポリシーが適用されないようにするには、対象のポリシーを「無効」とすることで可能です。ただし、「管理者ポリシー(強制):添付転送」を適用しない場合に限り、有効のままポリシーを編集し、設定項目の「対象としない」を「対象とする」に変更する必要があります。

システム管理者画面:【ポリシー設定】【管理者ポリシー（強制）】【添付ファイル対象】

優先度	ポリシー名 ポリシー	有効 無効
1	管理者ポリシー(強制):添付転送 ・ヘッダのContent-Typeにmessage/rfc822を含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。 その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
2	管理者ポリシー(強制):インラインテキスト ・ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
3	管理者ポリシー(強制):HTMLインライン画像 ・ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
4	管理者ポリシー(強制):S/MIME ・親のヘッダのContent-Typeにmultipart/signedを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/pkcs7-mimeを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/x-pkcs7-mimeを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。 その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
5	管理者ポリシー(強制):開封通知 ・ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効
6	管理者ポリシー(強制):report ・親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としない。	有効

ポリシー	説明
管理者ポリシー（強制）： 添付転送	ヘッダのContent-Typeにmessage/rfc822を含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。また、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。 添付転送（添付して転送）した場合を対象とした設定になります。
管理者ポリシー（強制）： インラインテキスト	ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、ポリシー条件の添付ファイルの対象としません。 上記形式のインラインテキストを対象とした設定になります。
管理者ポリシー（強制）： HTMLインライン画像	ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。 HTML形式のインライン形式で挿入された画像を対象とした設定になります。
管理者ポリシー（強制）： S/MIME	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/signedを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/pkcs7-mimeを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/x-pkcs7-mimeを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。またその添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 S/MIME（RSA公開鍵暗号方式を用いてメッセージを暗号化して送信したメール[電子署名]）を対象とした設定になります。

管理者ポリシー（強制）： 開封通知	ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。 上記形式の開封通知メールを対象とした設定になります。
管理者ポリシー（強制）： report	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。 上記形式のバウンスメール等を対象とした設定になります。

システム管理者画面【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（標準）】>【添付ファイル対象】

優先度	ポリシー名	有効	無効
<input type="checkbox"/>	管理者ポリシー（標準）：インラインテキスト ・ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。	有効	↓
<input type="checkbox"/>	管理者ポリシー（標準）：HTMLインライン画像 ・ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。	有効	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	管理者ポリシー（標準）：開封通知 ・ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。	有効	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	管理者ポリシー（標準）：report ・親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としない。	有効	↑ ↓

削除

ページ 1 / 1

ポリシー	説明
管理者ポリシー（標準）： インラインテキスト	ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 上記形式のインラインテキストを対象とした設定になります。
管理者ポリシー（標準）： HTMLインライン画像	ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 HTML形式のインライン形式で挿入された画像を対象とした設定になります。
管理者ポリシー（標準）： 開封通知	ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 上記形式の開封通知メールを対象とした設定になります。
管理者ポリシー（標準）： report	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 上記形式のバウンスメール等を対象とした設定になります。

3.2.7 パスワード

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（強制）】>【パスワード】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【グループポリシー（強制）】>【パスワード】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【ユーザポリシー】>【パスワード】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【グループポリシー（標準）】>【パスワード】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（標準）】>【パスワード】

添付ファイルの暗号化やwebダウンロード機能で付与されるパスワードに関するポリシーを設定します。

ポリシー新規登録/更新

パスワードに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①

【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

②

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ:「条件設定」を参照して下さい。

<p>③</p>	<p>【パスワード設定方法】</p> <p>添付ファイル暗号化やwebダウンロードに付与されるパスワード設定方法を設定します。</p> <p>ランダム システムが毎回ランダムなパスワードを生成します。生成されるパスワードは、英数字と記号を含む10桁です。 生成される文字列：[2-9][a-z,A-Z(小文字[o] 大文字[O]除外)][!@#%&*_-+=:<>?/]</p> <p>手動 手動でパスワードを設定します。最短「8桁」から最長「50桁」の間で設定できます。 使用可能文字列：[0-9][a-z,A-Z][~!@#%&^&*()-_+=[{]} :;,'<>.,.?/]</p> <p>ポリシー設定画面のパスワード欄を空にするとメールが保留され、ユーザがメール詳細画面で個別にパスワードを設定することができます。</p> <p>「手動」を選択すると、パスワードの他にヒントを設定できます。ヒントを設定すると受信者向けのパスワード通知メールにはパスワードは記載されず、ヒントが記載されます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> メモ</p> <p>パスワードの長さや使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準）-パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ：「パスワードポリシー」を参照して下さい。</p> </div> <p>なし パスワードを設定しません。なお【ユーザポリシー】 【パスワード】では設定できません。</p> <p>添付ファイル暗号化ポリシーで添付ファイル変換したファイルを解凍する際のパスワード入力が不要になります。webダウンロードポリシーで使用するダウンロードセンターでのログイン画面のパスワード入力欄が非表示となり、パスワードの入力が不要になります。</p> <p>「なし」に設定したポリシーが適用された場合、パスワードを通知するメールは配送されません。また、ファイルダウンロードセンターでの認証失敗回数超過時のログイン制限は適用されません。</p> <p>保留されたメールにパスワード設定方法「なし」のポリシーが適用された場合、メール詳細画面（2段階）のパスワードを設定する入力欄には「なし」が表示されます。入力欄に「なし」が表示されている場合は、「ランダム」や「手動」へ変更することができません。また、メール詳細画面（2段階）の「登録」機能も使用することができません。</p>
<p>④</p>	<p>【パスワード通知ポリシー（自分）】</p> <p>付与されたパスワードを自分（送信者）宛へ通知をするかしないかの設定を行います。</p> <p>通知する 自分（送信者）に通知します。 通知しない 自分（送信者）に通知をしません。</p>
<p>⑤</p>	<p>【パスワード通知ポリシー（宛先）】</p> <p>付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。</p> <p>通知する 宛先に通知します。 メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。</p> <p>通知しない 通知をしません。</p>

<p>⑥</p>	<p>【パスワード通知文言の追加ポリシー】</p> <p>ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの設定を行います。「パスワード通知ポリシー(宛先)」が「通知する」を選択されている場合のみ利用可能となります。</p> <p>追加する 元メールの先頭に追記します。 追加しない 元メールへの追記をしません。</p>
<p>⑦</p>	<p>【対象の宛先】</p> <p>対象の宛先を設定します。</p> <p>全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。 特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。</p> <p>チェックを入れると下記項目を表示します。</p> <p>外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。 内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。 準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。 その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。 グループ 登録済みグループから選択します。</p> <p>宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する チェックした場合、配送先MTAがSTARTTLSに対応している場合のみこのポリシーが適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」を設定できるのは、「管理者ポリシー（強制）」、「グループポリシー（強制）」、「グループポリシー（標準）」、「管理者ポリシー（標準）」に含まれる場合のみとなります。</p> <p> 注意</p> <p>パーソナルコントローラ画面には「管理者ポリシー」を表示する機能がありますが、「システム設定 > パーソナルコントローラ設定 > 管理者ポリシー表示」で本ポリシーの非表示/表示状態を変更することはできません。</p> <p> 注意</p> <p>異なるポリシー間で、同一条件の「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」がチェック/非チェック状態のポリシーを登録した場合、ポリシーチェーンの優先順位の高いものの設定が適用されます。</p> <p> メモ</p> <p>その他の宛先の指定方法について テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]</p> <p>また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。 例: [.example.jp]</p> <p>上記の場合、 ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。</p>
<p>⑧</p>	<p>【優先度設定】</p> <p>登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。</p> <p>最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。</p>
<p>⑨</p>	<p>【追加ボタン】</p> <p>登録します。</p>

10	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
11	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



メモ

「ヘッダ変換」等のActive!gate SSのポリシーで追加されたCc、Bcc先のメールサーバは、STARTTLSかどうかの判定対象には含まれません。そのため、ポリシーで追加されたCc、Bcc先には「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」が設定されたポリシーのアクションは適用されません。

【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

1	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
2	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
3	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

4	【優先度】 優先度の表示。
5	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
6	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
7	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
8	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
9	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
10	【▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.8 スコア

システム管理者画面【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（強制）】>【スコア】

【その他の画面共通メニュー】

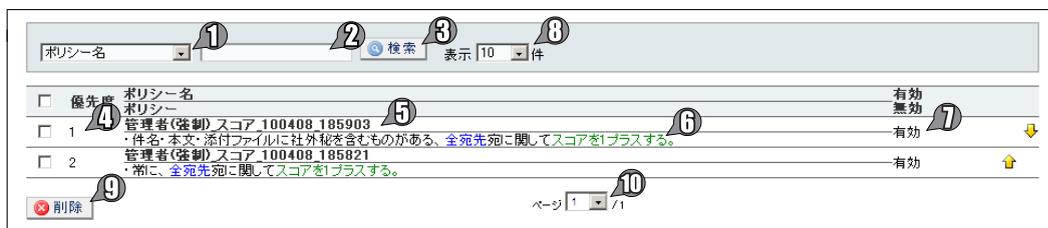
なし

ポリシー新規登録/更新

スコアに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①	【ポリシー名】 ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。
②	【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ:「条件設定」を参照して下さい。
③	【ポリシー：スコア設定】 スコアの条件を設定します。 プラスする 条件に合致した際にプラスするスコア値（数値）を入力欄に記入します。 マイナスする 条件に合致した際にマイナスするスコア値（数値）を入力欄に記入します。
④	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
⑤	【追加ボタン】 登録します。
⑥	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
⑦	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

④	【優先度】 優先度の表示。
⑤	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑥	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑦	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【削除ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑩	【▼/1: ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.9 ヘッダ変換

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（強制）】>【ヘッダ変換】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【グループポリシー（強制）】>【ヘッダ変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【ユーザポリシー】>【ヘッダ変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【グループポリシー（標準）】>【ヘッダ変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（標準）】>【ヘッダ変換】

ヘッダ変換に関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

ヘッダ変換に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

管理者ポリシー(強制) 新規登録

① ヘッダ変換に関するポリシーの設定を行います。

💡 このポリシーはユーザのポリシーより優先されます。

ポリシー名 ①

▶ **条件設定**

💡 ポリシーを適用する条件を設定します。

②

▶ **ポリシー**

💡 このポリシーに適用する項目のチェックボックスをオンにして設定を行います。

Bcc変換ポリシー

Bcc変換詳細設定

Dateヘッダ変更ポリシー

Receivedヘッダ削除ポリシー

Cc/Bcc自動追加

変換する 変換しない ③

外部宛先をBcc変換する

内部宛先をBcc変換する

To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、どのアドレスを変換するかも設定できます。

ToにFromアドレスを使う ④

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う

Toに を使う

Bcc変換後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定します。なお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。

変更する 変更しない ⑤

保留されたメールを変更する

時間経過したメールを変更する

保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。

削除する 削除しない ⑥

Receivedヘッダを全て削除するかどうかを設定できます。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、Receivedヘッダ変換はメール単位での動作となりますので、対象の宛先の設定は適用されません。

する しない ⑦

設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

▶ **対象の宛先**

💡 ポリシーを適用する宛先を設定します。

全宛先 特定の宛先 ⑧

▶ **優先度設定**

💡 ポリシーは優先度の高い(数字の小さい)順に適用されます。

優先度 ⑨

⑩ ⑪ ⑫

①

【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

②

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ:「条件設定」を参照して下さい。

③	<p>【Bcc変換ポリシー】</p> <p>設定条件により、宛先をBccに変換して送信する為の機能です。</p> <p>変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。</p> <p>外部宛先をBcc変換する 宛先が外部（Active!gate SSに未登録のドメイン）の場合変換します。</p> <p>内部宛先をBcc変換する 宛先が内部（Active!gate SSに登録されたドメイン）の場合変換します。</p> <p>変換しない Bcc変換を行いません。</p>
④	<p>【Bcc変換詳細設定】</p> <p>Bcc変換を行ったメールのToアドレスを条件により指定します。</p> <p>ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。</p> <p>Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。</p> <p>Toに入力値[]を使う Toに指定したものを使用します。</p>
⑤	<p>【Dateヘッダ変更ポリシー】</p> <p>Active!gate SSを経由するメールヘッダのDate（時刻）を変更する為の機能です。</p> <p>変更する 変更します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保留されたメールを変更する 保留メールのみを対象とします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> []時間経過したメールを変更する 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象とします。</p> <p>変更しない 変更しません。</p>
⑥	<p>【Receivedヘッダ削除ポリシー】</p> <p>Active!gate SSを経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。</p> <p>削除する Receivedヘッダを削除します。</p> <p>削除しない Receivedヘッダを削除しません。</p>

7

【Cc/Bcc自動追加】

CcやBccに自動でメールアドレスを追加して送信します。

CcやBccに自動追加するアドレスと同一のアドレスが元メールに存在する場合、重複して宛先に追加されることはありません。「追加する件名」や「追加する本文」は、自動追加に設定されている全アドレスに対して追加されます。



メモ

ユーザポリシーでは、Active!gate SSに登録されていないメールアドレスはCc, Bccに設定できません。

する

Ccに追加するメールアドレス

Ccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

Ccに追加する件名

「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。

Ccに追加する本文

「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

Bccに追加するメールアドレス

Bccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

Bccに追加する件名

「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。

Bccに追加する本文

「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

しない メールアドレスは追加しません。

8

【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。

内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



メモ

その他の宛先の指定方法について
テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。
例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。
これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。
例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

9	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
10	【追加 ボタン】 登録します。
11	【更新 ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
12	【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

1	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
2	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
3	【検索 ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

4	【優先度】 優先度の表示。
5	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
6	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
7	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
8	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
9	【削除 ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
10	【▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.10 本文変換

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【本文変換】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【本文変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【本文変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【本文変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【本文変換】

本文変換に関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

本文変換に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①	【ポリシー名】 ポリシーに名称を付けます。Defaultの名称を変更する場合入力欄をクリックします。
②	【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ:「条件設定」を参照して下さい。
③	【ウイルススキャン定型文】 ウイルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。定型文の変更は「システムポリシー（標準）」で行います。アンチウイルスオプション使用時のみの動作となります。 挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。 挿入しない 挿入しません。

4	<p>【自由定型文】</p> <p>自由定型文を挿入します。</p> <p>挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。 挿入しない 挿入しません。</p>
5	<p>【自由定型文の内容】</p> <p>自由定型文の内容を設定します。標準 / 英語から選択します。 元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。 最大入力文字数は1024文字までとなっています。</p> <p> 注意</p> <p>1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。</p>
6	<p>【対象の宛先】</p> <p>対象の宛先を設定します。</p> <p>全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。 特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。 チェックを入れると下記項目を表示します。 外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。 内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。 準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。 その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。 グループ 登録済みグループから選択します。</p> <p> メモ</p> <p>その他の宛先 の指定方法について テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]</p> <p>また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。 例: [.example.jp]</p> <p>上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。</p>
7	<p>【優先度設定】</p> <p>登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。</p> <p>最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。</p>
8	<p>【追加】ボタン</p> <p>登録します。</p>
9	<p>【更新】ボタン</p> <p>一覧から選択したポリシー内容を更新します。</p>
10	<p>【キャンセル】ボタン</p> <p>設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。</p>

【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【(検索)ボタン】 検索を実行します。
④	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

⑤	【優先度】 優先度の表示。
⑥	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑦	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑧	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
⑨	【アイコン】 ポリシーの優先度を変更します。
⑩	【(削除)ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
⑪	【▼/1：ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.11 通知メール

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（強制）】▶【通知メール】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（強制）】▶【通知メール】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【ユーザポリシー】▶【通知メール】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【グループポリシー（標準）】▶【通知メール】

システム管理者画面【ポリシー設定】▶【管理者ポリシー（標準）】▶【通知メール】

通知メールに関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

通知メールに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。

①

【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Defaultの名称を変更する場合入力欄をクリックします。

②

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。

③

【受信者向け通知メールの種類】

「受信者向け種別管理」にて追加した言語の種別を選択します。
詳細は、前述 62ページ：「受信者向け種別管理」を参照して下さい。



メモ

受信者向け通知メールのデフォルトは「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」にて決定されます。詳細は、後述 174ページ：「システムポリシー（標準）- 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

④

【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部（未登録ドメイン宛）を対象。

内部宛先 内部（登録済みドメイン宛）を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。

宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する

チェックした場合、配送先MTAがSTARTTLSに対応している場合のみこのポリシーが適用されます。



メモ

「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」を設定できるのは、「管理者ポリシー（強制）」、「グループポリシー（強制）」、「グループポリシー（標準）」、「管理者ポリシー（標準）」に含まれる場合のみとなります。



注意

パーソナルコントローラ画面には「管理者ポリシー」を表示する機能がありますが、「システム設定 > パーソナルコントローラ設定 > 管理者ポリシー表示」で本ポリシーの非表示/表示状態を変更することはできません。



注意

異なるポリシー間で、同一条件の「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」がチェック/非チェック状態のポリシーを登録した場合、ポリシーチェーンの優先順位の高いものの設定が適用されます。



メモ

その他の宛先の指定方法について
テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。
例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。
これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。
例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

⑤

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。

最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

⑥	【追加ボタン】 登録します。
⑦	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
⑧	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



メモ

「ヘッダ変換」等のActive!gate SSのポリシーで追加されたCc、Bcc先のメールサーバは、STARTTLSかどうかの判定対象には含まれません。そのため、ポリシーで追加されたCc、Bcc先には「宛先のメールサーバがSTARTTLSに対応している場合、ポリシーを適用する」が設定されたポリシーのアクションは適用されません。

【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

①	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
②	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。
④	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

⑤	【優先度】 優先度の表示。
⑥	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。
⑦	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
⑧	【有効無効】 登録されたポリシーが有効が無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

9	【 アイコン】 ポリシーの優先度を変更します。
10	【(削除) ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
11	【 <input type="checkbox"/> / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.3 グループポリシー（強制）

システム管理者画面【ポリシー設定】>【グループポリシー（強制）】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザには強制的に適用されます。

画面内の各設定項目および構成については、「管理者ポリシー（強制）」に準じます。詳細は、119ページ：管理者ポリシー（強制）をご参照ください。



メモ

【管理者ポリシー（強制）との違い】

ポリシーを設定するには、「対象グループ」のセレクトボックスからポリシーの対象とするグループを選択して設定します。画面上部のタブを選択すると、対象グループの選択を保持した状態で設定するポリシーの種類を選択することができます。

対象グループには、「ユーザ管理」「ポリシーグループ管理」で設定したグループと、「ドメイン」毎のグループが表示されます。（[下図参照](#)）

グループポリシー（強制）では、以下の設定が利用できません。

- スコアポリシー

グループポリシー（強制） 又は グループポリシー（標準） - 「対象グループ」の説明

ポリシー設定 / グループポリシー(強制) / 送信拒否ポリシー設定

送信拒否 保留 保留詳細 添付ファイル

対象グループ

グループポリシー

送信拒否ポリシー

ポリシー名

条件設定

ポリシーを適用する

常に

ポリシー

① 直近で登録/変更したものが最大 5 件分表示されます。

② 「グループ名」の並び順は登録/変更したものが順次先頭に表示されます。

① 全てのグループが表示されます。

② 表示される「グループ名」は ASCII 順でソートされ表示されます。

① 「ユーザ管理」 - 「ドメイン設定」で作成された「ドメイン」毎のグループ



注意

219ページ：ポリシーグループ管理 - [グループのメンバー]に記載があります様に、設定された【グループのメンバー】であるかどうかの判定は、送信メールのヘッダの「From」のアドレスが判定対象として使用されます。本来の送信者を示すエンベロープ情報の「From」のアドレスは判定対象とは異なるのでご注意ください。

3.4 ユーザポリシー

システム管理者画面：【ポリシー設定】【ユーザポリシー】

ユーザポリシーでは、ユーザごとに異なるポリシーを設定できます。管理者がユーザを指定して設定するか、ユーザがパーソナルコントローラを使用して自分自身のポリシーを設定します。

画面内の各設定項目および構成については、「管理者ポリシー（強制）」に準じます。詳細は、119ページ：管理者ポリシー（強制）をご参照ください。



メモ

【管理者ポリシー（強制）との違い】

ポリシーを設定するには、「対象ユーザ」にポリシーの対象とするユーザを入力して「選択」ボタンで確定してから設定します。画面上部のタブを選択すると、対象ユーザの選択を保持した状態で設定するポリシーの種類を選択することができます。

ユーザポリシーでは、以下の設定が利用できません。

- 送信拒否ポリシー
- スコアポリシー
- 添付ファイル対象ポリシーの「ポリシー条件の添付ファイル」項目

ユーザポリシーでは、以下の設定に制限があります。

- ヘッダ変換ポリシーの「Cc/Bcc自動追加」項目では、Active!gate SSに登録されていないメールアドレスはCc, Bccに設定できません。
- 条件設定で「名字」を条件としたポリシーは設定できません。

3.5 グループポリシー（標準）

システム管理者画面【ポリシー設定】>【グループポリシー（標準）】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。グループポリシー（標準）とユーザポリシーに矛盾する設定があった場合、ユーザポリシーが優先されます。ユーザポリシーが設定されていない場合は、グループポリシー（標準）が適用されます。

画面内の各設定項目および構成については、「管理者ポリシー（強制）」に準じます。詳細は、119ページ：管理者ポリシー（強制）をご参照ください。



メモ

【管理者ポリシー（強制）との違い】
グループポリシー（標準）では、以下の設定が利用できません。

- スコアポリシー
- 添付ファイル対象ポリシーの「ポリシー条件の添付ファイル」項目



注意

219ページ：ポリシーグループ管理 - [グループのメンバー]に記載があります様に、設定された【グループのメンバー】であるかどうかの判定は、送信メールのヘッダの「From」のアドレスが判定対象として使用されます。本来の送信者を示すエンベロープ情報の「From」のアドレスは判定対象とは異なるのでご注意ください。

3.6 管理者ポリシー（標準）

システム管理者画面【ポリシー設定】>【管理者ポリシー（標準）】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。管理者ポリシー（標準）とユーザポリシーに矛盾する設定があった場合、ユーザポリシーが優先されます。ユーザポリシーが設定されていない場合は、管理者ポリシー（標準）が適用されます。

画面内の各設定項目および構成については、「管理者ポリシー（強制）」に準じます。詳細は、119ページ：管理者ポリシー（強制）をご参照ください。



メモ

【管理者ポリシー（強制）との違い】
管理者ポリシー（標準）では、以下の設定が利用できません。

- スコアポリシー
- 添付ファイル対象ポリシーの「ポリシー条件の添付ファイル」項目

3.7 システムポリシー（標準）

システム管理者画面【ポリシー設定】【システムポリシー（標準）】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。システムポリシー（標準）とユーザポリシーに矛盾する設定があった場合、ユーザポリシーが優先されます。ユーザポリシーが設定されていない場合は、システムポリシー（標準）が適用されます。

3.7.1 保留ポリシー

保留機能を使用する場合、ポリシーにマッチしたメールは送信されず、サーバ上に保留します。

ポリシー設定 / システムポリシー(標準)

システムポリシー(標準)

システムの標準ポリシーの設定を行います。

管理者ポリシー、グループポリシー、ユーザポリシーにマッチしなかったメールや宛先には、ここで設定した内容が適用されます。

▶ **保留ポリシー**

保留ポリシー

保留する 保留しない

保留機能を使用する場合、メールは送信されず、サーバ上に保留されます。

▶ **確認する項目**

全宛先

全ドメイン

From

件名

本文全体

全添付ファイル名

添付ファイル内容確認 プレビュー確認 ページまで

確認する項目なし

保留期間設定

分 (5分～7日)

保留する場合にメールをサーバに残す期間を設定します。5分以上の期間を設定してください。

保留期間経過後の処理方法

配信先に配送する

配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す

保留中に配送や削除の指示がなかったメールについての動作を設定します。但し、添付ファイル暗号化やWebダウンロードのパスワードが設定されていないため、削除されたメールは、この設定にかかわらず、削除されます。

保留通知メールポリシー

配信する 配信しない

メールが保留された場合、送信者に通知メールを配信することができます。通知メール内のURLをクリックすることで、パーソナルコントロールにログインせずにメールの配送や削除の指示が可能です。保留通知メールはメール保留決定時点ですぐに配信されます。

リマインダーポリシー

配信する 配信しない

保留されたメールに配送や破棄の指示がない場合、一定期間毎にリマインダーメールを送信することができます。

リマインダーの間隔と回数

リマインダーの間隔 分 (5分～7日)

リマインダー回数

リマインダーを配信する間隔と回数を設定することができます。

パスワード通知自動配信

配信する 配信しない

添付ファイル暗号化およびWebダウンロード時のパスワード通知メールの配信方法を設定します。「配信する」を選択した場合、「パスワード通知保留期間設定」で自動配送されるまでの保留期間を設定します。「配信しない」を選択した場合、パスワード通知メールは自動で配送されず手動で配送する必要があります。

パスワード通知保留期間設定

分 (0分～24時間)

パスワード通知メールを保留する期間を設定します。保留期間内であれば、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄することが可能です。設定した保留期間が経過するとパスワード通知メールが自動的に配送されます。期間に「0」を指定した場合は元メール配送完了後、すぐにパスワード通知メールが配送されます。

伏せ字文字数(メールアドレス)

@の前 ～ 文字 (0～9文字)

@の後 ～ 文字 (0～9文字)

保留ポリシーの確認する項目で宛先、またはFromに伏せ字入力を選択した場合の伏せ字にする文字数を設定します。ここで設定した範囲の中でランダムな文字数が伏せ字となります。但し、条件によっては設定より少ない文字数しか伏せ字にならない場合もあります。

伏せ字文字数(ドメイン)

～ 文字 (0～9文字)

保留ポリシーの確認する項目でドメインに伏せ字入力を選択した場合の伏せ字にする文字数を設定します。ここで設定した範囲の中でランダムな文字数が伏せ字となります。

▶ **添付ファイル暗号化ポリシー**

添付ファイル暗号化ポリシー

使用する 使用しない

「使用する」にした場合、添付ファイルを1つのパスワード付きファイルに暗号化して配送します。

順を追って各項目についてご説明します。

1

【保留ポリシー】

保留機能を使用するかどうかの設定を行います。

保留する 保留機能を使用します。
保留しない 保留機能を使用しません。



メモ

【確認する項目について】

設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要があります。「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、バルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定した確認項目をチェックしない限り配送を行えません。

宛先に関するポリシーにマッチし保留された場合、宛先をチェックする事がご利用方法として一般的に必要と思われますが、ここでは本文全体をチェックさせる事も可能です。例として、宛先に外部が含まれるポリシーにマッチし保留された場合、宛先のチェックは当然ながら、外部への送信の為、「本文の内容もチェックさせたい」として2重チェックにさせる事も可能です。

2

【確認する項目】

- 全宛先**：保留されたメールのチェック項目を全宛先とします。

一つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏せ字入力 : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

- 全ドメイン**：保留されたメールのチェック項目を全ドメインとします。

一つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏せ字入力 : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

【確認する項目】

- From**：保留されたメールのチェック項目をFromとします。

アドレス確認 : From のチェックを行います。

伏せ字入力 : From に伏せ字入力によるチェックを行います。



メモ

Fromをチェック項目とした場合の伏せ字入力では、保留されたメールのEnvelope Fromを参照します。Envelope FromとHeader Fromが異なる場合は、伏せ字入力によるチェックは無効になります。

- 件名**：保留されたメールのチェック項目を件名とします。

- 本文全体**：保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。

【確認する項目】

- 全添付ファイル名**：保留されたメールのチェック項目を全添付ファイル名とします。

一つずつ : 各添付ファイルごとに1 つずつチェックが必要となります。

全部まとめて : 添付ファイルを全部まとめて1 度にチェックします。

- 添付ファイル内容確認**：保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。

プレビュー確認：添付ファイルのプレビューを必須にします。

5 ページまで：プレビューが必要なページ数を選択します。

- 確認する項目なし**：保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行います。

3

【保留期間設定】

保留する期間の設定を行います。[] (分/時間/日)

④	<p>【保留期間経過後の処理方法】</p> <p>保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。</p> <p>配送先に配送する 保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。</p> <p>配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す 保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。</p>
⑤	<p>【保留通知メールポリシー】</p> <p>保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。通知メール内のURLをクリックする事で、パーソナルコントローラにログインせずにメールの配送や削除の指示が可能です。保留通知メールはメール保留決定時点ですぐに配信します。</p> <p>配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。</p>
⑥	<p>【リマインダーポリシー】</p> <p>保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。</p> <p>配信する リマインダー配信を行います。 配信しない リマインダー配信を行いません。</p>
⑦	<p>【リマインダー間隔と回数】</p> <p>リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用する設定になっている必要があります。</p> <p>リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []</p>
⑧	<p>【パスワード通知自動配送】</p> <p>添付ファイル暗号化およびWebダウンロード時のパスワード通知メールの配送方法を設定します。「配送する」を選択した場合、「パスワード通知保留期間設定」で設定された保留期間経過後、パスワード通知メールが配送されます。「配送しない」を設定した場合、パスワード通知メールは自動で配送されず手動で操作を行い配送する必要があります。</p> <p>手動での操作は送信後の「メール詳細画面」で行います。詳細は、230ページ:「メール詳細画面とは」を参照して下さい。</p> <p>配送する 「パスワード通知保留期間設定」で設定された保留期間経過後、パスワード通知メールが配送されます。 配送しない パスワード通知メールは自動で配送されず手動で操作を行い配送します。</p>
⑨	<p>【パスワード通知保留期間設定】</p> <p>添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄する事が可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送します。0分を指定した場合、元メール配送完了後、すぐに配送が開始します。</p> <p>[](分/時間)</p>
⑩	<p>【伏せ字文字数(メールアドレス)】</p> <p>保留ポリシーの[確認する項目]の[宛先]または[From]を「伏せ字入力」とした場合、保留解除時、パルーンの中にあるアドレスが伏せ字状態となります。</p> <p>@の前 [] ~ []文字 各アドレスの@より前に伏せ字が出力します。最少出力数~最大出力数を入力します。</p> <p>@の後 [] ~ []文字 各アドレスの@より後ろに伏せ字が出力します。最少出力数~最大出力数を入力します。</p> <p>入力できる伏せ字数は0~9までです。 条件によっては設定より少ない文字数しか伏せ字にならない場合もあります。</p>

11

【伏せ字文字数（ドメイン）】

保留ポリシーの[確認する項目]の[ドメイン]を「伏せ字入力」とした場合、保留解除時、バールーンの中にあるドメインが伏せ字状態となります。伏せ字にする文字数を設定します。

[] ~ []文字

各ドメインに伏せ字が出力します。最少出力数 ~ 最大出力数までを入力します。

入力できる伏せ字数は0~9までです。

3.7.2 添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分を添付ファイル暗号化させる為の設定を行います。

①

【添付ファイル暗号化ポリシー】

添付ファイル付きメールの添付ファイルを添付ファイル暗号化するかしないかの設定を行います。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。

使用する 添付ファイル暗号化します。
使用しない 添付ファイル暗号化しません。



メモ

パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー（標準） - パスワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 169ページ：「パスワードポリシー」を参照して下さい。

②

【zipして暗号化ポリシー】

添付ファイル暗号化にてzip変換したファイルに対してさらに暗号化を行います。元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。（変換されたファイルを復号化するとランダムなファイル名のzipファイルが解凍します。）添付ファイル暗号化方式に「7zip（ファイル名も暗号化）」を使用する場合、不要です。またzip（UTF8）を使用する場合、対応していません。ご注意下さい。

使用する zipして暗号化します。
使用しない zipして暗号化しません。

③

【暗号化方式】

添付ファイル暗号化ポリシーで使用する暗号化方式を指定します。zip以外に変更した場合、メールを受信した環境によっては解凍できない場合があります。ご注意下さい。**次ページにて、それぞれの特徴について記述しています。ご確認ください。**

zip： 最も一般的なパスワード付きzip方式です。
zip（UTF8）： ファイル名がUTF8の形式に変換され、zip圧縮します。
zip（AES128）： 暗号方式に鍵長128bitのRijndael AESを使用した形式です。
zip（AES256）： 上記と同様に鍵長に256bitを使用した形式です。
7zip： 7z形式の書庫を作成します。標準の拡張子は“7z”となります。
7zip（ファイル名も暗号化）：
 上記7zip形式と同様ですが、パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事ができなくなります。

7zip（自己解凍）：
 上記7zip形式の自己解凍形式（Windowsの実行ファイル）となります。
 標準の拡張子は“exe”となります。

④

【拡張子指定】

zip暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。

拡張子 []

【暗号化方式の特徴について】

前述の暗号化方式のそれぞれの特徴についてご説明致します。zip以外に変更した場合、受信した環境によっては解凍できない場合があります。ご注意ください。

zip :

最も一般的なパスワード付きzip方式です。
暗号方式は鍵長96bitのTraditional PKWARE Encryption、圧縮方式はdeflateとなります。多くの環境で解凍・復号が可能です。不特定の宛先に送信するには望ましい形式です。パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事は可能です。標準の拡張子は"zip"となります。

zip (UTF8) :

多言語 (UTF8) に対応したパスワード付きzip方式です。
UTF8の形式に変換され、zip圧縮します。解凍・復号はUTF8対応の解凍ツールにて可能です。標準の拡張子は"zip"となります。

zipして暗号化ポリシーを使用する場合、対応していません。ご注意ください。

尚、ファイル名がUTF8に対応している解凍ツールは以下があります。(弊社検証済み)

[解凍ツール]

7-ZIP(9.20),WinZIP(16.5),WinRAR(4.11),ALZip(8.22),stufit Expander(15.0.4)

zip (AES128) :

一般的なzip形式で、暗号方式に鍵長128bitのRijndael AESを使用した形式です。
拡張子が"zip"となります。通常のzip解凍ソフトで解凍できそうに見えますが、AES非対応の解凍ソフトを使用した場合、解凍できません。ご注意ください。パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事は可能です。

zip (AES256) :

上記と同様で鍵長を256bitを使用した形式です。

7zip :

7z形式の書庫を作成します。
暗号方式は鍵長256bitのRijndael AES、圧縮方式はLZMAとなります。
一般的なzip形式と比較し圧縮率が高く暗号強度も高いといえますが、解凍には7z形式対応の解凍ソフトが必要になる場合が多いようです。パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事は可能です。標準の拡張子は"7z"となります。

7zip (ファイル名も暗号化) :

上記7zip形式と同様ですが、パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事ができなくなります。

7zip (自己解凍) :

上記7zip形式の自己解凍形式 (Windowsの実行ファイル) となります。
Windows上で実行してパスワードを入力する事で、書庫が解凍します。
解凍ソフトが必要ない為便利な形式ですが、パスワード付きの暗号化されたファイルである為社内ポリシーやウイルスフィルタ等の為、環境によっては使用できない事もあります。ご注意ください。標準の拡張子は"exe"となります。

**メモ**

上記のzip,zip (UTF8) を除くzip (AES128, 256) 、7zipの書庫作成において7-zipプログラムを使用しています。7-zipはGNU LGPLのライセンスの為ソースコードは <http://www.7-zip.org/> にて入手可能です。

3.7.3 webダウンロードポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分をwebダウンロードさせる為の設定を行います。

webダウンロードポリシー	
webダウンロードポリシー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない ¹ <small>「使用する」にした場合、添付ファイルを切り離してサーバに残します。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスすることにより添付ファイルをダウンロードできます。</small>
ダウンロード可能期間	<input type="text" value="5"/> 日(1~7) ² <small>添付ファイルはこのダウンロード可能期間が経過した後、サーバ³から見えなくなります。</small>
ダウンロードURL通知方法	<input checked="" type="radio"/> 本文の文頭に追加する <input type="radio"/> 別メールで配送する <small>受信者に対してのダウンロードセンターのURLの通知方法を設定します。</small>
認証失敗回数超過時のログイン制限	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない ⁴ <small>ダウンロードセンターでの認証失敗回数超過時のログインを制限する機能を設定します。</small> 認証失敗回数上限 <input type="text" value="3"/> 回(3~10) <small>認証失敗回数の上限を設定します。認証失敗回数が上限を超えた場合、ロック解除をしない限り、ログインできません。</small>

1	【webダウンロードポリシー】 添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active!gate SSサーバに保存し、web（ブラウザベース）でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。 使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。
2	【ダウンロード可能期間】 保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[<input type="text"/>](単位：日)
3	【ダウンロードURL通知方法】 宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態である事を知らせる方法を設定します。 本文の文頭に追加する 宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能である事を追記します。 別メールで配送する 添付ファイルが分離されダウンロード可能である事を元メールとは別のメールを自動配信し通知します。
4	【認証失敗回数超過時のログイン制限】 ダウンロードセンターのログイン画面で連続して認証に失敗した場合に、ログインを制限する機能を設定します。 使用する ログイン制限機能を使用します。 使用しない ログイン制限機能を使用しません。 ログイン制限を行う場合は、認証失敗回数の上限を指定してください。 認証失敗回数上限 : [<input type="text"/>](単位：回数)
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p> メモ</p> <p>認証失敗回数は、メールごとに受信者単位でカウントされます。また、一度成功すると失敗回数はリセットされます。</p> <p>ロックされると、メール詳細画面の宛先別配送状況に「パスワード入力ロック解除」ボタンが追加されます。このボタンを押下することによって、ロックを解除できます。</p> </div>

3.7.4 パスワードポリシー

添付ファイル暗号化やwebダウンロード化された添付ファイルの暗号化（パスワード設定）やパスワードの通知方法に関する設定を行います。

The screenshot shows the 'パスワードポリシー' (Password Policy) configuration page. It is divided into two main sections: 'パスワード設定方法' (Password Setting Method) and 'パスワード通知ポリシー' (Password Notification Policy). The settings are as follows:

- パスワード設定方法:** Set to 'ランダム' (Random).
- パスワード通知ポリシー(自分):** Set to '通知する' (Notify).
- パスワード通知ポリシー(宛先):** Set to '通知する' (Notify).
- パスワード通知文言の追加ポリシー:** Set to '追加する' (Add).
- パスワード制限(手動):** Checked: '英小文字を必ず含む', '英大文字を必ず含む', '数字を必ず含む', '記号を必ず含む'.
- パスワードの最短の長さ(手動):** Set to 8.
- パスワード使用可能文字(手動):** Custom characters: 0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ~!@#\$%^&*()-_+={[}]|:;';<>.,?/
- パスワード制限(ランダム):** Checked: '英小文字を必ず含む', '英大文字を必ず含む', '数字を必ず含む', '記号を必ず含む'.
- パスワードの長さ(ランダム):** Set to 10.
- パスワード使用可能文字(ランダム):** Custom characters: 23456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ!@#\$%^&*()-_+={[}]|:;';<>.,?/

①

【パスワード設定方法】

添付ファイル暗号化やwebダウンロードに付与されるパスワード設定方法を設定します。

ランダム

システムが毎回ランダムなパスワードを生成します。

生成される文字列: [2-9][a-z,A-Z(小文字[o] 大文字[O]除外)][!@#\$%&*_-+=:<>?/]

最低1文字最長50文字

パスワードに使う文字の制限は[項番⑤:パスワード制限(ランダム)]で設定できます。

パスワードの長さは[項番⑥:パスワードの長さ(ランダム)]で設定できます。

手動

手動でパスワードを設定します。

使用可能文字列: [0-9][a-z,A-Z][~!@#\$%^&*()-_+={[}]|:;';<>.,?/]

最低1文字最長50文字

パスワードに使う文字の制限は[項番⑤:パスワード制限(手動)]で設定できます。

パスワードの最短の長さは[項番⑥:パスワードの最短の長さ(手動)]で設定できます。



注意

ランダム・手動共に「" (Double Quotation)」と「¥ (Back Slash)」は使用できません。

②

【パスワード通知ポリシー(自分)】

付与されたパスワードを自分(送信者)宛へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 自分(送信者)に通知します。

通知しない 自分(送信者)に通知をしません。

③	<p>【パスワード通知ポリシー（宛先）】</p> <p>付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。</p> <p>通知する 宛先に通知します。 メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。</p> <p>通知しない 通知をしません。</p>
④	<p>【パスワード通知文言の追加ポリシー】</p> <p>ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの設定を行います。「パスワード通知ポリシー(宛先)」が「通知する」を選択されている場合にのみ利用可能となります。</p> <p>追加する 元メールの先頭に追記します。 追加しない 元メールへの追記をしません。</p>
⑤	<p>【パスワード制限（手動）】</p> <p>手動パスワードにおけるパスワードに使用する文字の種類を制限します。</p> <p>英小文字を必ず含む 英小文字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 英大文字を必ず含む 英大文字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 数字を必ず含む 数字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 記号を必ず含む 記号を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。</p>
⑥	<p>【パスワードの最短の長さ（手動）】</p> <p>手動パスワードにおけるパスワードの長さを制限します。</p>
⑦	<p>【パスワード使用可能文字（手動）】</p> <p>手動パスワードにおける使用可能な文字を制限します。</p>
⑧	<p>【パスワード制限（ランダム）】</p> <p>ランダムパスワードにおける使用する文字の種類を制限します。</p> <p>英小文字を必ず含む 英小文字を必ず含ませて生成します。 英大文字を必ず含む 英大文字を必ず含ませて生成します。 数字を必ず含む 数字を必ず含ませて生成します。 記号を必ず含む 記号を必ず含ませて生成します。</p>
⑨	<p>【パスワードの長さ（ランダム）】</p> <p>ランダムパスワードにおけるパスワードの長さを制限します。</p>
⑩	<p>【パスワード使用可能文字（ランダム）】</p> <p>ランダムパスワードにおける使用する文字の種類を制限します。</p>

3.7.5 ヘッド変換ポリシー

送信メールのヘッド部分を自動で変換する為の設定を行います。

▶ ヘッド変換ポリシー	
Bcc変換ポリシー	<input type="radio"/> 変換する <input checked="" type="radio"/> 変換しない ① To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、どのアドレスを変換するかも設定できます。 ②
Bcc変換詳細設定	<input checked="" type="radio"/> ToにFromアドレスを使う <input type="radio"/> Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う <input type="radio"/> Toに [] を使う Bcc変換後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定します。なお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。
Dateヘッダ変更ポリシー	<input checked="" type="radio"/> 変更する <input type="radio"/> 変更しない ③ <input checked="" type="checkbox"/> 保留されたメールを変更する <input type="checkbox"/> [] 時間経過したメールを変更する 保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。
Receivedヘッダ削除ポリシー	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない ④ Receivedヘッダを全て削除するかどうかを設定できます。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合があります。ご注意ください。
Cc/Bcc自動追加	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない ⑤ 設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

①	【Bcc変換ポリシー】 設定条件により、宛先をBccに変換して送信する為の機能です。 変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。 外部宛先をBcc変換する 宛先が外部 (Active!gate SSに未登録のドメイン) の場合、変換します。 内部宛先をBcc変換する 宛先が内部 (Active!gate SSに登録されたドメイン) の場合、変換します。 変換しない Bcc変換を行いません。
②	【Bcc変換詳細設定】 Bcc変換を行ったメールのToアドレスを条件により指定します。 ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。 Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。 Toに入力値 [] を使う Toに指定したものを使用します。
③	【Dateヘッダ変更ポリシー】 Active!gate SSを経由するメールヘッダのDate (時刻) を変更する為の機能です。 変更する 変更します。 <input checked="" type="checkbox"/> 保留されたメールを変更する 保留メールのみを対象とします。 <input checked="" type="checkbox"/> [] 時間経過したメールを変更する 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象とします。 変更しない 変更しません。
④	【Receivedヘッダ削除ポリシー】 Active!gate SSを経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合、使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合があります。ご注意ください。 する Receivedヘッダを削除します。 しない Receivedヘッダを削除しません。

⑤

【Cc/Bcc自動追加】

CcやBccに自動でメールアドレスを追加して送信します。

CcやBccに自動追加するアドレスと同一のアドレスが元メールに存在する場合、重複して宛先に追加されることはありません。「追加する件名」や「追加する本文」は、自動追加に設定されている全アドレスに対して追加されます。

する

Ccに追加するメールアドレス

Ccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

Ccに追加する件名

「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。

Ccに追加する本文

「Ccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

Bccに追加するメールアドレス

Bccにメールアドレスを追加して送信します。メールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

Bccに追加する件名

「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。

Bccに追加する本文

「Bccに追加するメールアドレス」宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

しない メールアドレスは追加しません。

3.7.6 本文変換ポリシー

送信メールの本文に自動で文言を設定する為の設定を行います。

①	<p>【ウイルススキャン定型文】</p> <p>ウイルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。アンチウイルスオプション使用時のみの動作となります。</p> <p>挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。</p> <p>挿入しない 挿入しません。</p>
②	<p>【ウイルススキャン定型文の内容】</p> <p>ウイルススキャン定型文の内容を設定します。標準 / 英語から選択します。元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。 最大入力文字数は1024文字までとなっています。</p>
③	<p>【自由定型文】</p> <p>自由定型文を挿入します。</p> <p>挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。</p> <p>挿入しない 挿入しません。</p>
④	<p>【自由定型文の内容】</p> <p>自由定型文の内容を設定します。標準 / 英語から選択します。元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p> <p>本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。 最大入力文字数は1024文字までとなっています。</p>

⚠ 注意

自由定型文 / ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。

3.7.7 通知メールポリシー

送信者（ユーザ）、受信者（各宛先）に配送される通知メールのデフォルトを設定します。

通知メールポリシー	
受信者向け通知メールの種類	標準（日本語） <small>配送先に通知する通知メールのデフォルトの種類を設定します。</small>
変換失敗時の通知文	標準（英語） <small>本文の文頭に追加する通知文について元メールの文字コードに変換できなかった場合に使用する通知メールを設定します。US-ASCIIの範囲内で構成されている通知メールを選択してください。</small>
送信者向け通知メールの言語	日本語:日本語[ja] <small>送信者に通知する通知メールのデフォルトの言語を設定します。</small>

①

【受信者向け通知メールの種類】

受信者（各宛先）に配送する通知メールのデフォルトの種類を設定します。

「受信者向け種別管理」にて追加した言語が表示されます。
 詳細は、前述 62ページ：「受信者向け種別管理」を参照して下さい。

②

【変換失敗時の通知文】

本文の文頭に追加する通知文について元メールの文字コードに変換できなかった場合に使用する通知メールを設定します。

US-ASCIIの範囲内で構成されている通知メールを選択して下さい。

③

【送信者向け通知メールの言語】

送信者（ユーザ）に配送する通知メールのデフォルトの言語を設定します。

「送信者向け言語管理」にて追加した言語が表示されます。
 詳細は、前述 61ページ：「送信者向け言語管理」を参照して下さい。



注意

送信者（ユーザ）がパーソナルコントローラ上から「受信通知メール設定」の変更を行った場合は、そちらの設定が優先されます。詳細は、別紙「パーソナルコントローラマニュアル-プロパティ」を参照して下さい。



メモ

設定された通知メールの言語や種類は、その設定に合わせ定型文が変更されます。定型文は各言語に合わせ自由にカスタマイズする事が可能です。

詳細は、前述 15ページ：「通知メール設定 - 送信者向け通知メール管理」、または、54ページ：「通知メール設定 - 受信者向け通知メール管理」を参照して下さい。

3.7.8 通知メールタイムゾーン

送信者（ユーザ）、受信者（各宛先）に配送される通知メールのデフォルトの通知メールのタイムゾーンを設定します。

通知メールタイムゾーン

標準のタイムゾーン

元メールのタイムゾーン 使用する 使用しない

Active! gateで作成される通知メールの標準のタイムゾーンを設定します。各通知メールのDATEヘッダと本文に記載される時刻が対象となります。

「使用する」とした場合、Active! gateで作成される送信者向けの通知メールは「元メールのタイムゾーン」が使用されます。ただし元メールからタイムゾーンが特定できない場合や、承認者宛（代理者、不在代理者含む）の通知メールは「標準のタイムゾーン」が使用されます。

- 1 【標準のタイムゾーン】
Active!gate SSで作成される通知メールの標準のタイムゾーンを設定します。各通知メールのDATEヘッダと本文に記載される時刻が対象となります。
- 2 【元メールのタイムゾーン】
「使用する」とした場合、Active!gate SSで作成される送信者向けの通知メールは「元メールのタイムゾーン」が使用されます。ただし元メールからタイムゾーンが特定できない場合や、承認者宛（代理者、不在代理者含む）の通知メールは「標準のタイムゾーン」が使用されます。

3.7.9 その他

その他

ファイル名のない添付ファイル 条件や変換の候補とする 条件や変換の候補としない

text/plain, text/html以外のパートで添付ファイル名の指定のないパートについて、条件や変換の対象として扱うか扱わないかを設定できます。
「条件や変換の候補とする」場合で添付ファイル暗号化やwebダウンロードを行う場合には自動的に「AGATT00001.xls」のようなファイル名が付けられます。

画面の基本言語

ログイン時に「自動」を選択した場合、システムにブラウザの要求する言語が含まれていなかった場合に表示する言語を設定します。

OK

- 1 【ファイル名のない添付ファイル】
text/plain, text/html以外のパートで添付ファイルの指定のないパートについて、条件や変換の対象として扱うか扱わないかを設定できます。「条件や変換の候補とする」で添付ファイル暗号化やwebダウンロードが行われた際は自動的に「AGATT00001.xls」のようなファイル名が付けられます。
条件や変換の候補とする 条件や変換の候補とします。
条件や変換の候補としない 条件や変換の候補としません。
 - 2 【画面の基本言語】
ログイン時に「自動」を選択した場合、システムにブラウザの要求する言語が含まれていなかった場合に表示する言語を設定します。
 - 3 【OKボタン】
画面上の全ての変更した内容を確定させます。 反映とは異なります。
- メモ**

ヘッダにContent-DispositionやFilenameが記載されずに送信されたメール（例：メーラーの特性にもよりますが開封通知メールやバウンスされるメール等が挙げられます。）に対し、Active!gate SSにて各ポリシーの条件や対象とさせる場合、こちらの設定を操作する事で、可能となります。この設定は「添付ファイル対象ポリシー設定」より優先します。

3.8 条件設定

3.8.1 各ポリシー共通の条件設定

各ポリシー（承認ポリシー含む）画面の設定項目「条件設定」は、全て下記の通り共通しています。紙面の都合上以下に集約して記載致します。



メモ

「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、181ページ：「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定を参照して下さい。

【常に】

条件として常に適用します。

常に ※0

0：送信される全てのメールに対し常に適用します。

【宛先】

宛先を対象として条件を設定します。

宛先	<input type="checkbox"/> To <input type="checkbox"/> Cc <input type="checkbox"/> Bcc	<input type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> 自ドメイン宛 (口自分を除く) <input type="checkbox"/> 内部宛先 <input type="checkbox"/> 準内部宛先 <input type="checkbox"/> 外部宛先	----	【存在する】 【存在しない】 【のみが存在する】
		【キーワード】	【名前】※1 【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力 【を含むものがある】 【で始まるものがある】 【で終わるものがある】 【の正規表現に一致するものがある】
		【メールアドレス】	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力 【存在する】 【存在しない】 【のみが存在する】
		【グループ】	【登録グループから選択】※4	【数】※6 ドメインの数 【個以上】※32 【個未満】※29
		<input type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> 自ドメイン宛 (口自分を除く) <input type="checkbox"/> 内部宛先 <input type="checkbox"/> 準内部宛先 <input type="checkbox"/> 外部宛先	【送信履歴】※5 【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	【存在しない】
		【数】※6	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	メールアドレスの数 ドメインの数 【個以上】※32 【個未満】※29
		【内外の宛先が混在】※7	内部宛先の数 ※8	【個以上の内部宛先】※32
【DNSが引けない】※9				

1：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記される日本語等による名前の部分（" "で囲まれた文字列）

2：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）

3：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）の@マーク以降の部分。

4：事前に「ユーザ管理」の「グループ管理」にて選択するグループが登録されている必要があります。

5：Active! gate SSを使用して送信した事のある宛先。送信者が宛先に指定したメールアドレスと、ポリシーによってシステム側で追加されたCc/Bccの宛先が送信履歴に残ります。

6：宛先（アドレスまたはドメイン）の数。

7：宛先に内部（登録済みドメイン）と外部（未登録ドメイン）が混在している場合。

8：内部（登録済みドメイン）が含まれる数。

9：宛先がDNS（MXレコードまたはAレコード）を引けない場合。

29：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、一致する項目が0個の場合はポリシーが適用されません。

32：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、0は指定できません。1以上の整数を指定して下さい。

【From】

Fromを対象として条件を設定します。

From	【キーワード】	【名前】※1 【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力	【を含む】 【で始まる】 【で終わる】 【含まない】 【の正規表現に一致する】
	【グループ】	【登録グループから選択】※4		【に含まれる】 【に含まれない】

- 1：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記される日本語等による名前の部分（" "で囲まれた文字列）
- 2：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）
- 3：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）の@マーク以降の部分。
- 4：事前に「ユーザ管理」の「グループ管理」にて選択するグループが登録されている必要があります。

【件名】

件名を対象として条件を設定します。

件名	【キーワード】	キーワードを入力	【で始まる】	<input type="checkbox"/> 配送時にキーワード削除※30	
			【を含む】 【で終わる】 【含まない】 【の正規表現に一致する】		
		【URLが存在する】※10			
		【接続できないURLが存在する】※11			
		【電話番号】※12	個数を入力		【個以上】※32
		【住所】※13			
		【クレジットカード番号】※14			
	【マイナンバー】※28				
	【件名なし】				

10：http(s)://で始まる文字列を検出。

11：http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。

12：Active! gate SSが持つ電話番号データベースに該当する文字列（電話番号）の件数を検出します。

13：Active! gate SSが持つ住所データベースに該当する文字列（住所）の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所（市区町村名+町域名）を対象とします。

14：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

28：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

30：この機能は各ポリシーの「保留」「添付ファイル暗号化」「webダウンロード」「ヘッダ変換」「本文変換」のみ使用できます。条件に一致した場合、すべての宛先に配送されるメールの件名からキーワードを削除して配送します。

32：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、0は指定できません。1以上の整数を指定してください。



メモ

12【電話番号】の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

13 実際には存在しない住所でも、Active! gate SSの住所データベースに含まれる文字列がある場合は住所として判定されます。

（例：北海道中央区日本橋）

30 キーワード削除の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

【ヘッダ】

メールのヘッダを対象として条件を設定します。

左入力欄に「Content-Type」や「MIME-Version」等のヘッダ名を入力し、右入力欄にその内容を入力します。

ヘッダ	キーワードを入力(ヘッダ名) ※26	に	キーワードを入力(内容) ※27	<input type="checkbox"/> 【を含むものがある】 <input type="checkbox"/> 【を含むものがない】 <input type="checkbox"/> 【で始まるものがある】 <input type="checkbox"/> 【で終わるものがある】 <input type="checkbox"/> 【の正規表現に一致するものがある】 <input type="checkbox"/> 【存在する】 <input type="checkbox"/> 【存在しない】
-----	--------------------	---	------------------	---

26：ヘッダ名は大文字小文字区別しません。

27：内容は、元のヘッダそのままではなく、MIMEデコードした結果に対して適用されます。

【本文】

本文を対象として条件を設定します。

【キーワード】	キーワードを入力					<input type="checkbox"/> 【を含む】 <input type="checkbox"/> 【含まない】 <input type="checkbox"/> 【の正規表現を含む】※24
【メールアドレス】	<input type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> 自ドメイン宛 (口自分を除く) <input type="checkbox"/> 内部宛先 <input type="checkbox"/> 準内部宛先 <input type="checkbox"/> 外部宛先	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力	【数】※6	メールアドレスの数 ドメインの数	<input type="checkbox"/> 【備以上】※32 <input type="checkbox"/> 【備未満】※29
【宛名に敬称が存在しない】※23						
【URLが存在する】※10						
【接続できないURLが存在する】※11						
【電話番号】※12						
【住所】※13						
【クレジットカード番号】※14	値数を入力					【備以上】※32
【マイナンバー】※28						
【名字】※31						
【本文なし】						

2：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）

3：一般的にMUA（メールソフト）で宛先に記されるメールアドレスの部分（<>で囲まれた文字列）の@マーク以降の部分。

6：宛先（アドレスまたはドメイン）の数。

10：http(s)://で始まる文字列を検出。

11：http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。

12：Active! gate SSが持つ電話番号データベースに該当する文字列（電話番号）の件数を検出します。

13：Active! gate SSが持つ住所データベースに該当する文字列（住所）の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所（市区町村名+町域名）を対象とします。

14：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

23：敬称（様、さん、殿、御中、各位、先生）等が名前の直後に付けられているかチェックします。

名前の判断は敬称の直後に、「空白」「改行」「:」「:」「,」「,」「,」「,」「.」が存在するかで判断します。

24：本文での正規表現での検索は部分一致となります。

28：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

29：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、一致する項目が0個の場合はポリシーが適用されません。

31：Active! gate SSが持つ名字データベースに該当する文字列の件数を検出します。ユーザポリシーでは使用できません。

32：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、0は指定できません。1以上の整数を指定してください。



メモ

12【電話番号】の判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

13 実際には存在しない住所でも、Active!gate SSの住所データベースに含まれる文字列がある場合は住所として判定されます。

（例：北海道中央区日本橋）

31【名字】の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

【添付ファイル】

添付ファイルを対象として条件を設定します。

添付ファイル	【キーワード】※20	添付ファイル内のキーワードを入力	【含むものがある】 【の正規表現に一致するものがある】
	【ファイル名】	添付ファイル内のキーワードを入力	【含むものがある】 【を含まないものがある】 【で始まるものがある】 【で終わるものがある】
	【URLが存在する】※10		
	【接続できないURLが存在する】※11		
	【電話番号】※12	個数を入力	【個以上】※32
	【住所】※13		
	【クレジットカード番号】※14		
	【マイナンバー】※28		
	【名字】※31		
	【添付ファイル忘れ】※15		
	【数】※16	添付ファイルの数を入力	【個以上】※32
	【サイズ】※17	添付ファイルのサイズを入力	【KBより大きい】 【MBより大きい】 【KB以下】 【MB以下】
	【拡張子】※18	添付ファイルの拡張子を入力	【存在する】 【存在しない】
【暗号化】※19		【されているものがある】 【されていないものがある】	

10：http(s)://で始まる文字列を検出。

11：http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。

12：Active! gate SSが持つ電話番号データベースに該当する文字列（電話番号）の件数を検出します。

13：Active! gate SSが持つ住所データベースに該当する文字列（住所）の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所（市区町村名+町域名）を対象とします。

14：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

28：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

31：Active! gate SSが持つ名字データベースに該当する文字列の件数を検出します。ユーザポリシーでは使用できません。

15：本文中に[添付]の文字列が含まれた場合に添付ファイルがあるかないか確認します。

16：添付されたファイルの合計数。

17：添付ファイルのサイズ（メールシステム全般に言える事ですが、windows等で表示される添付ファイルのサイズから1.4倍程度増えて認識します）

18：添付ファイルの拡張子を対象とします。

19：添付ファイルの暗号化を対象とします。

20：添付ファイルのキーワード（添付ファイル内の「テキスト要素」）を対象とします。

32：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、0は指定できません。1以上の整数を指定してください。



メモ

12【電話番号】の判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

13 実際には存在しない住所でも、Active! gate SSの住所データベースに含まれる文字列がある場合は住所として判定されます。

（例：北海道中央区日本橋）

31【名字】の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

19【添付ファイルの暗号化】の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

20【添付ファイルキーワード】の判定基準については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

【日付：時間】

メールの送信日時を対象として条件を設定します。

日付・時間	【期間・時間帯】	日付や時刻を入力 ※21	【から】 【まで】※22
-------	----------	--------------	-----------------

21：時間を入力します。例) 9:00

22：“から”で設定のあと“+”アイコンで“まで”を設定します。

設定した管理者のタイムゾーンでポリシーが適用されます。



注意

「まで」を日付のみで指定した場合、表示上は翌日の 00:00 になります。ご注意ください。

[例]

ポリシー条件で以下を登録

「2015/06/19」から「2015/06/19」まで

一覧などの表示では「2015/06/19 00:00」から「2015/06/20 00:00」になります。

【件名・本文・添付ファイル】

件名・本文・添付ファイルをまとめて対象として条件を設定します。

件名・本文・添付ファイル	【キーワード】	キーワードを入力	【含むものがある】 【の正規表現に一致するものがある】
	【URLが存在する】※10		
	【接続できないURLが存在する】※11		
	【電話番号】※12	個数を入力	【個以上】※32
	【住所】※13		
	【クレジットカード番号】※14		
【マイナンバー】※28			

10：http(s)://で始まる文字列を検出。

11：http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。

12：Active! gate SSが持つ電話番号データベースに該当する文字列（電話番号）の件数を検出します。

13：Active! gate SSが持つ住所データベースに該当する文字列（住所）の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所（市区町村名+町域名）を対象とします。

14：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

28：区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。

32：条件に一致する項目が存在することが前提となるため、0は指定できません。1以上の整数を指定してください。



メモ

12【電話番号】の判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項については、279ページ：「条件設定の補足」を御参照ください。

13 実際には存在しない住所でも、Active!gate SSの住所データベースに含まれる文字列がある場合は住所として判定されます。

（例：北海道中央区日本橋）

【スコア】

スコアを対象として条件を設定します。 **管理者ポリシー（強制）のみで使用できます。**

スコア	スコア値 ※25	【以上】 【未満】
-----	----------	--------------

25：スコア値を入力します。

3.8.2 「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定

「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、「添付ファイル対象」ポリシー独自の条件設定になっています。詳細は、前述 137ページ：「添付ファイル対象」を参照して下さい。

【添付ファイル対象】

添付ファイルの条件を設定します。

ファイル名	添付ファイル名のキーワードを入力	<input type="checkbox"/> 【を含む】 <input type="checkbox"/> 【で始まる】 <input type="checkbox"/> 【で終わる】
-------	------------------	--

【添付ファイル名】で条件を設定します。(例：ファイル名に**お見積書**を含む)

拡張子	添付ファイル名の拡張子を入力	<input type="checkbox"/> 【と一致する】 <input type="checkbox"/> 【と一致しない】
-----	----------------	---

【添付ファイルの拡張子】で条件を設定します。(例：拡張子が**pdf**と一致する)

サイズ	添付ファイルのサイズを入力	<input type="checkbox"/> 【KBより大きい】 <input type="checkbox"/> 【MBより大きい】 <input type="checkbox"/> 【KB以下】 <input type="checkbox"/> 【MB以下】
-----	---------------	--

【添付ファイルのサイズ(1つずつ)】で条件を設定します。(例：ファイルのサイズが**5MB**より大きい)

暗号化		<input type="checkbox"/> 【されている】 <input type="checkbox"/> 【されていない】
-----	--	---

【暗号化された、又は、暗号化されていない添付ファイル】を条件として設定します。



メモ

【添付ファイルの暗号化】について

【添付ファイルの暗号化】につきまして、対応済みフォーマットや制限事項について、279ページ：「条件設定の補足」を参照して下さい。

ヘッダ	ヘッダ名	に	内容	【を含む】 【を含まない】
-----	------	---	----	------------------

【メールのヘッダ（添付ファイルパートのヘッダ情報）】で条件を設定します。

親のヘッダ	親のヘッダ名	に	内容	【を含む】 【を含まない】
-------	--------	---	----	------------------

【メールの親のヘッダ（添付ファイルパートの外側のヘッダ情報）】で条件を設定します。

ヘッダ名は例として下記の情報があります。

ヘッダ	意味
Content-Type	文書タイプと文字コードセット
Content-Description	文書説明
Content-Disposition	文書表示形式（inline / attachment）
Content-ID	文書識別子
Content-Transfer-Encoding	文書エンコード法



メモ

【ヘッダ名の内容について】

ヘッダの「内容」は、途中でスラッシュ (/) で区切り、MIMEタイプとMIMEサブタイプで設定する事が可能です。MIMEタイプのみの場合、設定されたMIMEタイプ以降を対象とする事が可能です。

（例：ヘッダに **Content-Type:application/** を含む場合）

上記設定の場合、application/ に該当する全てのMIMEサブタイプが対象となります。

3.9 ポリシーチェーン管理

システム管理者画面【ポリシー設定】>【ポリシーチェーン管理】

各権限等の設定ポリシーの集合体をチェーンと呼び、このチェーン内の各ポリシーには、優先順位が付けられます。優先順位は、限られた範囲内で任意に設定が可能です。優先度は、「システムポリシー」と「ユーザポリシー」の間で「管理者ポリシー」と「ポリシーグループ」で設定する事が可能です。

優先度	ポリシーチェーン名
1	システムポリシー(強制)
2	管理者ポリシー(強制)
3	ag99.example.jpグループポリシー(強制) ※「ドメイン設定」後に自動登録されたドメイングループ
4	POL-Grp1ポリシー(強制) ※「ポリシーグループ管理」画面で登録したグループ
5	ユーザポリシー
6	POL-Grp1ポリシー(標準) ※「ポリシーグループ管理」画面で登録したグループ
7	ag99.example.jpグループポリシー(標準) ※「ドメイン設定」後に自動登録されたドメイングループ
8	管理者ポリシー(標準)
9	システムポリシー(標準)



メモ

ポリシーチェーン管理

一覧から分かる通り各ポリシーチェーンに優先度が設けられています。ユーザの視点（ユーザポリシー）から見るとユーザポリシーより上位のポリシーは強制的に適用します。ユーザポリシーより下位のポリシーは例外ポリシーや上位のポリシーで適用しない条件の場合、またはユーザポリシー自体を設定していない場合に適用されるポリシーです。

管理者として、強制的に適用させたいポリシーがある場合、ユーザポリシーより上位のポリシーに設定します。ユーザがポリシーを使用しない場合で、強制的ではなく推奨したいポリシーがある場合、ユーザポリシーより下位のポリシーを設定します。この場合ユーザポリシーの方が上位です。ユーザのポリシーを適用し、下位のポリシーを適用しない場合もあります。

【強制ポリシー】

強制的に適用されるポリシーです。

- 優先度1 システムポリシー（強制）：システム全体に強制的に適用される最優先ポリシー
- 優先度2 管理者ポリシー（強制）：システム全体に強制的に適用される優先度の高いポリシー
- 優先度3 ag99.example.jpグループポリシー：「ドメイン設定」時に自動で登録されたグループ
- 優先度4 POL-Grp1ポリシー：「ポリシーグループ管理」で登録したポリシーグループ

【ユーザのみのポリシー】

設定したユーザにのみ適用されるポリシー

- 優先度5 ユーザポリシー

【標準ポリシー】

ユーザポリシーを適用しない場合やユーザポリシーを設定していない場合に適用されるポリシー

- 優先度6 POL-Grp1デフォルトポリシー
- 優先度7 ag99.example.jpグループポリシー
- 優先度8 管理者ポリシー（標準）
- 優先度9 システムデフォルトポリシー

【アイコン】

ポリシーチェーンの優先度を変更します。「管理者ポリシー（強制）」と「ポリシーグループ」のみ「システムポリシー（強制）」～「ユーザポリシー」までの間変更する事が可能です。

4 ユーザ管理

システム管理者画面【ユーザ管理】

ユーザ管理メニューでは主に **Active!gate SS**をご利用されるドメイン及びユーザやグループの設定・管理を行います。

4.1 シングルサインオン

シングルサインオンの設定を行います。**Active!gate SS**のシングルサインオンでのSAMLは 標準規格 SAML2.0 に準拠しています。cloudstepや、Gluegent Gate (グルージェントゲート) やCloud Gate、他多数のサービスとの連携が可能です。

尚、SSO連携時 **Active!gate SS**はサービスプロバイダ (以下、sp) 側となります。連携の際にご利用されるソフトウェア、及びサービスがアイデンティティプロバイダー (以下、IdP) 側である事をお確かめの上ご利用下さい。



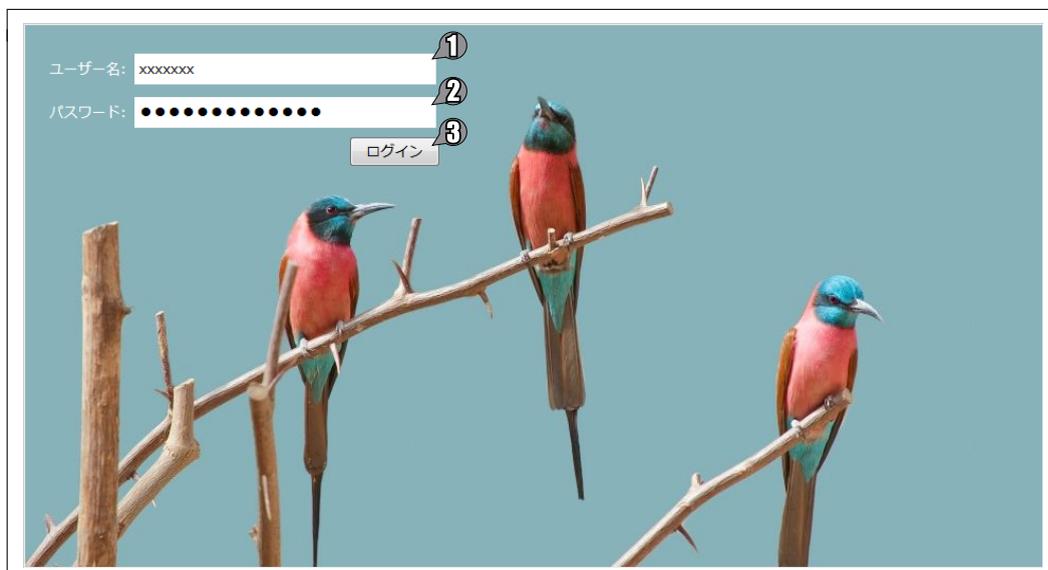
メモ

シングルサインオンとは
ユーザが個別に認証情報を管理、複数保有していると「コンピュータのログインの際」、「業務ソフトウェアのログインの際」、「メールアドレスにログインの際」...と、何度も認証作業が必要になります。これでは利用者の負担が大きくなる事、一元管理できない複雑なセキュリティとなり、好ましくない事態を誘発します。シングルサインオンとは、一度の利用者認証で複数のコンピュータやソフトウェア、サービスなどを利用できるようにする仕組みです。

以下から各IdPのソフトウェアまたはサービスに沿った連携方法を記述致します。お客様の状況に合わせてご利用下さい。また、それ以外での連携をご利用される場合は、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

4.1.1 cloudstep の場合

cloudstep の管理者画面にログインします。



①	【ユーザID】 お客様のご利用されるユーザIDを入力します。
②	【パスワード】 お客様のご利用されるパスワードを入力します。
③	【「ログイン」ボタン】 ユーザID、パスワードを入力後、ログインします。

ログイン後、サービスプロバイダの設定情報の確認を行います。

cloudstep Management Console \$admin | ログアウト

ダッシュボード システム設定

システム設定 ¹

ユーザー管理

グループ管理

連絡先管理

組織管理

ロール管理

セキュリティポリシー管理

デバイス管理

アクセス履歴

システムログ

Google™ Apps [接続設定](#) | [Google Apps 管理コントロールパネル](#) | [Gmail](#)

Active!gateSS [接続設定](#) ²

接続設定: ディレクトリシステムへの接続情報を登録します。
 » [Active Directory 接続](#)

アカウント連携設定: 登録した接続情報を使用して、アカウント連携の設定を行います。
 » [アカウント連携設定](#)

詳細設定: その他のシステム設定を行います。
 » [詳細設定](#)

権限管理: ユーザー単位に設定する権限の管理を行います。
 » [権限管理](#)

一括アップロード: CSV ファイルをアップロードし、複数のユーザー、グループ、連絡先と組織情報をまとめて作成、更新、削除します。
 » [一括アップロード](#)

Copyright © 2012-2015 Systema Corporation, All Rights Reserved.

① 【「システム設定」メニュー】

ログイン後、左メニューより「システム設定」をクリックします。右画面が各サービスプロバイダが並ぶ画面に遷移します。

② 【「接続設定」リンク】

すでにcloudstepにてActive!gate SSを登録済みであれば図のようにActive!gate SSが存在しています。Active!gate SSの右側にある「接続設定」リンクをクリックします。

Active!gate SS接続設定画面へ遷移します。お客様IDを入力します。

cloudstep Management Console xxxxxx | ログアウト

ダッシュボード **Active!gate SS 接続**

システム設定

ユーザー管理

グループ管理

連絡先管理

組織管理

ロール管理

セキュリティポリシー管理

デバイス管理

アクセス履歴

システムログ

お客様 ID: abc12345

お客様 ID は、Active!gate SS のサービス開通確認書で確認できます

保存 戻る

Copyright © 2012-2015 Systema Corporation. All Rights Reserved.

- | | |
|----------|--|
| ① | 【「お客様 ID」の入力】
お客様 ID は、Active!gate SSのサービス開通確認書で確認できます。またはお客様がご利用するActive!gate SSのURLの8ケタの固有の英数字になります。 |
| ② | 【「保存」ボタン】
お客様IDを入力後「保存」ボタンを押して確定させます。 |
| ③ | 【「戻る」ボタン】
前画面へ遷移します。 |

保存後、下の画面にActive!gate SSに必要な情報、設定ファイルが追加されます。

cloudstep Management Console

ダッシュボード | ログアウト

Active!gate SS 接続

システム設定

ユーザー管理

グループ管理

連絡先管理

組織管理

ロール管理

セキュリティポリシー管理

デバイス管理

アクセス履歴

システムログ

お客様 ID: xxxxxxxx

お客様 ID は、Active!gate SS のサービス開通確認書で確認できます

保存 戻る

シングルサインオン設定: Active!gate SS へのシングルサインオンを構成するには、[システム管理者画面](#) にアクセスし、[ユーザー管理]-[シングルサインオン] 画面で以下の設定を行います。

対象ドメイン: シングルサインオンを行うドメインを選択 **1**

サービスプロバイダとして使用 **2**
使用する を選択

IdP のテンプレート: cloudstep を選択 **3**

IdP のログインページ URL: <https://cloudstep.jp/a/xxxxxxx.activegate-ss.jp/login> **4**

IdP のログアウトページ URL: <https://cloudstep.jp/a/xxxxxxx.activegate-ss.jp/logout> **5**

IdP の証明書
公開鍵を含む証明書ファイルをダウンロードし、アップロードします: [ダウンロード](#) **6**

Copyright © 2012-2015 Systema Corporation, All Rights Reserved.

1	【対象ドメイン】 Active!gate SSのシングルサインオン設定画面にて選択します。
2	【サービスプロバイダとして使用】 シングルサインオン設定画面にて「使用する」を選択します。
3	【IdP のテンプレート】 シングルサインオン設定画面にて「cloudstep」を選択します。
4	【「IdP のログインページ URL」】 Active!gate SSのシングルサインオン設定画面にて必要になります。
5	【「IdP のログアウトページ URL」】 Active!gate SSのシングルサインオン設定画面にて必要になります。
6	【「IdP の証明書」のダウンロード】 ダウンロードボタンを押し「IdP の証明書」を保存します。
7	【Active!gate SS 管理者画面へのリンク】 システム管理者画面 を押下するとActive!gate SS管理者画面にアクセスできます。必要な情報、設定ファイルを用意の上、Active!gate SSへログインして下さい。

以上で cloudstep 側の設定等は終了となります。次ページでは Active!gate SS 側での設定をご説明致します。

Active!gate SS側でのシングルサインを設定します。左メニューのユーザ管理よりシングルサインオンを開きます。

①	【対象ドメイン】 シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。
②	【サービスプロバイダとして使用】 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。 使用する 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。 使用しない 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。
③	【IdPのテンプレート】 「cloudstep」を選択して下さい。選択後、画面が「cloudstep」用の設定項目に変わります。
④	【IdPのログインページURL】 サインオンのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。
⑤	【IdPのログアウトページURL】 サインアウトのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。未登録の場合Active!gate SSからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。ご注意ください。
⑥	【IdPの証明書】 IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。すでに先ほどActive!gate SS側に設定する「IDプロバイダの証明書」のダウンロードを行っているので、そのファイルをアップロードして下さい。
⑦	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

以上で設定は終了です。

4.1.2 Gluegent Gateの場合

Gluegent Gate の管理者画面にログインします。

①	【ユーザID】 お客様のご利用されるユーザIDを入力します。
②	【パスワード】 お客様のご利用されるパスワードを入力します。
③	【「ログイン」ボタン】 ユーザID、パスワードを入力後、ログインします。

ログイン後、サービスプロバイダの設定を行います。

①	【「シングルサインオン」タブ】 ログイン後、上部「シングルサインオン」タブをクリックします。
②	【「SAMLサービスプロバイダ」メニュー】 左メニューより「SAMLサービスプロバイダ」をクリックします。
③	【「サービスプロバイダ登録」】 SAMLサービスプロバイダ画面が開きますので、「サービスプロバイダ登録」をクリックします。

以下の設定を行います。

The screenshot shows the 'SAML サービスプロバイダ登録' (SAML Service Provider Registration) form. The form fields and their values are as follows:

- サービスID***: XXXXXXXX
- サービス名 ***: Active! gate
- エンティティID ***: XX
- Assertion Consumer Service***: https://xxxxxxxx.activegate-ss.jp/sso/saml_acs.igm
- ログアウトURL**: (Empty)
- IDの形式**: urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress
- IDの属性**: メールアドレス
- 送信する属性**:
 - メールアドレス (属性名: mail)
 - 社員番号 (属性名: employeeNumber)
 - 氏名 (属性名: cn)
 - 組織 (属性名: ou)
 - 地域 (属性名: seciossLocaleCode)
 - 言語 (属性名: preferredLanguage)
 - ユーザグループ (属性名: seciossUserGroup)
 - セキュリティグループ (属性名: seciossSecurityGroup)
- サービスプロバイダへのパスワード送信**: なし
- パスワード暗号化用公開鍵**: 参照... (ファイルが選択されていません。)
- メタデータ**: 参照... (ファイルが選択されていません。読み込む)

At the bottom of the form is a '保存' (Save) button.

①	【サービスID*】 お客様のご利用されるサービスIDを入力します。
②	【サービス名*】 「Active! gate」と入力します。(後述の「ユーザ登録」の際、「許可するサービス」にて使用されます。)
③	【エンティティID*】 Active!gate SS側のエンティティIDとなります。
④	【Assertion Consumer Service*】 https://[お客様ID].activegate-ss.jp/sso/saml_acs.igm
⑤	【IDの形式】 プルダウンから「urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress」を選択します。
⑥	【IDの属性】 プルダウンから「メールアドレス」を選択します。
⑦	【送信する属性】 「メールアドレス」にチェックを入れます
⑧	【サービスプロバイダへのパスワード送信】 プルダウンから「なし」を選択します。
⑨	【保存ボタン】 全ての選択が終わりましたら、「保存」ボタンを押して内容を確定して下さい。

続いてActive!gate SSOをシングルサインオンさせるユーザの登録を行います。ユーザ情報の設定部分は割愛し、SSO連携に必要な部分だけ以下ご説明致します。

The screenshot shows the 'ユーザ登録' (User Registration) page. At the top, there is a navigation bar with icons for 'ユーザ', 'ユーザグループ', 'セキュリティグループ', 'シングルサインオン', '認証', 'アクセス権限', 'システム', and 'ログ'. Below this is a search sidebar on the left and a main form area on the right. The form is titled 'ユーザ情報' (User Information) and contains various input fields. Numbered callouts are placed on the interface: 1 points to the 'ユーザ' tab, 2 points to the '新規登録' button, 3 points to the 'Active!gate' checkbox in the '許可するサービス' section, and 4 points to the '登録' button at the bottom of the form.

①	【「ユーザ」タブ】 上部「ユーザ」タブをクリックします。
②	【「新規登録」】 「ユーザー一覧」画面が開きますので、「新規登録」をクリックします。ユーザID、メールアドレス等、必要な情報を設定して下さい。
③	【許可するサービス】 先ほど「サービスプロバイダ登録」にて設定した「サービス名=Active!gate」がチェックボックスで出力されていますのでにチェックを入れます。
④	【登録ボタン】 ユーザの登録を行います。

続いてActive!gate SS側に設定する「IDP証明書」のダウンロードを行います。

ログイン名: [ユーザー名] [ログアウト] | マニュアル

ユーザー ユーザーグループ セキュリティグループ シングルサインオン 認証 アクセス権限 システム ログ

システム管理

- ▶ パスワードポリシー設定
- ▶ メールテンプレート設定
- ▶ IdP証明書
- ▶ 端末
- ▶ テナント情報
- ▶ 画面設定

IdP証明書

新規登録 IdP証明書一覧

選択	状態	削除	証明書ID	説明	発行者	鍵長	有効期限	ダウンロード
<input checked="" type="radio"/>	使用中	<input type="button" value="✕"/>	[証明書ID]		[発行者]	2048	3015/04/12 20:27:57	<input type="button" value="ダウンロード"/>

保存

- ① 【「システム」タブ】
上部「システム」タブをクリックします。
- ② 【「IdP証明書一覧」メニュー】
左メニューより「IdP証明書一覧」をクリックします。
- ③ 【「ダウンロード」ボタン】
ダウンロードボタンを押し「IDP証明書」を保存します。

上記でGluegentGate側の設定等は終了となりますが「アクセス権限」にて「IP制限」や「クライアント制限」等をつける事も可能です。お客様のご利用する環境に合わせ設定を行って下さい。

①	【「アクセス権限」タブ】
	上部「アクセス権限」タブをクリックします。
②	【「新規登録」】
	「アクセス権限一覧」画面が開きますので、「新規登録」をクリックします。
③	【ID】
	任意のIDを入力します。
④	【アクセス先のサービス】
	Active! gateを選択します。
⑤	【要求される認証方式】
	「ID/パスワード認証」にチェックを入れます。
⑥	【クライアント端末】
	「Webブラウザ」にチェックを入れます。他項目については任意です。
⑦	【「登録」ボタン】
	設定を確定します

登録後、「許可するユーザ」や「許可するネットワーク」等の項目が出ますのでお客様のご利用に合わせて設定を行って下さい。次ページではActive!gate SS側での設定をご説明致します。

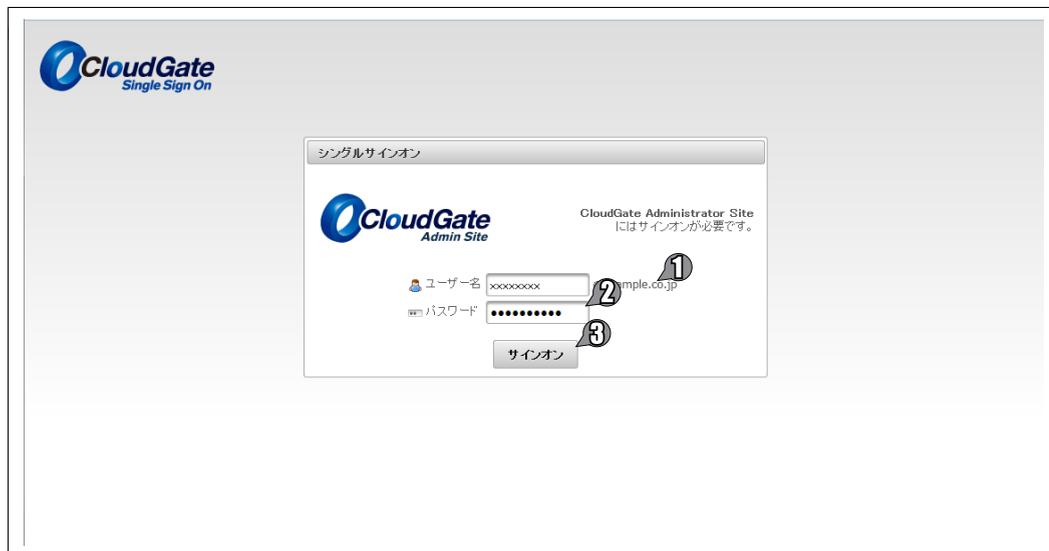
Active!gate SS側でのシングルサインを設定します。左メニューのユーザ管理よりシングルサインオンを開きます。

①	【対象ドメイン】 シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。
②	【サービスプロバイダとして使用】 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。 使用する 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。 使用しない 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。
③	【IdPのテンプレート】 「GluegentGate」を選択して下さい。選択後、画面が「GluegentGate」用の設定項目に変わります。
④	【IdPのログインページURL】 サインオンのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。
⑤	【IdPの証明書】 IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。すでに先ほどActive!gate SS側に設定する「IDP証明書」のダウンロードを行っていますので、そのファイルをアップロードして下さい。
⑥	【EntityID】 Active!gate SS側のentityIDです。IdPに事前に通知しておく必要があります。
⑦	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

以上で設定は終了です。

4.1.3 Cloud Gate の場合

Cloud Gate の管理者画面にログインします。



①	【ユーザー名】 お客様のご利用されるユーザー名を入力します。
②	【パスワード】 お客様のご利用されるパスワードを入力します。
③	【「サインオン」ボタン】 ユーザー名、パスワードを入力後、サインオン（ログイン）します。

ログイン後、下記のような管理画面に入ります。アイデンティティプロバイダーの設定情報の確認を行います。

The screenshot displays the CloudGate Admin Site dashboard for '株式会社クオリア SSO'. The interface includes a left-hand navigation menu and a main content area with two sections: '株式会社クオリア SSO' and '利用可能サービス'.

株式会社クオリア SSO

- ヘルプ
- 総ユーザーライセンス数
- 総ユーザー数
- 停止されたユーザー数
- ロックされたユーザー数
- パスワード有効期限切れユーザー数
- 総サービスライセンス数
- 総サービス数
- スマートフォンアプリ総ライセンス数
- スマートフォンアプリ総ユーザー数

利用可能サービス

- ヘルプ
- CloudGate Administrator Site
 - アカウント数
- CloudGate Address Book
 - アカウント数
 - 社外連絡先総ライセンス数
 - 登録済み社外連絡先総数
- Google Apps
 - アカウント数
- activegate
 - アカウント数

①

【「アイデンティティプロバイダー」メニュー】

ログイン後、上記の様な「ダッシュボード」画面に入ります。左メニューより「SSO設定 - アイデンティティプロバイダー」をクリックします。右画面がアイデンティティプロバイダーの情報が並ぶ画面に遷移します。

アイデンティティプロバイダー設定画面にて、Active!gate SSに必要な情報、設定ファイルは以下の通りです。

The screenshot shows the 'Identity Provider Settings' (アイデンティティプロバイダー設定) page in the CloudGate Admin Site. The page title is 'CloudGate SSOサーバー' and 'SSO設定'. The table below lists the following settings:

項目	URL	注釈
プロバイダー名	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/	
ログインURL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/login.html	①
OpenID Connect 認証URL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/oidc/auth	
OpenID Connect トークンURL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/oidc/token	
ログアウトURL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/logout.html	②
パスワード変更画面URL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/change-password.html	
端末登録画面URL	https://xxxxxx.cloudgate.jp/so/example_co_jp/register-device.html	
証明書	ダウンロード	③

①	【「ログイン URL」】 Active!gate SSのシングルサインオン設定画面にて必要になります。
②	【「ログアウト URL」】 Active!gate SSのシングルサインオン設定画面にて必要になります。
③	【「証明書」のダウンロード】 ダウンロードボタンを押し「アイデンティティプロバイダーの証明書」を保存します。

以上で Cloud Gate側の設定等は終了となります。次ページではActive!gate SS側での設定をご説明致します。

Active!gate SS側でのシングルサインを設定します。左メニューのユーザ管理よりシングルサインオンを開きます。

ユーザ管理 / シングルサインオン

SAML 認証設定

① ドメイン毎にユーザがSAML認証によるSSOでパーソナルコントロール画面にログインするための設定をします。各IdP毎の詳細な設定方法について詳しくはマニュアルをご覧ください。

対象ドメイン ①
設定を行うドメインを選択します。

サービスプロバイダとして使用 使用する 使用しない ②
選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。

▶ **接続先IdP設定**

③ 接続先IdPの設定をします。IdPより取得した情報を入力してください。

IdPのテンプレート ③
接続するIdPを選択します。「その他」を選択すると登録可能な全ての項目が表示されます。

IdPのログインページURL(必須) ④
IdPから指定されたログインページURLを入力してください。

IdPのログアウトページURL ⑤
IdPから指定されたログアウトページURLを入力してください。未登録の場合Active!gateからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。

IdPの証明書(必須) ファイルが選択されていません。 ⑥
IdPから受け取ったRSAまたはDSA証明書をアップロードしてください。

▶ **サービスプロバイダ設定**

⑦ サービスプロバイダの設定をします。Active!gate側になります。

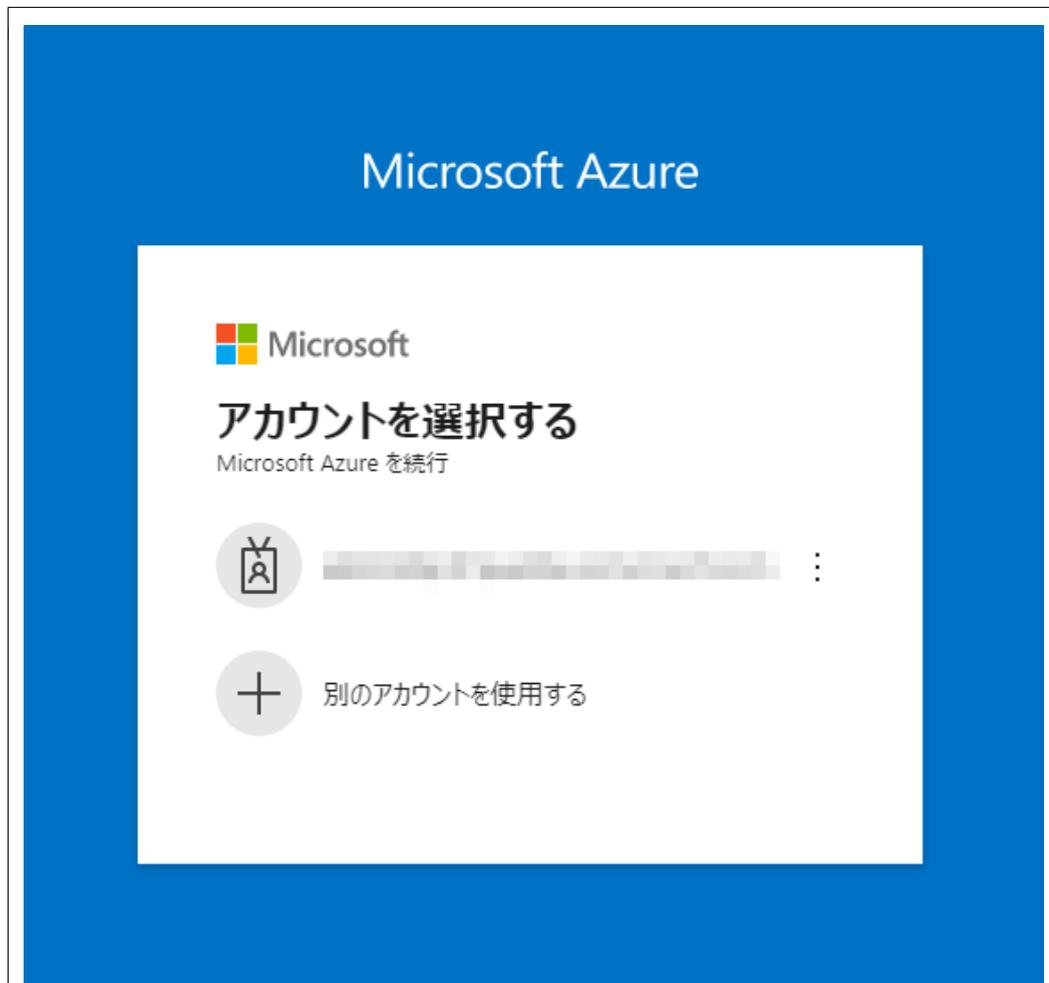
⑦

①	【対象ドメイン】 シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。
②	【サービスプロバイダとして使用】 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。 使用する 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。 使用しない 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。
③	【IdPのテンプレート】 「CloudGate」を選択して下さい。選択後、画面が「Cloud Gate」用の設定項目に変わります。
④	【IdPのログインページURL】 サインオンのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。
⑤	【IdPへのログアウトページURL】 サインアウトのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。未登録の場合Active!gate SSからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。ご注意ください。
⑥	【IdPの証明書】 IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。すでに先ほどActive!gate SS側に設定する「アイデンティティプロバイダーの証明書」のダウンロードを行っていますので、そのファイルをアップロードして下さい。
⑦	【OK ボタン】 設定の確定時に実行します。

以上で設定は終了です。

4.1.4 Azure Active Directory の場合

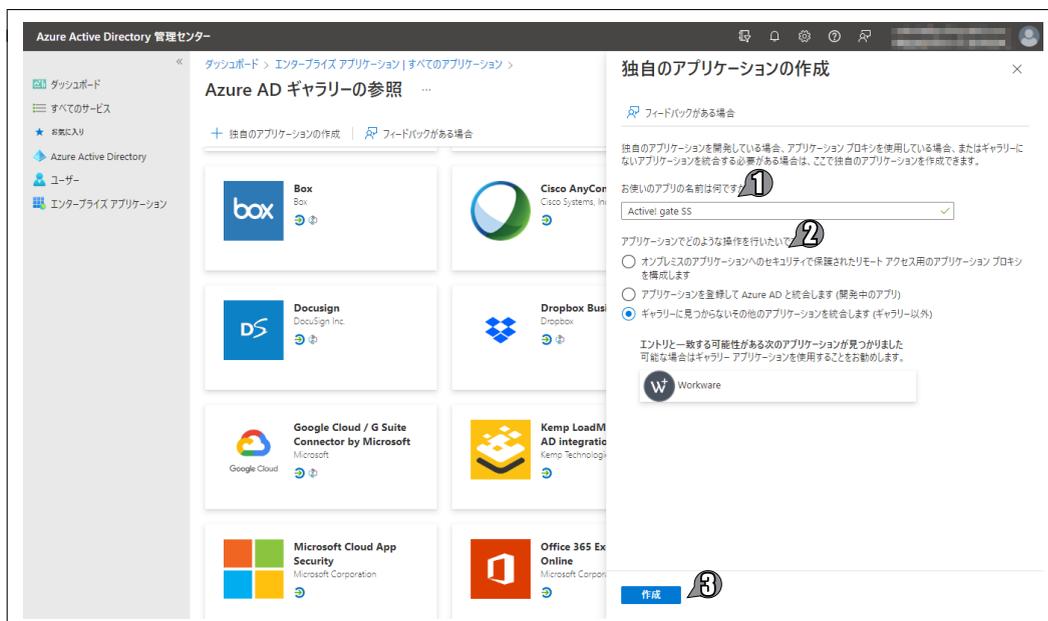
Microsoft 365 管理センターの管理者画面にログインします。



①	【アカウントを選択する】 お客様のご利用されるAzure Active Directoryの管理者IDを選択します。
②	【パスワードの入力】 お客様のご利用されるAzure Active Directoryの管理者パスワードを入力します。
③	【「サインイン」ボタン】 サインインします。

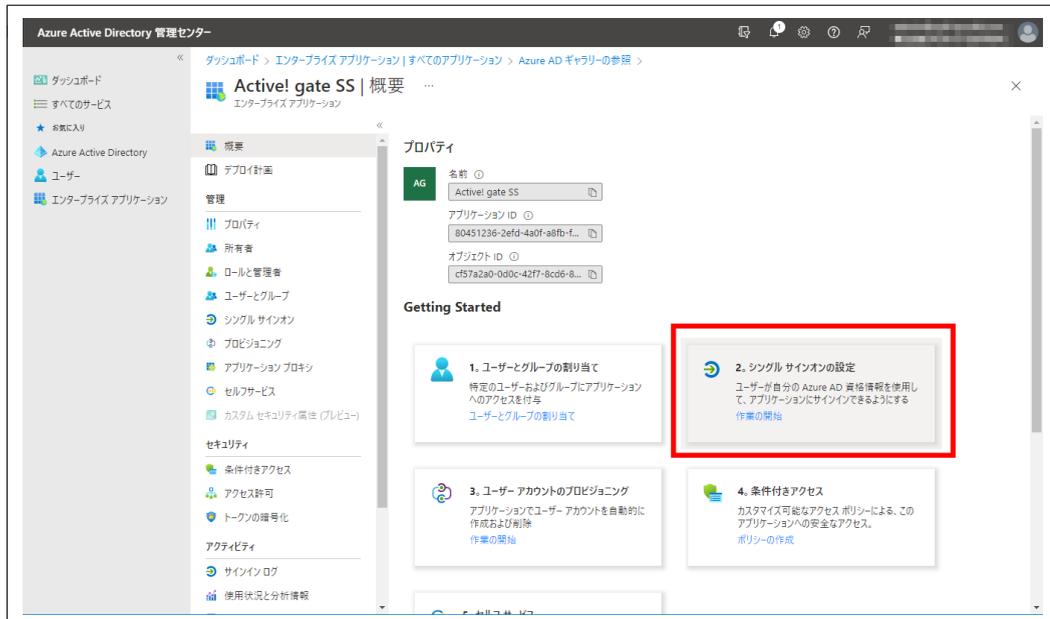
ログイン後、サービスプロバイダの設定情報の確認を行います。左側のメニュー / 管理センターより「Azure Active Directory」画面を開いてください。「Azure Active Directory 管理センター」が表示されたら、サブメニューから「エンタープライズ アプリケーション」を開きます。

「新しいアプリケーション」ボタンをクリックすると表示される「Azure AD ギャラリー」の参照画面にて、「独自のアプリケーションの作成」ボタンをクリックして、「独自アプリケーションの作成」画面で設定を行います。

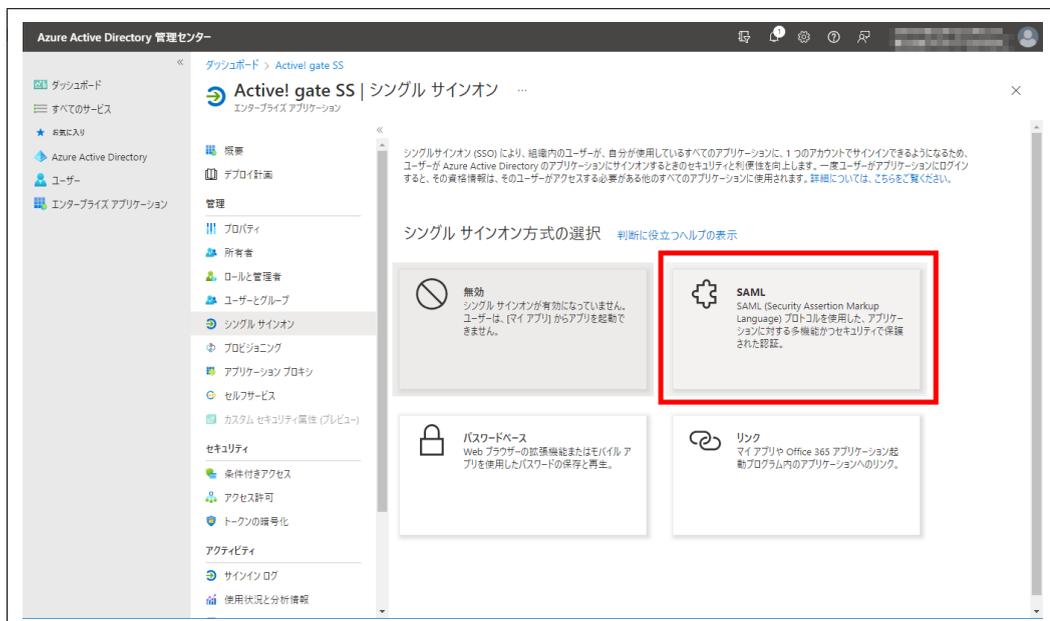


①	【お使いのアプリの名前は何か？】 判別しやすい名前を付けます。ここでは例として「Active! gate SS」を設定しています。
②	【アプリケーションでどのような操作を行いたいですか？】 ラジオボタンから「ギャラリーに見つからないその他のアプリケーションを統合します(ギャラリー以外)」をクリックします。
③	【作成】 設定内容を確認し、[作成]ボタンをクリックして「概要」画面へ進みます。

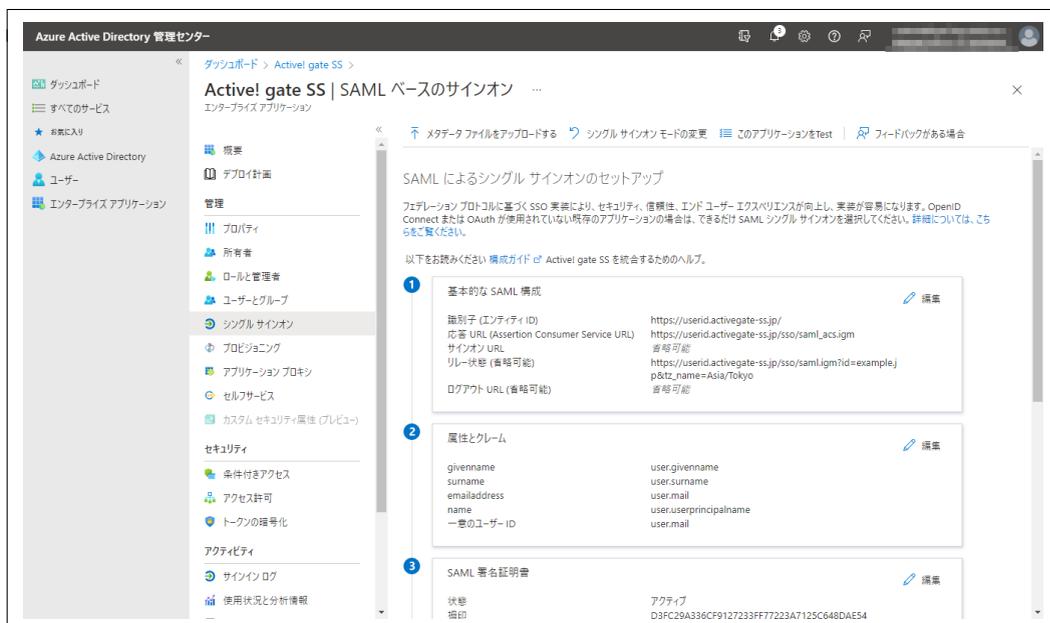
プロパティの画面ではGetting Startedより「2. シングル サインオン の設定」をクリックします。「シングル サインオン方式の選択」画面が開きます。



「シングル サインオン方式の選択」画面では「SAML」をクリックします。



「SAMLベースのサインオン」画面が開きます。



The screenshot shows the Azure Active Directory management center interface. The main content area is titled "Active! gate SS | SAML ベースのサインオン" and contains the following information:

SAML によるシングル サインオンのセットアップ

フェデレーションプロトコルに基づく SSO 実装により、セキュリティ、信頼性、エンドユーザー エクスペリエンスが向上し、実装が容易になります。OpenID Connect または OAuth が使用されていない既存のアプリケーションの場合は、できるだけ SAML シングル サインオンを選択してください。詳細については、こちらをご覧ください。

以下をお読みください [構成ガイド](#) Active! gate SS を統合するためのヘルプ。

- 基本的な SAML 構成**

識別子 (エンティティ ID)	https://userid.activegate-ss.jp/
応答 URL (Assertion Consumer Service URL)	https://userid.activegate-ss.jp/sso/saml_acs.sigm
サインオン URL	省略可能
リレー状態 (省略可能)	https://userid.activegate-ss.jp/sso/saml.ligm?id=example.jp&tz_name=Asia/Tokyo
ログアウト URL (省略可能)	省略可能
- 属性とクレーム**

givenname	user.givenname
surname	user.surname
emailaddress	user.mail
name	user.userprincipalname
一意のユーザー ID	user.mail
- SAML 署名証明書**

状態	アクティブ
指印	D3FC29A336CF9127233FF77223A7125C648DAE54

続けてセットアップを行います。

基本的な SAML 構成 ×

保存 | フィードバックがある場合

i SAML 構成エクスペリエンスのこのプレビューを終了しますか? ここをクリックすると、プレビューが終了します。 →

識別子 (エンティティ ID) * ⓘ

Azure Active Directory に対してアプリケーションを識別する一意の ID。この値は、Azure Active Directory テナント内のすべてのアプリケーションで一意である必要があります。既定の識別子は、IDP で開始された SSO の SAML 応答の対象ユーザーになります。

既定

✓
☑ ⓘ
🗑

識別子の追加

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ⓘ

応答 URL は、アプリケーションが認証トークンを受け取る場所です。これは、SAML では「Assertion Consumer Service」(ACS) とも呼ばれます。

イン...
既定

✓
☑ ⓘ
🗑

応答 URL の追加

サインオン URL (省略可能)

サービスプロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合は、サインオン URL が使用されます。この値は、アプリケーションのサインオンページの URL です。ID プロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合、このフィールドは不要です。

✓

リレー状態 (省略可能) ⓘ

リレー状態は、認証が完了した後にユーザーのリダイレクト先となるアプリケーションを指示します。通常、値は、ユーザーをアプリケーション内の特定の場所に移動する URL または URL パスです。

✓

ログアウト URL (省略可能)

この URL は、SAML ログアウト応答をアプリケーションに返送するために使用します。

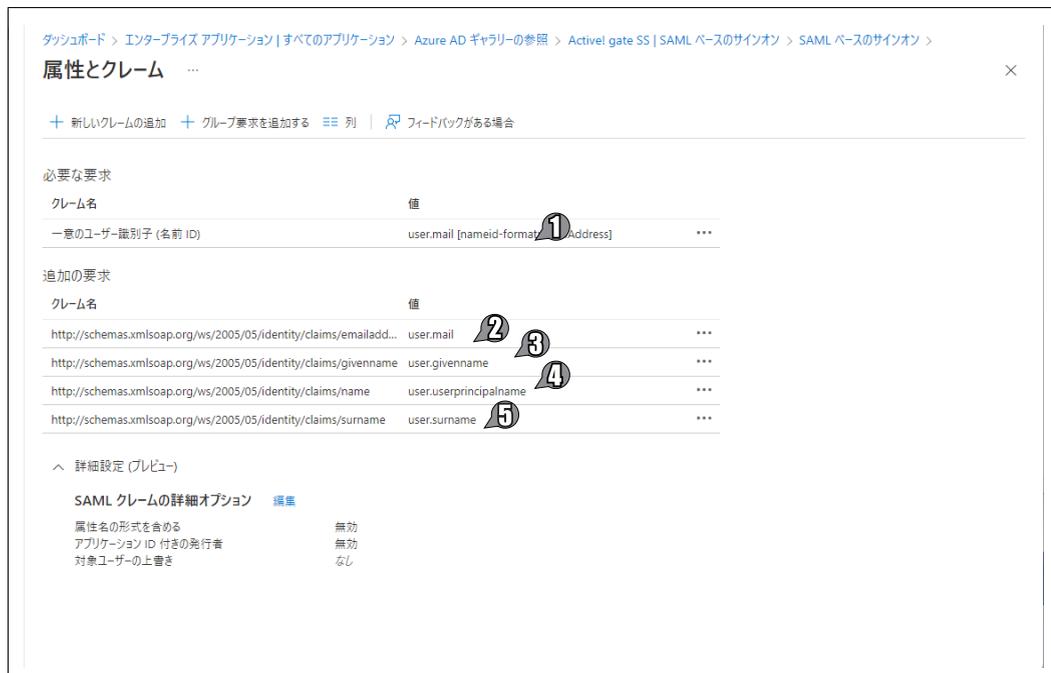
✓

【基本的なSAML構成】メニュー

「編集」をクリックして、開いた画面で必要項目を設定してください。[保存]ボタンをクリックして設定内容を保存したあと、[×]ボタンをクリックして「SAMLベースのサインオン」画面に戻ります。

①	<p>【識別子(エンティティID)】</p> <p>識別のためのIDを任意の文字列で入力します。例では「https://[お客様ID].activegate-ss.jp/」を設定しています。設定例の[お客様ID]の箇所はActive!gate SSサービスより割り振られているお客様の顧客IDに置き換えてください。</p>
②	<p>【応答URL(Assertion Consumer Service URL)】</p> <p>Azure Directoryでのユーザ認証完了後に、Azure DirectoryのIdPによって送信される認証完了の送信先URLを指定します。例では「https://[お客様ID].activegate-ss.jp/sso/saml_acs.igm」を設定しています。設定例の[お客様ID]の箇所はActive!gate SSサービスより割り振られているお客様の顧客IDに置き換えてください。インデックス値の入力は不要です。</p>
③	<p>【サインオンURL】</p> <p>特に設定の必要はありません。</p>

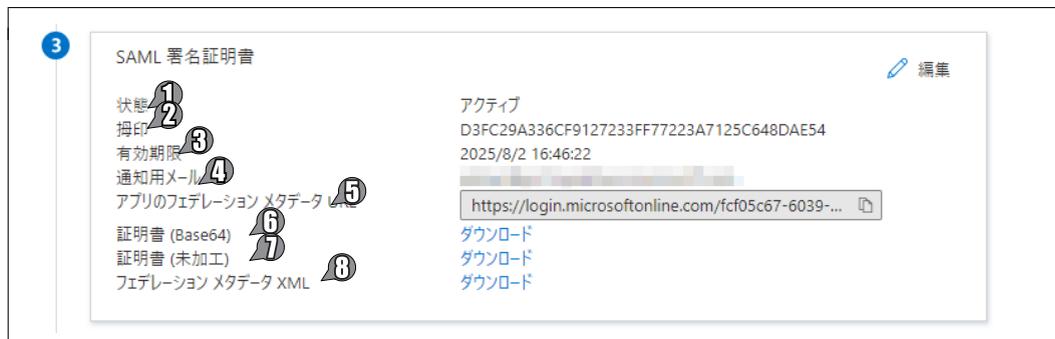
④	【リレー状態(省略可能)】 認証完了後にユーザをどこへリダイレクトするかの指示を Active!gate SS アプリケーションへ送るためのURLを指定します。設定例では「https://[お客様ID].activegate-ss.jp/sso/saml.igm?id=example.jp&tz_name=Asia/Tokyo」を設定しています。設定例の[お客様ID]の箇所は Active!gate SS サービスより割り振られているお客様の顧客IDに、「example.jp」はお客様がご契約中のメールアドレスに置き換えてください。
⑤	【ログアウトURL(省略可能)】 特に設定の必要はありません。



【属性とクレーム】メニュー

「編集」をクリックして、開いた画面で必要項目を設定してください。[×]ボタンをクリックして「SAML ベースのサインオン」画面に戻ります。

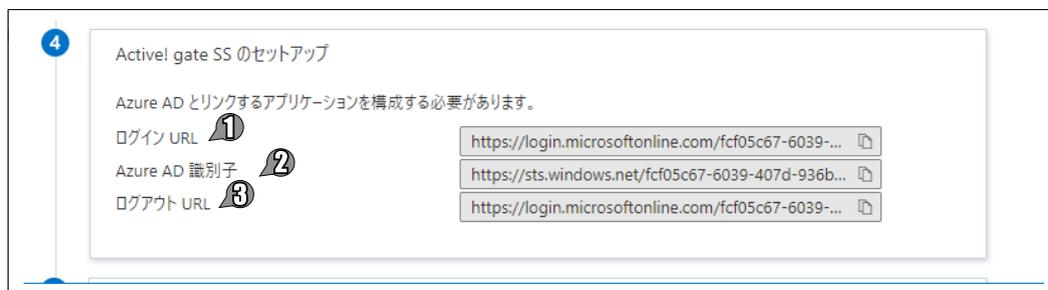
①	【一意のユーザー識別子(名前ID)】 クリックすると詳細な「要求の管理」画面が開きます。「要求の管理」画面内の「ソース属性」を初期状態の「user.principalname」から「user.mail」に変更し、画面右上の「×」ボタンをクリックして「属性とクレーム」画面に戻ってください。
②	【emailaddress】 特に設定の必要はありません。設定例では初期状態の「user.mail」のままとなっています。
③	【givenname】 特に設定の必要はありません。設定例では初期状態の「user.givenname」のままとなっています。
④	【name】 特に設定の必要はありません。設定例では初期状態の「user.userprincipalname」のままとなっています。
⑤	【surname】 特に設定の必要はありません。設定例では初期状態の「user.surname」のままとなっています。



【SAML署名証明書】メニュー

「編集」ボタンをクリックした後の画面で、「署名オプション」を「SAML応答とアサーションへの署名」に変更します。また、「署名アルゴリズム」が「SHA-256」であることを確認してください。

①	【状態】 特に設定する必要はありません。初期状態で「アクティブ」に設定されています。
②	【拇印】 特に設定する必要はありません。初期状態でシステムが割り当てたフィンガープリントが設定されています。
③	【有効期限】 特に設定する必要はありません。初期状態でシステムが割り当てた期限が設定されています。
④	【通知用メール】 特に設定する必要はありません。初期状態で管理者のメールアドレスが設定されています。
⑤	【アプリのフェデレーション メタデータURL】 特に設定する必要はありません。初期状態でシステムが割り当てたURLが設定されています。
⑥	【証明書(Base64)】 Base64でエンコードされたIdPの証明書をダウンロードします。通常Active!gate SSのIdPの証明書にはこちらでダウンロードしたものを利用します。
⑦	【証明書(未加工)】 エンコードされていないIdPの証明書をダウンロードします。特に使う必要はありません。
⑧	【フェデレーション メタデータXML】 IdPの信頼設定情報を取りまとめたファイルをXML形式でダウンロードします。特に使う必要はありません。



【Active! gate SSのセットアップ】メニュー

メニュー名は設定したアプリケーション名が表示されます。設定例では「Active! gate SS」が表示されています。

①	【ログインURL】 Active!gate SS側の「IdPのログインページURL」に設定する情報です。
②	【Azure AD 識別子】 Active!gate SS側の「IdPのEntityID」に設定する情報です。
③	【ログアウトURL】 Active!gate SS側の「IdPのログアウトページURL」に設定する情報です。

ダッシュボード > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション >

Active! gate SS | 概要 ...

エンタープライズ アプリケーション

概要

プロパティ

名前

アプリケーション ID

オブジェクト ID

Getting Started

- 1. ユーザーとグループの割り当て**
特定のユーザーおよびグループにアプリケーションへのアクセスを付与
ユーザーとグループの割り当て
- 2. シングルサインオンの設定**
ユーザーが自分の Azure AD 資格情報を使用して、アプリケーションにサインインできるようにする
作業の開始
- 3. ユーザー アカウントのプロビジョニング**
アプリケーションでユーザー アカウントを自動的に作成および削除
作業の開始
- 4. 条件付きアクセス**
カスタマイズ可能なアクセス ポリシーによる、このアプリケーションへの安全なアクセス。
ポリシーの作成

作成済みのエンタープライズアプリケーションに、SAMLを使ったシングルサインオンを利用可能なユーザを追加します。

「エンタープライズアプリケーション」画面からシングルサインオン対象のアプリケーションを選択（例では「Active! gate SS」）して「概要」画面を開きます。

ダッシュボード > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > Active! gate SS

Active! gate SS | ユーザーとグループ ...

エンタープライズ アプリケーション

概要

デプロイ計画

管理

プロパティ

所有者

ロールと管理者

ユーザーとグループ

シングルサインオン

プロビジョニング

アプリケーション プロキシ

セルフサービス

カスタム セキュリティ属性 (プレビュー)

セキュリティ

条件付きアクセス

アクセス許可

トークンの暗号化

アクティビティ

サインイン ログ

+ ユーザーまたはグループの追加 編集 削除 資格情報の更新 列 フィードバックがある場合

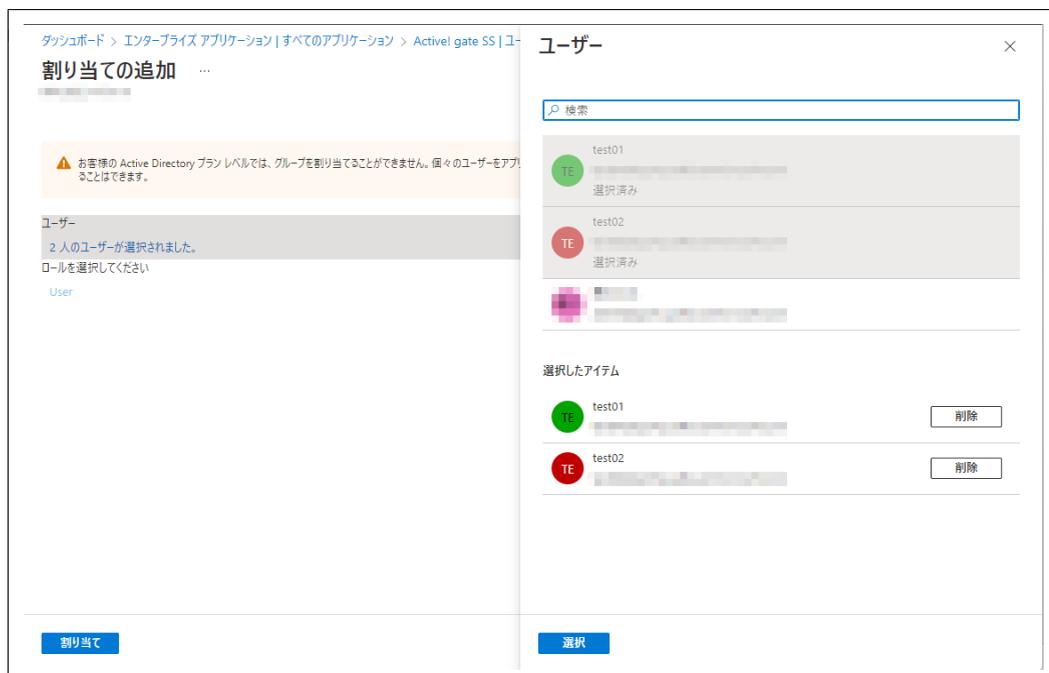
アプリケーションは、割り当てられたユーザーのマイ アプリ内に表示されます。これを表示しないようにするには、プロパティの中で「ユーザーに表示しますか?」を「いいえ」に設定します。

ここで、アプリケーションのアプリのロールにユーザーとグループを割り当てます。このアプリケーションの新しいアプリのロールを作成するには、[アプリケーション登録](#)を使用します。

最初の 200 件を表示しています。すべてのユーザーとグループを検索するには、表示名を入力してください。

表示名	オブジェクトの種類	割り当てられたロール
アプリケーションの割り当てが見つかりませんでした		

「ユーザーとグループ」をクリックします。画面上部の「ユーザーまたはグループの追加」ボタンをクリックします。



「割り当ての追加」画面が表示されますので、任意の「ユーザー」または「ロール」を選択し、[割り当て]ボタンをクリックします。

以上で Azure Active Directory 側の設定等は終了となります。次ページでは Active!gate SS 側での設定をご説明致します。

Active!gate SS側でのシングルサインを設定します。左メニューのユーザ管理よりシングルサインオンを開きます。

①	【対象ドメイン】 シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。
②	【サービスプロバイダとして使用】 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。通常は「使用する」を選択します。 使用する 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。 使用しない 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。
③	【IdPのテンプレート】 「その他」を選択してください。選択後、画面が「その他」用の設定項目に変わります。
④	【IdPのEntityID】 識別のための固有値の設定項目です。IdPから事前に取得する必要があります。Azure Active Directory側の「Active! gate SSのセットアップ」からコピーした「Azure AD識別子」の値を設定してください。
⑤	【IdPのログインページURL】 SAML認証のためにIdPにログインするためのURLです。IdPから事前に取得する必要があります。Azure Active Directory側の「Active! gate SSのセットアップ」からコピーした「ログインURL」の値を設定してください。
⑥	【IdPのログアウトページURL】 IdPからログアウトするためのURLです。IdPから事前に取得する必要があります。Azure Active Directory側の「Active! gate SSのセットアップ」からコピーした「ログアウトURL」の値を設定してください。
⑦	【IdPの証明書】 IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。Azure Active Directory側の「SAML署名証明書」からダウンロードした証明書を指定してアップロードしてください。

⑧	【EntityID】 Azure Active Directory側の「基本的なSAML構成」で設定した「識別子(エンティティID)」の値を設定してください。
⑨	【ログアウトの署名】 ログアウト応答時の署名が必要かどうかを設定します。通常は「署名しない」を選択します。
⑩	【OKボタン】 設定の確定時に実行します。

以上で設定は終了です。

4.1.5 その他の場合

シングルサインオンの設定では、事前にIdp側への設定・登録を行って頂く必要があります。以下、IdpにActive!gate SSをサービスプロバイダとして登録する為に必要な最低限の情報を記載します。

11	【アサーションコンシューマーURL】
	<code>https://[お客様ID].activegate-ss.jp/sso/saml_acs.igm</code>
12	【Name IDの形式】
	<code>urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress</code>

**メモ**

Idp側でSSO画面が提供されていない場合に、Active!gate SS側へのシングルサインオンログインの際、以下を使用して下さい。

`https://[お客様ID].activegate-ss.jp/pc.igm/saml_login?id=[対象ドメイン]`

次ページではActive!gate SS側での設定をご説明致します。

4.1.6 シングルサインオンの設定（その他の場合）

以下、Active!gate SS側での設定となります。

ユーザ管理 / シングルサインオン

SAML認証設定

① ドメイン毎にユーザがSAML認証によるSSOでパーソナルコントロール画面にログインするための設定をします。
各IdP毎の詳細な設定方法について詳しくはマニュアルをご覧ください。

対象ドメイン ①
設定を行うドメインを選択します。

サービスプロバイダとして使用 使用する 使用しない ②
選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するが選択します。

▶ **接続先IdP設定**

③ 接続先IdPの設定をします。IdPより取得した情報を入力してください。

IdPのテンプレート ③
接続するIdPを選択します。「その他」を選択すると登録可能な全ての項目が表示されます。

IdPのEntityID ④
IdPから指定されたEntityIDを入力してください。

IdPのログインページURL(必須) ⑤
IdPから指定されたログインページURLを入力してください。

IdPのログアウトページURL ⑥
IdPから指定されたログアウトページURLを入力してください。
未登録の場合Active!gateからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。

IdPの証明書(必須) ファイルが選択されていません。 ⑦
IdPから受け取ったRSAまたはDSA証明書をアップロードしてください。

▶ **サービスプロバイダ設定**

⑧ サービスプロバイダの設定をします。Active!gate側になります。

EntityID ⑧
事前にIdPに登録する必要があります。

ログアウトの署名 署名する 署名しない ⑨
Active!gateから送信された認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名する必要があるかどうか指定します。
事前にIdPに公開鍵を登録する必要があります。

証明書 ファイルが選択されていません。 ⑩
事前にIdPに登録する必要があります。
RSAをアップロードしてください。

秘密鍵 ファイルが選択されていません。 ⑪

⑫

①	【対象ドメイン】 シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。
②	【サービスプロバイダとして使用】 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するが選択します。 使用する 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。 使用しない 選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。
③	【IdPのテンプレート】 「その他」を選択して下さい。選択後、画面が「その他」用の設定項目に変わります。
④	【IdPのEntityID】 IdPのentityIDです。IdPから事前に取得する必要があります。

⑤	【IdPへのログインページURL】 サインオンのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。
⑥	【IdPへのログアウトページURL】 サインアウトのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。未登録の場合Active! gateからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。ご注意ください。
⑦	【IdPの証明書】 IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。IdPから受け取ったRSAまたはDSA証明書をアップロードして下さい。
⑧	【EntityID】 Active!gate SS側のEntityIDです。IdPに事前に通知しておく必要があります。
⑨	【ログアウトの署名】 Active!gate SSから送信された認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名する必要があるかどうか指定します。事前にIdPに公開鍵を登録する必要があります。 署名する 認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名します。 署名しない 認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名しません。
⑩	【IdPの証明書】 ログアウト要求の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。IdPから受け取った証明書をアップロードして下さい。
⑪	【秘密鍵】 ログアウト要求の秘密鍵です。IdPから事前に取得する必要があります。IdPから受け取った秘密鍵をアップロードして下さい。
⑫	【<input type="radio"/> OK <input type="radio"/> ボタン】 設定の確定時に実行します。

4.2 内部外部定義

システム管理者画面:【ユーザ管理】>【内部外部定義】

Active!gate SSではポリシー等の設定において、大別する目的として内部と外部に分けます。この画面では、内部と外部を定義致します。

内部外部定義

①	【内部宛先】 デフォルトでは送信者のFromアドレスのドメインです。 本製品に登録されているドメイン Active!gate SSに登録された全てのドメインを内部と定義します。 グループ 登録済みのグループを選択し対象とします。
②	【準内部宛先】 定義しない 準内部の定義を行いません。 本製品に登録されているドメイン(内部宛先を除く) 内部宛先を除いた Active!gate SSに登録された全てのドメインを準内部と定義します。 グループ(内部宛先を除く) 内部宛先を除いた登録済みのグループを選択し対象とします。
③	【外部宛先】 内部宛先・準内部宛先以外
④	【OK ボタン】 設定の確定(設定の反映には画面右上部の(設定反映)ボタンをクリックする必要があります。)

4.3 グループ管理

システム管理者画面【ユーザ管理】【グループ管理】

Active!gate SSではポリシー等の設定において、大別する目的としてグループを作成する事が可能です。この画面では、グループを作成致します。

グループ管理 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

ユーザ管理 / グループ管理

グループ管理 新規登録

条件や対象の指定、内部外部定義等で使うメールアドレスやドメインのグループを定義します。Active!gateに登録されていないドメインやユーザを設定することも可能です。

グループ名

グループのメンバー

メールアドレスやドメインを指定することができます。区別には改行「**␣**」スペース「」コンマ「**,**」が使用できます。ドメイン名を「**.**」から記述することでサブドメインを登録できます。

グループ名 検索 10 件

グループ名	メールアドレス数	ドメイン数
manualグループ	3	0
社内グループ	7	0
株式会社○○グループ	20	1

ページ 1 / 1

①	<p>【グループ名】</p> <p>登録するグループにグループ名を付けます。</p>
②	<p>【グループのメンバー []】</p> <p>グループのメンバーを入力します。メールアドレスまたはドメインを入力します。</p> <p> メモ</p> <p>グループのメンバーの指定方法について テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]</p> <p>また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とすることができます。 例: [.example.jp]</p> <p>上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。 この場合、example.jpは含まれません</p>
③	<p>【追加 ボタン】</p> <p>登録します。</p>
④	<p>【更新 ボタン】</p> <p>一覧から選択した設定内容を更新します。</p>
⑤	<p>【キャンセル ボタン】</p> <p>設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。</p>

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

6	【検索対象】 検索対象をセレクトボックスから選択します。 グループ名 検索対象をグループ名で指定します。 ドメイン 検索対象をドメインで指定します。 メールアドレス 検索対象をメールアドレスで指定します。
7	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
8	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 登録されたグループを一覧で表示します。

9	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
10	【削除ボタン】 一覧からグループを選択して削除を行います。
11	【▼/1: ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合、複数画面となります。

【インポート・エクスポート】

設定されたグループをエクスポートしCSVファイルとして管理したり、逆にCSVファイルで作成されたグループの情報をインポートし一括で登録を行う事が可能です。

12	【インポート】 上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成されたグループインポート用のCSVファイルをインポートします。 置き換え / 追加 既に設定されているグループのメンバーを変更する場合、「置き換え」を選択して下さい。「置き換え」時には、変更のないグループもファイルに記述されている必要があります。 変更の無いグループを記述してない場合、それは削除の対象となります。ご注意ください。 グループを「置き換え」で削除する場合、ポリシーの「条件設定」の対象として使用していた際には削除にはならずエラーを返します。 新たなグループ又はグループのメンバーを追加する場合は「追加」を選択して下さい。 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。 インポートする ボタン 上記で指定したファイルでグループインポートを開始します。
13	【エクスポート】 登録されたグループをCSVファイルへエクスポートします。



メモ

【インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際はメールアドレス または ドメイン、グループ名をそれぞれ半角空白区切りで1行ずつ記述します。グループ名には半角空白が含まれても構いません。

【インポートファイル作成例】

```
# ag_group_info version: 2.1.0
a001@ah80.example.jp example グループ
a002@ah80.example.jp example グループ
a0088@ah99.example.co.jp 株式会社EXAMPLE
a0077@ah99.example.co.jp 株式会社EXAMPLE
```

⋮

4.4 ポリシーグループ管理

システム管理者画面【ユーザ管理】【ポリシーグループ管理】

Active!gate SSではポリシーの設定において、大別する目的としてポリシーグループを作成することが可能です。送信元のメールアドレスがここで設定したグループのメンバーに含まれる場合、このグループのポリシーを適用します。Active!gate SSに登録されているドメインやユーザのみ適用される為、外部のアドレスの登録はできません。

ポリシーグループ管理 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

- ① **【グループ名】**
登録するグループにグループ名を付けます。
 - ② **【グループのメンバー []】**
グループのメンバーを入力します。ユーザ名(メールアドレス)またはドメインを入力します。
オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

注意

設定された【グループのメンバー】であるかどうかの判定は、送信メールのヘッダの「From」のアドレスが判定対象として使用されます。本来の送信者を示すエンベロープ情報の「From」のアドレスは判定対象とは異なるのでご注意ください。
 - ③ **【追加 ボタン】**
登録します。
 - ④ **【更新 ボタン】**
一覧から選択した設定内容を更新します。
 - ⑤ **【キャンセル ボタン】**
設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。
- 【検索メニュー】** 設定した内容に対して検索を行います。
- ⑥ **【検索対象】**
検索対象をセレクトボックスから選択します。
グループ名 検索対象をグループ名で指定します。
ドメイン 検索対象をドメインで指定します。
メールアドレス 検索対象をメールアドレスで指定します。

7	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
8	【検索ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】登録されたグループを一覧で表示します。

9	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
10	【削除ボタン】 一覧からグループを選択して削除を行います。
11	【▼/1: ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。

【インポート・エクスポート】

設定されたポリシーグループをエクスポートしCSVファイルとして管理したり、逆にCSVファイルで作成されたポリシーグループの情報をインポート一括で登録を行う事が可能です。

12	【インポート】 上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成されたポリシーグループインポート用のCSVファイルをインポートします。 置き換え / 追加 既に設定されているポリシーグループのメンバーを変更する場合、「置き換え」を選択して下さい。「置き換え」時には、変更のないポリシーグループもファイルに記述されている必要があります。 変更の無いポリシーグループを記述してない場合、それは削除の対象となります。ご注意ください。 ポリシーグループを「置き換え」で削除する場合、グループ管理の「置き換え」と違い、ポリシーとして使用していた際でもそのポリシーごと削除します。但し、ポリシーグループ管理者を作成（管理者権限設定・管理にて作成）していた場合、削除にはならずエラーを返します。 新たなポリシーグループを追加する場合、「追加」を選択して下さい。 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。 インポートする ボタン 上記で指定したファイルでポリシーグループインポートを開始します。
13	【エクスポート】 登録されたポリシーグループをCSVファイルへエクスポートします。



メモ

【インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際はメールアドレス または ドメイン、ポリシーグループ名をそれぞれ半角空白区切りで1行ずつ記述します。ポリシーグループ名には半角空白が含まれても構いません。

【インポートファイル作成例】

```
# ag_policy_group.info version: 2.1.0
a001@ah80.example.jp example ポリシーグループ
a002@ah80.example.jp example ポリシーグループ
a003@ah80.example.jp example ポリシーグループ
a0099@ah99.example.co.jp 株式会社EXAMPLE
a0088@ah99.example.co.jp 株式会社EXAMPLE
a0077@ah99.example.co.jp 株式会社EXAMPLE
:
```

Active!gate SSに登録されているドメインやユーザしか追加できません。

5 メール一覧

システム管理者画面【メール一覧】

Active!gate SSを使用する送信メールや通知メール・受付エラーとなったメールを確認する事ができます。「メール一覧」の確認画面では、Active!gate SSにより判定された受信エラーメール/送信拒否メール/保留メール/配送メール/通知メールがそれぞれ別々の画面で確認できます。

5.1 受付エラーメール一覧

システム管理者画面【メール一覧】【受付エラーメール一覧】

Active!gate SSで送信を行う際に受付エラーとなったメール（接続）を一覧表示します。

メール一覧 / 受付エラーメール一覧

受付エラーメール一覧

メール受付時にエラーになり、受付出来なかったメールの一覧を表示します。
送信者はSMTPのMAIL FROMまで受信出来た場合のみ表示されます。

表示期間: 2010-04-09 20時 ~ 2010-04-09 21時 全て

検索 高度な検索 表示 10 件

送信日時	IP	エラーメッセージ	送信者
20:53:48	72.16.1.82	Remote host ip is out of relay range.	
20:53:17	192.168.1.99	Conneccion timeout.	user01@example.jp
20:51:39	172.16.1.254	Remote host ip is out of relay range.	
20:49:42	172.16.1.254	Conneccion timeout.	

ページ

表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。（全てを選択する事で、全期間を対象とします。）
②	【検索ボタン】 検索を実行します。
③	【高度な検索ボタン】 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 エラーメッセージ 検索対象項目をエラーメッセージとしてキーワードを入力します。
④	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑤	【送信日時】 送信日時を表示。
⑥	【IP】 接続元のIPアドレスを表示。
⑦	【エラーメッセージ】 接続時のエラー内容を表示。

⑧	【送信者】 送信者名を表示。 送信者情報の取得 (MAIL FROM) までの間にエラーとなった場合、表示されません。
⑨	【<input type="checkbox"/>▼ / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

5.2 送信拒否メール一覧

システム管理者画面【メール一覧】-【送信拒否メール一覧】

設定された Active!gate SS の送信拒否ポリシーによって送信拒否されたメールの一覧を表示します。

送信日時	件名	受信者	ポリシー
20:47:33	類のご送付	sender@example.jp, user01@exm...	管理者(強制)送信拒否_100409_204334
20:47:26	重要情報	sender@example.jp, user01@exm...	管理者(強制)送信拒否_100409_204334
20:46:33	データのご送付	sender@example.jp, user01@exm...	管理者(強制)送信拒否_100409_204334

表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。) 【検索】ボタン 検索を実行します。
③	【高度な検索】ボタン 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。
④	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑤	【送信日時】 送信日時を表示。
⑥	【件名】 件名を表示。
⑦	【受信者】 受信者名を表示。
⑧	【ポリシー】 ポリシーを表示。
⑨	【送信者】 送信者名を表示。
⑩	【▼ / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を越えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際に使用します。

5.3 保留メール一覧

システム管理者画面:【メール一覧】>【保留メール一覧】

設定された ActiveGate SSの保留ポリシーによって保留されたメールや保留後削除されたメールの一覧を表示します。ここでの表示は送信者単位です。保留後配送処理されたメールは「配送メール一覧(メール別)」または「配送メール一覧(宛先別)」に表示します

保留メール一覧

現在保留されているメールや保留後削除されたメールの一覧を表示します。ここでの表示は送信者単位です。保留後配送処理されたメールは「配送メール一覧」に表示されます。

表示期間: 2011-06-29 19時 ~ 2011-06-29 20時 全て

ステータス: 全て

検索 高度な検索 表示 10 件

送信日時	件名 受信者	ポリシー 送信者	ステータス
19:42:06	6/29 営業会議 議事録送付 a003@example.jp, a004@example.jp	システムポリシー(標準) a010@ah00.example.jp	保留 強制破棄
19:28:46	予算計上について a006	システムポリシー(標準) a007@ah00.example.jp	保留 強制破棄
19:26:45	【突然のメール失礼します】前 回成田でお世話になった株式 会社●●の■■です。 a020@ah81.example.jp, a007	システムポリシー(標準) a003@ah00.example.jp	破棄 admin(システム管理者)
19:11:33	データのご送付 a006, a003	システムポリシー(標準) a006@ah00.example.jp	破棄 admin(システム管理者)

ページ 1

表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)
②	【ステータス】 保留メールのステータスを選択します。 全て 全てを選択。 保留 保留(未確認済み)のみ対象として選択。 保留(配送可能) 保留中で配送が可能なメールのみ対象として選択。 破棄 破棄されたメールを対象として選択。 保留期間経過後削除 保留期間経過後削除機能にて削除されたメールを対象として選択。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。
④	【高度な検索ボタン】 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。
⑤	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑥	【送信日時】 送信日時を表示。
⑦	【件名】 件名を表示。
⑧	【受信者】 受信者名を表示。
⑨	【ポリシー】 該当したポリシーを表示。
⑩	【送信者】 送信者名を表示。
⑪	【ステータス】 ステータスを表示。
⑫	【強制破棄ボタン】 管理者画面のみ「強制破棄」ボタンがあり、保留状態のメールに対し管理者側から強制的に破棄する事が可能となります。 ボタンを押下し強制破棄を行った場合、管理者側、パーソナルコントローラ側のステータス欄の下には「管理者名(管理タイプ)」が記載します。(例:admin(システム管理者))
⑬	【▼/1: ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

5.4 承認メール一覧

システム管理者画面:【メール一覧】>【承認メール一覧】

設定された Active!gate SSの承認ポリシーによって承認されたメールや承認期間経過後削除されたメールの一覧を表示します。

メール一覧 / 承認メール一覧

承認メール一覧

承認フローに関わったメールの一覧を表示します。ここでの表示は送信者単位です。

表示期間: 2011-02-22 20時 ~ 2011-02-22 21時 全て

ステータス: 全て

検索 高度な検索 表示 10件

送信日時 承認日時	件名 受信者	ポリシー 送信者	ステータス 承認者
20:02:32 (20:03:33)	前回お話しした、 ●●の件について a008	システムポリシー(標準) a006@ah80.example.jp	差し戻し 株式会社●● 山田 太郎(a003@ah80.example.jp)
20:00:24 (20:01:12)	前回の会議の件 a008, a007	システムポリシー(標準) a006@ah80.example.jp	承認済 株式会社●● 山田 太郎(a003@ah80.example.jp)
16:00:24	【緊急】DB復旧作業の件 a008, a007	システムポリシー(標準) a006@ah80.example.jp	承認待ち 強制承認 株式会社●● 山田 太郎(a003@ah80.example.jp)

ページ 1

表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)
②	【ステータス】 承認メールのステータスを選択します。 全て 全てを選択。 承認待ち 承認待ちのみ対象として選択。 承認作業中 承認作業中のみ対象として選択。 承認済 承認済のみ対象として選択。 差し戻し 差し戻しのみ対象として選択。 承認期間経過後削除 承認期間経過後削除にて削除されたメールを対象として選択。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。
④	【高度な検索ボタン】 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。
⑤	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑥	【送信日時】 送信日時を表示。
⑦	【承認日時】 承認日時を表示。
⑧	【件名】 件名を表示。
⑨	【受信者】 受信者名を表示。
⑩	【ポリシー】 該当したポリシーを表示。
⑪	【送信者】 送信者名を表示。
⑫	【ステータス】 ステータスを表示。
⑬	【承認者】 承認者を表示。
⑭	【強制承認 ボタン】 管理者画面のみ 強制承認 ボタンがあり、承認待ち状態のメールに対し管理者側から強制的に承認済みにする事が可能となります。 ボタンを押下し強制承認を行った場合、管理者側、承認者及び被承認者のパーソナルコントローラ側のステータス欄の下には承認を行った「管理者名(管理タイプ)」が記載します。 例:admin(システム管理者)また承認済み通知メールも同様に「管理者名(管理タイプ)」が記載され通知します。
⑮	【  / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

5.5 配送メール一覧（メール別）

システム管理者画面：【メール一覧】>【配送メール一覧（メール別）】

Active!gate SSを経由して配送されたメールの一覧を表示します。ここでの表示はメール単位です。
ユーザ登録されていないユーザからのメールは一覧に表示されません。



表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)
②	【配送状況】 配送状況を選択します。 全て 全てを選択。 配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。 配送中 配送中のメールのみ対象として選択。 配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。
③	【検索】ボタン 検索を実行します。
④	【高度な検索】ボタン 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。
⑤	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑥	【送信日時】 送信日時を表示。
⑦	【件名】 件名を表示。
⑧	【受信者】 受信者名を表示。

9	【配送状況】 配送状況を表示。
10	【送信者】 送信者名を表示。
11	【開くボタン】 クリックする事で、メールの詳細内容（メール詳細画面）を別ウィンドウで表示します。  メモ 次ページにてメール詳細画面の各項目の説明を致します。
12	【▼ / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

5.5.1 メール詳細画面とは

メール詳細画面は宛先別に配送状況の詳細を確認する事ができます。例えば、何らかの理由により宛先へのwebダウンロード通知メールやパスワードを消失されても、こちらの画面で再度確認する事が可能です。また、パスワード通知保留期間の設定により、パスワード通知メールの送信や削除、webダウンロードの有効期限の変更等も行えます。



注意

メール詳細画面はパーソナルコントローラ上から見る「送信後のメール詳細画面」と同一の物となります。ユーザ側にもダイレクトに反映します。設定の変更や、パスワードの通知を行う際はご注意ください。

【暗号化/webダウンロード化 処理後に配送されたメール詳細画面例】

送信後メール詳細

件名	前回の会議の資料 送信 1
送信者	a006@ah80.example.jp 2
送信日時	2011-03-08 17:19:59 3
添付ファイル	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">■■■■様向けお見積書.pdf 4</div> <div style="width: 50%;">▲▲▲▲特記事項.pdf</div> <div style="width: 50%;">○○○○様向けお見積書.pdf</div> <div style="width: 50%;">★★★★申込書一式.zip</div> </div>

パスワード通知メールを送る 5
 パスワード通知メールを送らない

宛先別配送状況

a020@ah81.example.jp 6

添付ファイル暗号化設定	拡張子	zip	zipして暗号化	しない 7
配送ステータス	配送状態	配送済	配送メッセージ	250 2.0.0 Ok: queued as 10B8BD80B37 8
配送日時	配送開始	2011-03-08 17:20:24	配送完了	2011-03-08 17:20:25 9
Webダウンロード設定	有効期限	2011年03月13日 17:20	URL通知	本文の文頭に追加 10
	<input checked="" type="checkbox"/> 有効期限変更			
パスワード設定	パスワード	abcdefghijklmn	ヒント	なし 11
	<input type="button" value="ダウンロードセンター"/> <input checked="" type="button" value="パスワード入力ロック解除"/>			
2011030859789058.zip		サイズ:277B	ダウンロード:0回	<input checked="" type="button" value="ロック"/> <input checked="" type="button" value="削除"/> 12
<input checked="" type="button" value="この宛先の全ファイルをロック"/> <input checked="" type="button" value="この宛先の全ファイルを削除"/>				

a008 <a008@ah80.example.jp> 6

添付ファイル暗号化設定	拡張子	zip	zipして暗号化	しない 7
配送ステータス	配送状態	配送済	配送メッセージ	250 2.0.0 Ok: queued as 0E431D80B35 8
配送日時	配送開始	2011-03-08 17:20:24	配送完了	2011-03-08 17:20:25 9
Webダウンロード設定	有効期限	2011年03月13日 17:20	URL通知	本文の文頭に追加 10
	<input checked="" type="checkbox"/> 有効期限変更			
パスワード設定	パスワード	abcdefghijklmn	ヒント	なし 11
	<input type="button" value="ダウンロードセンター"/>			
2011030859791058.zip		サイズ:277B	ダウンロード:0回	<input checked="" type="button" value="ロック"/> <input checked="" type="button" value="削除"/> 12
<input checked="" type="button" value="この宛先の全ファイルをロック"/> <input checked="" type="button" value="この宛先の全ファイルを削除"/>				

13

1	【件名】
	メールの件名を表示します。
2	【送信者】
	メールの送信者を表示します。

③	【送信日時】 メールを送信日時（Active!gate SSで受け付けた時刻）を表示します。
④	【添付ファイル】 各添付ファイルと、各添付ファイルに対しての添付ファイル変換の状態を表示します。各宛先の状態と合わせて、どの添付ファイルが添付ファイル変換（【添付ファイル暗号化（zip変換）】や【webダウンロード】）の対象となったかをアイコンにて表示しています。 <ul style="list-style-type: none">  添付ファイルマーク： 添付ファイル変換の対象とならず、通常通りメールに添付されている状態を示します。  zipマークのみ： 添付ファイル変換の対象となり、添付ファイル暗号化（zip化）されている状態を示します。  webDLマークのみ： 添付ファイル変換の対象となり、webダウンロード化されている状態を示します。  zipマーク + webDLマーク： 添付ファイル変換の対象となり、添付ファイル暗号化（zip化） + webダウンロード化されている状態を示します。

⑤	【パスワード通知メールについて】 元のメールを送信後にパスワード通知メールを送信するか、破棄（削除）するかを決定できます。 <p>パスワード通知メールを送る <input type="checkbox"/> : パスワード通知メールを送ります。</p> <p>パスワード通知メールを送らない <input type="checkbox"/> : パスワード通知メールを破棄（削除）します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> メモ</p> <p>添付ファイル暗号化機能、又はwebダウンロード機能を使用していて、以下の場合にボタンが出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パスワード通知自動配送：配送する」かつ「パスワード通知保留期間設定」の設定期間内 ・「パスワード通知自動配送：配送しない」 <p>いずれの場合も、ボタンを押下するとボタンは消えます。</p> </div>
----------	--

宛先別配送状況：宛先別に配送状況を表示します。以下、宛先別配送状況の説明を致します。

⑥	【最上段の表示】 各宛先の情報を表示します。また各宛先に対しての添付ファイル変換の状態を表示します。どの宛先が添付ファイル変換（【添付ファイル暗号化（zip変換）】や【webダウンロード】）の対象となったかをアイコンにて表示しています。 <p>アイコンなし： その宛先は添付ファイル変換を行っていません。全ての添付ファイルが通常通りメールに添付されている、または元から添付ファイルがない状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  zipマークのみ： その宛先は添付ファイル暗号化（zip化）されている状態を示します。  webDLマークのみ： その宛先はwebダウンロード化されている状態を示します。  zipマーク + webDLマーク： その宛先は添付ファイル暗号化（zip化） + webダウンロード化されている状態を示します。
----------	--

7	【添付ファイル暗号化設定】 暗号化されたファイルの拡張子やzipして暗号化に関する表示。
8	【配送ステータス】 配送に関する表示 配送状態 : 配送ステータスを表示します。 配送メッセージ : 配送先からのメッセージを表示します。
9	【配送日時】 配送時刻に関する表示 配送開始 : 配送が開始された日時を表示します。 配送完了 : 配送が完了した時刻を表示します。
10	【Webダウンロード設定】 webダウンロードに関する設定 有効期限 : webダウンロードが行える有効期限を表示します。 URL通知 : webダウンロードURLの通知方法を表示します。 有効期限変更 ボタン : webダウンロードの有効期限を変更します。 ダウンロードセンター ボタン : 各宛先毎のダウンロードセンター画面へ移動します。 パスワード入力ロック解除 ボタン : ダウンロードセンターのロックを解除します。認証失敗回数の上限を超過してロックされた場合に表示されます。
11	【パスワード設定】 パスワードに関する設定 パスワード : 付与されたパスワードを表示します。 ヒント : パスワードのヒントを表示します。  メモ 管理者側でパスワードが「なし」で設定されている宛先の場合、パスワードには「なし」が表示されます。
12	【添付ファイル】 添付ファイルに関する設定 最下段の表示 : 左から「ファイル名」「ファイルサイズ」「ダウンロードが行われた回数」を表示します。 ロック ボタン : webダウンロードをロックしてダウンロードできなくします。 削除 ボタン : 添付ファイル(ダウンロード化されたファイル)を削除します。 この宛先の全ファイルをロック ボタン : 表示されている全てのファイルをロックします。 この宛先の全ファイルを削除 ボタン : 表示されている全てのファイルを削除します。
13	【閉じる ボタン】 画面を閉じます。

5.5.2 送信後メール詳細画面 2

パスワード通知メールの配送後、及びダウンロードURL通知メールを別メールにて配送の場合、各通知メールの配送後に、送信後メール詳細画面に配送された日時を示すステータス欄が追加され確認する事ができます。

**注意**

こちらの各通知メールのステータス欄が追加された送信後メール詳細画面は、追加される前の画面と同じ画面になります。ここでは各通知メールのステータス欄のみに焦点をあてた説明とします。追加される前の画面説明は前述 [\[送信後メール詳細画面\]](#) を参照して下さい。

送信後メール詳細

件名	お疲れ様です。お見積りの資料、及び特記事項の資料を送付致します。		
送信者	a001@ah80.example.jp		
送信日時	2011年12月15日 17:49:04		
添付ファイル	■■■■様向けお見積書.pdf		

宛先別配送状況

a005@ah80.example.jp			
添付ファイル暗号化設定	狐卷子	zip	zipして暗号化 しない
Dateヘッダ変換	次の日時に変換されました 2011年12月15日 17:50:06		
配送ステータス	配送状態	配送済	配送メッセージ 250 2.0.0 Ok: queued as S9399D80A76
配送日時	配送開始	2011-12-15 17:50:06	配送完了 2011-12-15 17:50:07
Webダウンロード設定	有効期限	2011年12月22日 17:50	URL通知 別メールで配送 有効期限変更
ダウンロードセンター			
WebダウンロードURL通知配送ステータス	配送状態	配送済	配送メッセージ 250 2.0.0 Ok: queued as 80D2D80A77 1
WebダウンロードURL通知配送日時	配送開始	2011-12-15 17:50:08	配送完了 2011-12-15 17:50:09 2
パスワード設定	パスワード	daidaidai5	ヒント なし 3
パスワード通知配送ステータス	配送状態	配送済	配送メッセージ 250 2.0.0 Ok: queued as C83D90A76 4
パスワード通知配送日時	配送開始	2011-12-15 17:50:31	配送完了 2011-12-15 17:50:31

2011121504689051.zip サイズ:118.83KB ダウンロード:0回 ロック 削除

この宛先の全ファイルをロック
この宛先の全ファイルを削除

全ての宛先の全ファイルをロック
全ての宛先の全ファイルを削除

1	【WebダウンロードURL通知配送ステータス】
<p>WebダウンロードURL通知メールの配送に関する表示</p> <p>配送状態 : 配送ステータスを表示します。</p> <p>配送メッセージ : 配送先からのメッセージを表示します。</p>	
2	【WebダウンロードURL通知配送日時】
<p>WebダウンロードURL通知メールの配送時刻に関する表示</p> <p>配送開始 : 配送が開始された日時を表示します。</p> <p>配送完了 : 配送が完了した時刻を表示します。</p>	
3	【パスワード通知配送ステータス】
<p>パスワード通知メールの配送に関する表示</p> <p>配送状態 : 配送ステータスを表示します。</p> <p>配送メッセージ : 配送先からのメッセージを表示します。</p>	
4	【パスワード通知配送日時】
<p>パスワード通知メールの配送時刻に関する表示</p> <p>配送開始 : 配送が開始された日時を表示します。</p> <p>配送完了 : 配送が完了した時刻を表示します。</p>	

5.6 配送メール一覧（宛先別）

システム管理者画面：【メール一覧】>【配送メール一覧（宛先別）】

Active!gate SSを経由して配送されたメールの一覧を表示します。ここでの表示は宛先単位です。
 ユーザ登録されていないユーザからのメールは一覧に表示されません。

表示・検索機能

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。) 全て 全てを選択。
②	【配送状況】 配送状況を選択します。 全て 全てを選択。 配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。 配送中 配送中のメールのみ対象として選択。 配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。
③	【検索ボタン】 検索を実行します。
④	【高度な検索ボタン】 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。 送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。
⑤	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑥	【送信日時】 送信日時を表示。
⑦	【件名】 件名を表示。
⑧	【受信者】 受信者名を表示。
⑨	【配送状況】 配送状況を表示。
⑩	【送信者】 送信者名を表示。
⑪	【<input type="checkbox"/>▼ / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

5.7 通知メール一覧

システム管理者画面【メール一覧】>【通知メール一覧】

配送処理以降の通知メールの一覧を表示します

メール一覧 / 通知メール

通知メール一覧

配送処理以降の通知メールの一覧を表示します。

表示期間: 2009-07-02 11時 ~ 2009-07-02 12時 全て

配送状況: 全て

検索 高度な検索 表示 10 件

送信日時 (元メール)	件名 受信者	配送状況
11:40:17 (11:40:11)	【配送保留】見積りの件 suzuki@ag.example.jp	送信者 配送済 (11:40:18) suzuki@ag.example.jp
11:39:47 (11:39:37)	【配送保留】送りますね tanaka@ag.example.jp	配送済 (11:39:48) tanaka@ag.example.jp
11:35:45 (11:35:38)	【配送拒否】2つめのデータ送ります。 tanaka@ag.example.jp	配送済 (11:35:46) tanaka@ag.example.jp
11:32:34 (11:32:26)	【配送保留】データ送ります。 tanaka@ag.example.jp	配送済 (11:32:35) tanaka@ag.example.jp
11:29:53 (11:29:49)	【配送保留】先程の件 suzuki@ag.example.jp	配送済 (11:29:55) suzuki@ag.example.jp

表示・検索機能

①	<p>【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)</p>
②	<p>【配送状況】 配送状況を選択します。</p> <p>全て 全てを選択。 配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。 配送中 配送中のメールのみ対象として選択。 配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。</p>
③	<p>【検索ボタン】 検索を実行します。</p>
④	<p>【高度な検索ボタン】 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。</p> <p>送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。 受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。 件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。</p>
⑤	<p>【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。</p>

表示一覧

⑥	<p>【送信日時】 送信日時を表示。</p>
---	-----------------------------------

7	【件名】 件名を表示。
8	【受信者】 受信者名を表示。
9	【配送状況】 配送状況を表示。
10	【送信者】 送信者名を表示。
11	【<input type="checkbox"/> / 1 : ページ】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

6 システム情報

システム管理者画面【システム情報】

システム情報ではサーバリソースの情報を含めアクセス状況等 Active!gate SSの様々な情報を管理します。

6.1 管理者アクセス状況

システム管理者画面【システム情報】【管理者アクセス状況】

システム管理者画面へのログイン履歴を表示します。

番号	ログイン日時	ログインID	接続元IPアドレス	ログアウト日時
1	2010年04月05日 10時48分48秒	admin	192.168.1.81	2010年04月05日 10時48分48秒
2	2010年04月05日 10時48分06秒	admin	192.168.1.99	2010年04月05日 10時48分06秒

システム管理者画面へのアクセス状況

①	【表示】 リストの一度に表示される件数を設定します。
②	【番号】 上から昇順で番号を表示します。
③	【ログイン日時】 システム管理者画面へのログインを行った日時を表示します。
④	【ログインID】 ログインを行ったシステム管理者IDを表示します。
⑤	【接続元IPアドレス】 ログインを行った接続元のIPアドレスを表示します。
⑥	【ログアウト日時】 ログアウトを行った日時を表示します。 ログアウト ボタンよりログアウトを行わなかった場合、日時は表示されません。
⑦	【▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を越えた場合、複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。 10件以上のリストがある場合、複数ページに分割します。

6.2 ユーザアクセス状況

システム管理者画面【システム情報】【ユーザアクセス状況】

ユーザのパーソナルコントローラへのログイン履歴を表示します。

システム情報 / ユーザアクセス状況			
パーソナルコントローラへのアクセス状況			
ログインID: <input type="text"/>		検索	表示 5 件
番号	ログイン日時	ログインID	接続元IPアドレス
1	2009年06月24日 19時49分16秒	user01@example.jp	192.168.1.80
2	2009年06月24日 19時49分15秒	user01@example.jp	192.168.1.80
3	2009年06月24日 19時49分02秒	user01@example.jp	192.168.1.80
4	2009年06月24日 19時49分01秒	user01@example.jp	192.168.1.80
5	2009年06月24日 12時49分32秒	a001@sh39.example.jp	192.168.1.80
ページ 1 / 2			

パーソナルコントローラへのアクセス状況

①	【番号】 上から昇順で番号を表示します。
②	【ログイン日時】 パーソナルコントローラ画面へのログインを行った日時を表示します。
③	【ログインID】 ログインを行ったログインIDを表示します。
④	【接続元IPアドレス】 ログインを行った接続元のIPアドレスを表示します。
⑤	【<input type="checkbox"/> / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。 10件以上のリストがある場合、複数ページに分割します。
⑥	【表示】 リストの一度に表示される件数を設定します。

【検索メニュー】 一覧からログインIDを使用して検索を行います。

⑦	【ログインID (キーワード入力欄)】 検索したいログインIDを入力します。
⑧	【<input type="button" value="検索"/> ボタン】 一覧から入力されたキーワードを使った検索・抽出表示を行います。

7 統計情報

システム管理者画面【統計情報】

Active!gate SSで処理されたメールについて、その統計を様々な視点で表示します。

7.1 メール数統計

システム管理者画面【統計情報】【メール数統計】

Active!gate SSが現在までに受付・送信した全ての送信メールについて、その統計を様々な項目に分け表示します。

統計情報 / メール数統計 CSVダウンロード

メール数統計

送信メール数の統計を表示します。上段が受け付けたメール数の単位、下段が配達した宛先の単位となります。

表示期間: 2011-02-16 ~ 2011-02-23 全て

表示単位: 日 単位

ドメイン: 全て ah80.example.jp

検索 高度な検索 表示 10 件

単位:日	IN(Fromベース統計)										承認メール(Fromベース統計)						OUT(宛先ベース統計)				
	接続数										承認対象			承認なし			配送メール数(宛先別)				
	受付エラーメール数		受付メール数				保留				承認待ち	承認作業中	承認済	差し戻し	承認期間経過後削除	承認不交	非承認対象者メール	配送済	配送中	配送失敗	
	ドメイン拒否	メールドメイン拒否	その他エラー	途中で接続断	送信拒否	保留中	保留	保留期間経過後削除	保留期間経過後配送	保留なし	普通に配送	未登録ドメイン配送									
02月23日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
02月22日	4	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
02月21日	11	7	0	0	7	0	0	4	0	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0

ページ 1 / 1

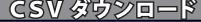
表示・検索機能

表示・検索機能を使用し、統計を様々な項目に分け表示させる機能です。

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)
②	【表示単位】 一覧の表示単位を(日/月)から選択します。
③	【ドメイン】 高度な検索 ボタンをクリックすると現れます。(対象を全ドメインか選択したドメインのみを設定します。)
④	【検索ボタン】 検索を実行します。
⑤	【高度な検索ボタン】 対象ドメインを絞って検索を用いる時に使用します。
⑥	【表示】 リストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

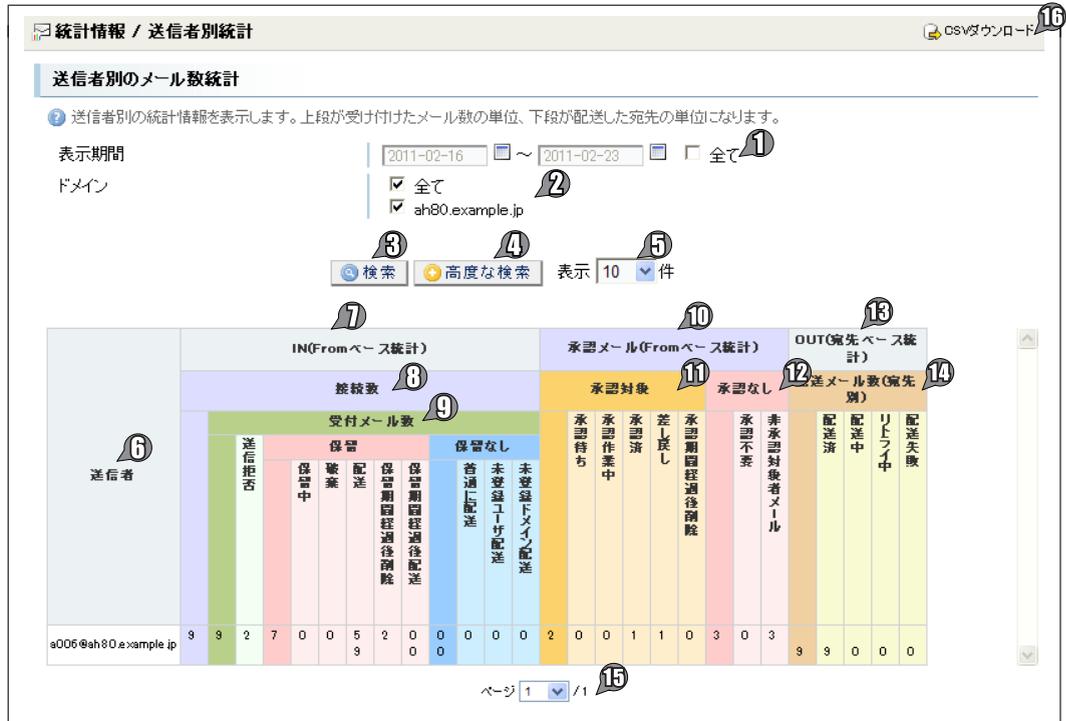
7	【単位】 日または月：日・月毎に区切られ表示します。
8	【IN (Fromベース統計)】 メール送信に関する各項目別統計
9	【接続数】 Active!gate SSへのSMTP接続数
10	【受付エラーメール数】 送信リレーの際に Active!gate SSで受信エラーとなったメール数・SMTP接続数 ドメイン拒否 Fromのドメインが登録されていないドメインからのメール数 メールアドレス拒否 Fromが拒否対象のメール数 IP拒否 送信許可IP範囲外からの接続数 その他エラー その他何らかのエラーで拒否されたメール数 途中で接続断 途中で接続断となった接続数
11	【受付メール数】 送信リレーの際に Active!gate SSで受信(受付)したメール数 送信拒否 送信拒否ポリシー等で送信拒否されたメール数 保留 保留された全体のメール数 保留中 保留中のメール数 破棄 破棄されたメール数 配送 配送されたメール数「2段目：その内ユーザ数」 保留期間経過後削除 保留期間経過後に削除されたメール数 保留期間経過後配送 保留期間経過後に配送されたメール数「2段目：その内ユーザ数」 保留なし 保留せず“受付けた”全体のメール数「2段目：その内“宛先数”」 普通に配送 保留ポリシーに該当せず“受付けた”メール数 未登録ユーザ配送 Active!gate SSに未登録のユーザからの送信で“受付けた”メール数 未登録ドメイン配送 Active!gate SSに未登録のドメインからの送信で“受付けた”メール数
12	【承認メール (Fromベース統計)】 承認メールに関する各項目別統計
13	【承認対象】 承認対象となった全体のメール数 承認待ち 承認が行われていない承認待ちのメール数 承認作業中 現在承認作業中のメール数 承認済 承認作業が完了し、承認済みとなったメール数 差し戻し 承認作業が完了し、差し戻しとなったメール数 承認期間経過後削除 承認作業が行われず、承認期間経過後に削除されたメール数
14	【承認なし】 承認対象外となった全体のメール数 承認不要 承認不要となったメール数 非承認対象者メール 非承認対象者のメール数
15	【OUT (宛先ベース統計)】 メール配送に関するメールのステータス毎統計 (TOベース) TOベースとはそのメールに含まれる宛先 (TO) 毎の集計を意味します。

16	【 配送メール数 (宛先別) 】 配送メールの合計数 (TO別) 配送済 配送が完了したメール数 (TO別) 配送中 配送中のメール数 (TO別) リトライ中 再配送中のメール数 (TO別) 配送失敗 配送が失敗したメール数 (TO別)
17	【  / 1 : ページ 】 リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。
18	【  CSV ダウンロード ボタン 】 統計データをCSV形式ファイルにてダウンロードする事が可能です。

7.2 送信者別統計

システム管理者画面【統計情報】【送信者別統計】

Active!gate SSが現在までに送信した全ての送信メールについて、送信者毎の統計を様々な項目に分け表示します。未登録ユーザのメールも表示しますが、未登録ドメインのメールは表示されません。



表示・検索機能

表示・検索機能を使用し、統計を様々な項目に分け表示させる機能です。

①	【表示期間】 表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)
②	【ドメイン】 高度な検索ボタンをクリックすると現れます。(対象を全ドメインか選択したドメインのみかを設定します。)
③	【検索ボタン】 検索を実行します。
④	【高度な検索ボタン】 対象ドメインを絞って検索を用いる時に使用します。
⑤	【表示】 リストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

⑥	【送信者】 送信者ごとに表示します。
⑦	【IN (Fromベース統計)】 メール送信に関する各項目別統計
⑧	【接続数】 Active!gate SSへのSMTP接続数

9	<p>【受付メール数】</p> <p>送信リレーの際に Active!gate SSで受信（受付）したメール数</p> <p>送信拒否 送信拒否ポリシー等で送信拒否されたメール数</p> <p>保留 保留された全体のメール数</p> <p>保留中 保留中のメール数</p> <p>破棄 破棄されたメール数</p> <p>配送 配送されたメール数「2段目：その内ユーザ数」</p> <p>保留期間経過後削除 保留期間経過後に削除されたメール数</p> <p>保留期間経過後配送 保留期間経過後に配送されたメール数「2段目：その内ユーザ数」</p> <p>保留なし 保留せず“受付けた”全体のメール数「2段目：その内“宛先数”」</p> <p>普通に配送 保留ポリシーに該当せず“受付けた”メール数</p> <p>未登録ユーザ配送 Active!gate SSに未登録のユーザからの送信で“受付けた”メール数</p> <p>未登録ドメイン配送 Active!gate SSに未登録のドメインからの送信で“受付けた”メール数</p>
10	<p>【承認メール（Fromベース統計）】</p> <p>承認メールに関する各項目別統計</p>
11	<p>【承認対象】</p> <p>承認待ち 承認が行われていない承認待ちのメール数</p> <p>承認作業中 現在承認作業中のメール数</p> <p>承認済 承認作業が完了し、承認済みとなったメール数</p> <p>差し戻し 承認作業が完了し、差し戻しとなったメール数</p> <p>承認期間経過後削除 承認作業が行われず、承認期間経過後に削除されたメール数</p>
12	<p>【承認なし】</p> <p>承認対象外となった全体のメール数</p> <p>承認不要 承認不要となったメール数</p> <p>非承認対象者メール 非承認対象者のメール数</p>
13	<p>【OUT（宛先ベース統計）】</p> <p>メール配送に関するメールのステータス毎統計（TOベース）</p> <p>TOベースとはそのメールに含まれる宛先（TO）毎の集計を意味します。</p>
14	<p>【配送メール数（宛先別）】</p> <p>配送メールの合計数（TO別）</p> <p>配送済 配送が完了したメール数（TO数）</p> <p>配送中 配送中のメール数（TO数）</p> <p>リトライ中 再配送中のメール数（TO数）</p> <p>配送失敗 配送が失敗したメール数（TO数）</p>
15	<p>【 / 1 : ページ】</p> <p>リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。</p>
16	<p>【 ダウンロード ボタン】</p> <p>統計データをCSV形式ファイルにてダウンロードする事が可能です。</p>

8 承認設定

システム管理者画面【承認設定】

ここからは Active!gate SS の「上司承認機能」について、承認機能を使用する場合の設定を説明します。

8.1 承認者設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者設定】

Active!gate SS を使用する承認者の設定・管理を行います。各ユーザ毎に使用機能を選択して登録します。

承認者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された承認者を一覧から選択し行います。

①	【承認者】 承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。
②	【承認者設定画面】 パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面表示の有無を設定します。「見せる」に設定した場合、その承認者はパーソナルコントローラ側で新たな承認者を設定できます。パーソナルコントローラ側で設定された内容もこの画面に反映します。 見せる パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面を表示させます。 見せない パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面を表示させません。
③	【追加時の通知メール発送】 承認者として設定するユーザに対し、承認者設定のメールを配信する事ができます。 追加 ボタンを押し設定を確定した際に配信します。 配信する 承認者設定のメールを配信します。 配信しない 承認者設定のメールを配信しません。

④	【追加ボタン】
	入力した情報を登録します。
⑤	【更新ボタン】
	一覧から選択した設定内容を更新します。
⑥	【キャンセルボタン】
	設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

⑦	【検索対象】
	検索対象をセレクトボックスから選択します。 承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。
⑧	【キーワード欄】
	検索対象とするキーワードを入力します。
⑨	【検索ボタン】
	検索を実行します。

【設定一覧】 登録された承認者を一覧で表示します。

⑩	【表示】
	登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑪	【削除ボタン】
	一覧から承認者を選択して削除を行います。
⑫	【▼/1：ページ】
	登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.2 承認者制限設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者制限設定】

登録できる承認者、代理者、不在代理者を制限する事ができます。
ここで設定をしない場合、全ての登録ユーザを承認者、代理者、不在代理者として設定する事が可能になります。

承認者制限設定 新規登録

承認者を登録します。

1	<p>【制限の使用】</p> <p>承認者制限設定の使用を設定します。</p> <p>制限する 制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに承認者設定の欄で設定されているユーザが存在した場合、自動で設定一覧にインポートします。</p> <p>制限しない 制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な警告が出力します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての承認者が削除します。</p>
2	<p>【承認者】</p> <p>承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
3	<p>【OK ボタン】</p> <p>画面上の全ての設定した内容を確定させます。</p>

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

④	【検索対象】 検索対象をセレクトボックスから選択します。 承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。
⑤	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
⑥	【ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 登録された承認者を一覧で表示します。

⑦	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑧	【ボタン】 一覧から承認者を選択して削除を行います。
⑨	【 / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

不在代理者制限設定 新規登録

不在代理者を登録します。

1	<p>【制限の使用】</p> <p>不在代理者制限設定の使用を設定します。</p> <p>制限する 制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに不在代理者設定の欄で設定されているユーザが存在し、かつそのユーザの不在代理期間の終了日時が現在時刻より未来だった場合、自動で設定一覧にインポートします。</p> <p>制限しない 制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な警告が出力します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての不在代理者が削除します。</p>
2	<p>【不在代理者】</p> <p>不在代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
3	<p>【OK ボタン】</p> <p>画面上の全ての設定した内容を確定させます。</p>
【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。	
4	<p>【検索対象】</p> <p>検索対象をセレクトボックスから選択します。</p> <p>不在代理者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 不在代理者名 検索対象を承認者名で指定します。</p>
5	<p>【キーワード欄】</p> <p>検索対象とするキーワードを入力します。</p>

⑥	【検索ボタン】 検索を実行します。
【設定一覧】登録された不在代理者を一覧で表示します。	
⑦	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑧	【削除ボタン】 一覧から承認者を選択して削除を行います。
⑨	【<input type="checkbox"/> / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

代理者制限設定 新規登録

代理者を登録します。

1	<p>【制限の使用】</p> <p>代理者制限設定の使用を設定します。</p> <p>制限する 制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに代理者設定の欄で設定されているユーザが存在した場合、自動で設定一覧にインポートします。</p> <p>制限しない 制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な警告が出力します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての代理者が削除します。</p>
2	<p>【代理者】</p> <p>代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
3	<p>【OK ボタン】</p> <p>画面上の全ての設定した内容を確定させます。</p>
【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。	
4	<p>【検索対象】</p> <p>検索対象をセレクトボックスから選択します。</p> <p>代理者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 代理者名 検索対象を承認者名で指定します。</p>
5	<p>【キーワード欄】</p> <p>検索対象とするキーワードを入力します。</p>
6	<p>【検索 ボタン】</p> <p>検索を実行します。</p>

【設定一覧】登録された代理者を一覧で表示します。

7	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
8	【  削除 ボタン】 一覧から承認者を選択して削除を行います。
9	【  ▼ / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.3 必須チェック項目

システム管理者画面【承認設定】【必須チェック項目】

承認者が承認作業中、必ず確認しなければならない項目を設定することができます。各項目にはバルーンが表示されバルーン表示内のチェックを行う必要があります。



注意

チェックを入れた項目は必須となり、バルーン表示内の **OK** ボタンを押さない限り承認済みの対象となりません。

①	【件名】 承認メールの件名を確認する項目とします。
②	【送信日時】 承認メールの送信日時（予約送信日時も含む）を確認する項目とします。
③	【送信者】 送信者を確認する項目とします。
④	【宛先】 宛先（添付ファイル暗号化/webダウンロードも含む）を確認する項目とします。
⑤	【本文】 本文を確認する項目とします。
⑥	【添付ファイル】 添付ファイルを確認する項目とします。
⑦	【添付ファイルがない場合も確認する】 添付ファイルがない場合も確認する項目とします。
⑧	【OKボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

8.4 承認ポリシー

システム管理者画面：【承認設定】【承認ポリシー】

承認ポリシーと呼ばれる条件の設定を行う事で、承認あり・なしの設定、承認待ち期間や代理者選択機能の設定の他、各種の承認通知メールの配信の設定等様々な機能がご利用可能です。以下に各承認ポリシー設定画面ごとに説明致します。

8.4.1 システムポリシー（強制）

システム管理者画面：【承認設定】【承認ポリシー】【システムポリシー（強制）】

システム全体に有効となるポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。設定を行った項目についてはパーソナルコントローラでユーザが設定を行えなくなるよう表示されなくなります。

ご利用開始直後は何も設定されていません。各項目の左のチェックボックスにチェックを入れる事によって機能致します。

1	<p>【承認ポリシー】</p> <p>承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。</p> <p>承認あり 機能を使用します。 承認なし 機能を使用しません。</p>
2	<p>【承認者をCc/Bccに追加】</p> <p>承認が行われた際に、承認者のメールアドレスをCcまたはBccに自動的に追加して送信します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 代理者または不在代理者が承認を行った際も自動追加されますが、追加されるのは常に元の承認者のメールアドレスです。 承認者のメールアドレスと同一のメールアドレスが元メールのTo/Cc/Bccいずれかに存在する場合は自動追加せず、承認者のメールアドレス宛に「追加する件名」と「追加する本文」の内容を追加して送信されます。 </div> <p>Ccに追加する Ccに追加し送信します。 Bccに追加する Bccに追加し送信します。 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません</p> <p>追加する件名 追加する承認者宛てのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。</p> <p>追加する本文 追加する承認者宛てのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p>
3	<p>【OK ボタン】</p> <p>画面上の全ての設定した内容を確定させます。</p>

8.4.2 管理者ポリシー（強制）

システム管理者画面【承認設定】>【承認ポリシー】>【管理者ポリシー（強制）】

管理者のみが設定するポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。

**注意**

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、本マニュアルの各ポリシーの章内での説明は省略させて頂きます。

【共通設定項目の省略対象となる画面】

- 承認ポリシー / グループポリシー（強制）
- 承認ポリシー / 承認者ユーザポリシー
- 承認ポリシー / グループポリシー（標準）
- 承認ポリシー / 管理者ポリシー（標準）

ポリシー新規登録/更新

更新については既に登録された承認ポリシーを一覧から選択し行います。

承認設定 / 承認ポリシー / 管理者ポリシー(強制)

管理者ポリシー(強制) 新規登録

承認ポリシーの設定を行います。
条件に一致したメールの場合、対象の宛先に対して、メールを承認するか、承認せず配送するかを設定できます。

このポリシーはユーザのポリシーより優先されます。

ポリシー名

条件設定

ポリシーを適用する条件を設定します。

常に

ポリシー

条件に一致したメールを承認するか、承認せず配送するかを設定します。

承認ポリシー 承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

承認者をCc/Bccに追加 承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信することができます。

優先度設定

ポリシーは優先度の高い(数字の小さい)順に適用されます。

優先度

ポリシー名 表示 10 件

優先度	ポリシー名	有効
<input type="checkbox"/>	管理者(強制)承認_110223_101721	無効
<input type="checkbox"/> 1	常に、全被承認者に対しては承認あり。 全被承認者に対しては承認者をCcに追加する。	有効

ページ 1 / 1

- | | |
|----------|--|
| 1 | 【ポリシー名】
ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。 |
| 2 | 【条件設定】
ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 266ページ:「承認ポリシー条件設定」を参照して下さい。 |

③	【承認ポリシー】 承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。 承認あり 機能を使用します。 承認なし 機能を使用しません。
④	【承認者をCc/Bccに追加】 承認が行われた際に、承認者のメールアドレスをCcまたはBccに自動的に追加して送信します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  メモ <ul style="list-style-type: none"> • 代理者または不在代理者が承認を行った際も自動追加されますが、追加されるのは常に元の承認者のメールアドレスです。 • 承認者のメールアドレスと同一のメールアドレスが元メールのTo/Cc/Bccいずれかに存在する場合は自動追加せず、承認者のメールアドレス宛に「追加する件名」と「追加する本文」の内容を追加して送信されます。 </div> Ccに追加する Ccに追加し送信します。 Bccに追加する Bccに追加し送信します。 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません <p>追加する件名 追加する承認者宛でのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。</p> <p>追加する本文 追加する承認者宛でのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。</p>
⑤	【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。
⑥	【追加ボタン】 登録します。
⑦	【更新ボタン】 一覧から選択したポリシー内容を更新します。
⑧	【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。
【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。	
⑨	【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
⑩	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
⑪	【検索ボタン】 検索を実行します。
【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。	
⑫	【優先度】 優先度の表示。
⑬	【ポリシー名】 ポリシー名の表示。

14	【ポリシー】 ポリシー内容の表示。
15	【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。
16	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
17	【削除 ボタン】 一覧からポリシーを選択して削除を行います。
18	【<input type="checkbox"/> / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.4.3 グループポリシー（強制）

システム管理者画面：【承認設定】>【承認ポリシー】>【グループポリシー（強制）】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザには強制的適用されるポリシーです。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、255ページ：管理者ポリシー（強制）を参照して下さい。

グループポリシー（強制）画面で「対象グループ」を選択するセレクトボックスからグループを指定した後、ポリシーを設定する事が可能です。

8.4.4 承認者ユーザポリシー設定

システム管理者画面：【承認設定】>【承認ポリシー】>【承認者ユーザポリシー】

各ユーザがパーソナルコントローラを使用して自分だけのポリシーを設定することができます。それがこの承認者ユーザポリシーです。管理者も設定する事が可能な為、システム管理者画面上に設定画面を設けてあります。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、255ページ：管理者ポリシー（強制）を参照して下さい。

承認者ユーザポリシー画面で「対象ユーザ」を選択するセレクトボックスからユーザを指定した後、ポリシーを設定する事が可能です。

8.4.5 グループポリシー（標準）

システム管理者画面：【承認設定】>【承認ポリシー】>【グループポリシー（標準）】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザはユーザポリシー等で書きやしないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、前述 承認ポリシー / 管理者ポリシー（強制）を参照して下さい。グループポリシー（標準）画面で「対象グループ」を選択するセレクトボックスからグループを指定した後、ポリシーを設定する事が可能です。

8.4.6 管理者ポリシー（標準）

システム管理者画面：【承認設定】>【承認ポリシー】>【管理者ポリシー（標準）】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザは承認者ユーザポリシー等で書きやしないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、255ページ：管理者ポリシー（強制）を参照して下さい。

8.4.7 システムポリシー（標準）

システム管理者画面【承認設定】>【承認ポリシー】>【システムポリシー（標準）】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザは承認者ユーザポリシー等で上書きやしないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。

デフォルト承認者設定

承認設定 / 承認ポリシー / システムポリシー(標準)

システムポリシー(標準)

システムの標準ポリシーの設定を行います。

管理者ポリシー、グループポリシー、承認者ポリシーにマッチしなかったメールや宛先には、ここで設定した内容が適用されます。

▶ デフォルト承認者設定

デフォルト承認者

承認者がいないユーザのメールを承認する承認者を設定します。

①

【デフォルト承認者】

承認者、もしくは被承認者として登録されていないユーザのメールを承認する承認者を設定します。

承認ポリシー設定

▶ 承認ポリシー設定

承認ポリシー

承認待ち期間

承認あり 承認なし

承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

3 時間 (5分～3日)

承認期限までの期間を設定します。期間が経過するとメールはエラーメールとしてバウンスされます。

承認ポリシーの基本的な設定を行います。

①

【承認ポリシー】

承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

承認あり 機能を使用します。

承認なし 機能を使用しません。

②

【承認待ち期間】

送信者（被承認者）が送ったメールを承認するまでの期間の設定を行います。[]（分/時間/日）

設定された期間内に承認されなかった場合、メールは承認期間経過後削除となり、エラーメールとしてバウンスします。

Cc/Bccポリシー

▶ Cc/Bccポリシー

承認者をCc/Bccに追加

Ccに追加する
 Bccに追加する
 追加しない
 

承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信することができます。

▼追加する件名
 ▼追加する本文

1 【承認者をCc/Bccに追加】

CcやBccに承認を行った際の承認者（代理者・不在代理者も含む）のメールアドレスを自動的に追加して送信します。

CcやBccに自動追加するアドレスと同一のアドレスが元メールに存在する場合、重複して宛先に追加されることはありません。「追加する件名」や「追加する本文」は、自動追加に設定されている全アドレスに対して追加されます。

Ccに追加する Ccに追加し送信します。
 Bccに追加する Bccに追加し送信します。
 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません

追加する件名
 追加する承認者宛でのメールにある件名先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。

追加する本文
 追加する承認者宛でのメールにある本文先頭に、ここで登録した文字列が追加されます。元メールの文字コードに変換して先頭に挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

承認待ち通知メール

▶ 承認待ち通知メール

承認待ち通知メール
(送信者宛)

配信する
 配信しない
 

メールが承認待ちになった場合、送信者に通知メールを配信することができます。

1 【承認待ち通知メール（送信者宛）】

メールが承認待ちになった場合、送信者（被承認者）に通知メールを配信することができます。

配信する 通知メールを配信します。
 配信しない 通知メールを配信しません。

承認依頼メール	
▶ 承認依頼メール	
承認者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^① 承認者が承認作業が必要になった場合に、その承認者に対し承認依頼メールを配信することができます。 ^②
不在代理者・代理者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない 不在代理者や代理者が承認作業が必要になった場合に、その不在代理者や代理者に対し承認依頼メールを配信する ^③ ことができます。
承認者宛 (リマインダーメール)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない 承認者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその承認者に対しリマインダーメールを配信することができます。 ^④
不在代理者・代理者宛 (リマインダーメール)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない 不在代理者や代理者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその不在代理者や代理者に対しリマインダーメールを配信することができます。 ^⑤
リマインダーの間隔と回数 (承認者宛)	リマインダー間隔 <input type="text" value="5"/> 分 <input type="button" value="v"/> (5分～3日) ^⑤ リマインダー回数 <input type="text" value="3"/> 承認者に配送するリマインダーの間隔と回数を設定することができます。
リマインダーの間隔と回数 (不在代理者・代理者宛)	リマインダー間隔 <input type="text" value="5"/> 分 <input type="button" value="v"/> (5分～3日) ^⑥ リマインダー回数 <input type="text" value="3"/> 不在代理者や代理者に配送するリマインダーの間隔と回数を設定することができます。

承認依頼メールについて基本的な設定を行います。

①	【承認者宛】 承認者が承認作業が必要になった場合、その承認者に対し承認依頼メールを配信する事ができます。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
②	【不在代理者・代理者宛】 不在代理者や代理者が承認作業が必要になった場合、その不在代理者や代理者に対し承認依頼メールを配信する事ができます。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
③	【承認者宛（リマインダーメール）】 承認者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその承認者に対しリマインダーメールを配信する事ができます。
④	【不在代理者・代理者宛（リマインダーメール）】 不在代理者や代理者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその不在代理者や代理者に対しリマインダーメールを配信する事ができます。
⑤	【リマインダーの間隔と回数（承認者宛）】 上記で設定された承認依頼リマインダーメール（承認者宛）の間隔と回数を設定します。 リマインダー間隔 [] (分/時間/日) リマインダー回数 []
⑥	【リマインダーの間隔と回数（不在代理者・代理者宛）】 上記で設定された承認依頼リマインダーメール（不在代理者・代理者宛）の間隔と回数を設定します。 リマインダー間隔 [] (分/時間/日) リマインダー回数 []

代理者選択機能

▶ 代理者選択機能

メールが承認待ちになった後、承認作業が開始されなかった場合、一定時間経過後に送信者が代理者を選択することができます。

承認代理者選択ボタン表示までの期間 分 (0分～30分) ①
代理者選択ボタンを何分後に表示させるかの設定をします。| 0分で設定した場合、初めから代理者選択が可能となります。

代理者選択可能通知メール (送信者宛) 配信する 配信しない ②
代理者が選択可能になった場合、送信者に通知メールを配信することができます。

承認権限移動通知メール 配信する 配信しない ③
承認権限が移動した場合、前の承認担当者に通知メールを配信する事ができます。

メールが承認待ちになった後、承認作業が開始されなかった場合、一定時間経過後に送信者（被承認者）が代理者を選択する事ができます。

①	【承認代理者選択ボタン表示までの期間】 代理者選択ボタンを何分後に表示させるかの設定を行います。[0分]で設定した場合、初めから代理者選択が可能となります。 表示までの期間 [] (分/時間/日)
②	【代理者選択可能通知メール（送信者宛）】 代理者が選択可能になった場合、送信者（被承認者）に通知メールを配信する事ができます。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
③	【承認権限移動通知メール】 送信者（被承認者）が代理として別の人を承認担当者に設定した場合、承認権限が移動した事により、直前の承認担当者に通知メールを配送する事ができます。新しく選択された承認担当者への通知は承認依頼メールの設定が使用します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。

承認済通知メール

▶ 承認済通知メール

承認担当者 (承認者宛) 配信する 配信しない ①
承認者が承認した場合、承認済みの通知メールをその承認者へ配信します。

承認担当者 (不在代理者・代理者宛) 配信する 配信しない ②
不在代理者 or 代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを承認を担当した不在代理者 or 代理者へ配信します。

承認者 配信する 配信しない ③
不在代理者 or 代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを元の承認者にも配信します。

送信者 配信する 配信しない ④
承認済みの通知メールを送信者にも配信します。

承認済通知メールについて基本的な設定を行います。

①	【承認担当者宛（承認者が担当の時）】 承認者が承認した場合、承認済みの通知メールをその承認者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
②	【承認担当者宛（不在代理者・代理者が担当の時）】 不在代理者や代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを承認を担当した不在代理者や代理者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。

③	【承認者宛】 不在代理者や代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを元の承認者に配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
④	【送信者宛】 承認済みの通知メールを送信者（被承認者）にも配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。

差戻し通知メール

▶ 差戻し通知メール

承認担当者宛 (承認者が担当の時)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^① <small>承認者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールをその承認者へ配信します。</small>
承認担当者宛 (不在代理者・代理者が担当の時)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^② <small>不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを承認を担当した不在代理者や代理者へ配信します。</small>
承認者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^③ <small>不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを元の承認者に配信します。</small>
送信者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する ^④ <small>差戻し通知メールは送信者には標準で送信されます。</small>

差戻し通知メールについて基本的な設定を行います。

①	【承認担当者（承認者が担当の時）】 承認者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールをその承認者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
②	【承認担当者（不在代理者・代理者が担当の時）】 不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを承認を担当した不在代理者や代理者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
③	【承認者宛】 不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを元の承認者に配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
④	【送信者宛】 差戻し通知メールは送信者（被承認者）には標準で送信します。 配信する 通知メールを配信します。

承認期間経過通知メール	
▶ 承認期間経過通知メール	
承認担当者宛 (承認者が担当の時)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^① 承認者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールをその承認者へ配信します。
承認担当者宛 (不在代理者・代理者が担当の時)	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^② 不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールをその不在代理者や代理者へ配信します。
承認者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^③ 不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールを元の承認者に配信します。
送信者宛	<input checked="" type="radio"/> 配信する ^④ 承認期間経過後の通知メールは送信者には標準で送信されます。

承認期間経過通知メールについて基本的な設定を行います。

①	【承認担当者宛（承認者が担当の時）】 承認者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールをその承認者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
②	【承認担当者宛（不在代理者・代理者が担当の時）】 不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールをその不在代理者や代理者へ配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
③	【承認者宛】 不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールを元の承認者に配信します。 配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。
④	【送信者】 承認期間経過後の通知メールは送信者（被承認者）には標準で送信します。 配信する 通知メールを配信します。

承認設定に関する通知メール	
▶ 承認設定に関する通知メール	
不在期間開始	<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない ^① 不在設定を行った場合、その不在代理者に対し、期間開始の通知メールを配信します。 この設定は設定された不在期間日の初日（午前0時）に配信されます。
	<input checked="" type="checkbox"/> DK ^②

承認設定に関する通知メールについて基本的な設定を行います。

- ① **【不在期間開始】**
不在代理者を設定する不在設定を行った場合、その不在代理者に対し、期間開始の通知メールを配信します。この設定は設定された不在期間日の初日（午前0時）に配信します。

配信する 通知メールを配信します。
配信しない 通知メールを配信しません。
- ② **【OK ボタン】**
全ての設定の確定（設定の反映には画面右上部の**設定反映** ボタンをクリックする必要があります。）



承認されたメールの本文に承認済み定型文を挿入することができます。

- ① **【承認済定型文】**
承認済定型文を挿入します。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。
本文の先頭 本文の先頭に挿入します。
本文の末尾 本文の末尾に挿入します。
挿入しない 挿入しません。
- ② **【承認済定型文の内容】**
承認済定型文の内容を設定します。標準 / 英語から選択します。
元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

8.4.8 承認ポリシー条件設定



メモ

各承認ポリシー画面の設定項目「条件設定」は、全て前述の「ポリシー設定」-「条件設定」と共通しています。紙面の都合上集約して記載致します。詳細は、前述 176ページ：「条件設定」を参照して下さい。



メモ

【添付ファイルの暗号化】及び【添付ファイルキーワード】について

「条件設定」にてご説明しています【添付ファイルの暗号化】及び【添付ファイルキーワード】につきまして、対応済みフォーマットや制限事項について、279ページ：「条件設定の補足」を参照して下さい。



メモ

【件名】のキーワード削除の判定基準について

承認ポリシーには、「配送時にキーワード削除」設定はありません。

8.5 承認者個別設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】

承認者個別設定で承認者に紐づく被承認者や不在代理者、代理者等の設定を行います。以下に各設定画面ごとに説明致します。

8.5.1 被承認者管理

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】【被承認者管理】

承認者毎の被承認者の設定を行います。ユーザ設定で登録されているユーザの中から被承認者を設定できます。



注意

別の承認者がすでに被承認者として登録を行っているユーザは登録できません。

被承認者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

①	【承認者】 被承認者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。
②	【被承認者】 承認者と紐付ける被承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。
③	【OK ボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

④	【検索対象】 検索対象をセレクトボックスから選択します。 承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。
⑤	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
⑥	【ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 登録された承認者とそれに紐付く被承認者を一覧で表示します。

⑦	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑧	【ボタン】 一覧から承認者を選択して削除を行います。
⑨	【 / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.5.2 不在設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】【不在設定】

承認者毎の不在代理者の設定を行います。ユーザ設定で登録されているユーザの中から不在代理者を設定できます。

不在設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

承認設定 / 承認者個別設定 / 不在設定

不在設定 新規登録

不在代理者の設定を行います。ユーザ設定で登録されているユーザの中から不在代理者を設定できます。

承認者

不在代理者

不在期間
 2011-02-14 0時0分から
 2011-02-14 0時0分まで

追加/更新の時の通知メール発送
 配信する 配信しない

上記で不在代理者として設定するユーザに対し、不在代理者設定のメールを配信することができます。

承認者メールアドレス 検索

<input type="checkbox"/>	承認者	不在代理者	不在期間
<input type="checkbox"/>	山田 太郎 (a003@ah80.example.jp)	山田 花子 (a006@ah80.example.jp)	2011-02-14 10:00から 2011-02-14 11:00まで

ページ 1 / 1

①	<p>【承認者】</p> <p>不在代理者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
②	<p>【不在代理者】</p> <p>承認者と紐付ける不在代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
③	<p>【不在期間】</p> <p>承認者に代わり不在代理者が承認者として承認を行う期間を設定します。 カレンダーのアイコンをクリックする事により、日付を選択し、セレクトボックスから時間を選択して下さい 不在期間の設定は同じユーザで複数登録可能ですが、同じ日付、同じ時間帯に不在代理者は複数設定できません。</p>
④	<p>【追加/更新の時の通知メール発送】</p> <p>不在代理者として設定するユーザに対し、不在設定のメールを配信する事ができます。 <input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 更新 ボタンを押し設定を確定した際に配信します。</p> <p>配信する 不在設定のメールを配信します。 配信しない 不在設定のメールを配信しません。</p>

5	【追加ボタン】
	入力した情報を登録します。
6	【更新ボタン】
	一覧から選択した設定内容を更新します。
7	【キャンセルボタン】
	設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

8	【検索対象】
	検索対象をセレクトボックスから選択します。 承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。
9	【キーワード欄】
	検索対象とするキーワードを入力します。
10	【検索ボタン】
	検索を実行します。

【設定一覧】 登録された承認者と、それに紐づく不在代理者、不在期間を一覧で表示します。

11	【表示】
	登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
12	【削除ボタン】
	一覧から承認者を選択して削除を行います。
13	【▼/1: ページ】
	登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.5.3 代理者設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】【代理者設定】

承認者毎の代理者の設定を行います。代理者を設定した場合、送信者（被承認者）は承認待ちメールが一定期間経過した後、承認担当者代理者の中から選択する事が可能になります。代理者はユーザ設定で登録されているユーザの中から設定できます。

代理者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

1	【承認者】 代理者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。
2	【代理者】 承認者と紐付ける代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。
3	【追加時の通知メール発送】 代理者として設定するユーザに対し、代理者設定のメールを配信する事ができます。 <input checked="" type="radio"/> OK ボタンを押し設定を確定した際に配信します。 配信する 代理者設定のメールを配信します。 配信しない 代理者設定のメールを配信しません。
4	【OK ボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】 設定した内容に対して検索を行います。

⑤	【検索対象】 検索対象をセレクトボックスから選択します。 承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。
⑥	【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。
⑦	【ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 登録された承認者と、それに紐づく代理者を一覧で表示します。

⑧	【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。
⑨	【ボタン】 一覧から承認者を選択して削除を行います。
⑩	【 / 1 : ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.5.4 承認通知メール設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】【承認通知メール設定】

承認者毎の通知メールの設定を行います。

パーソナルコントローラ画面でも設定可能で、設定された内容はこちらにも反映され変更も可能です。

チェックボックスがOFFの状態の時には、設定されている内容は承認ポリシー/システムポリシー（標準）で設定されている内容となります。

承認設定 / 承認者個別設定 / 承認通知メール設定

承認通知メール設定 新規登録

承認者毎の通知メールの設定を行います。
 チェックボックスがOFFの状態の時は、設定されている内容は承認ポリシー/システムポリシー（標準）で設定されている内容となります。

対象ユーザ **1** **2** **選択**

ユーザ名・メールアドレスを入力 **3**

承認依頼メール **4**
 受け取る 受け取らない

メールが承認待ちになった場合や、承認権限が移動してきた場合に、承認依頼メールを受け取ることができます。

承認依頼リマインダーメール **4**
 受け取る 受け取らない

承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にリマインダーメールを受け取ることができます。

リマインダーの間隔と回数 **5**
 リマインダー間隔 分 (5分 ~ 3日)
 リマインダー回数

リマインダーを送信する間隔と回数を設定することができます。

自分が処理したメールの承認済通知メール **6**
 代理者が処理したメールの承認済通知メール **7**
 自分が処理したメールの差戻し通知メール **8**
 代理者が処理したメールの差戻し通知メール **9**
 承認期間経過後削除の通知メール (自分が担当の場合) **10**
 承認期間経過後削除の通知メール (代理者・不在代理者が担当の場合) **11**

受け取る **6**
承認した場合、承認済みの通知メールを受け取ることができます。

受け取る **7**
不在代理者や代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを受け取ることができます。

受け取る **8**
差戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取ることができます。

受け取る **9**
不在代理者や代理者が差戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取ることができます。

受け取る **10**
自分が承認担当者の時に承認するメールが承認期間を過ぎた場合の通知メールを受け取ることができます。

受け取る **11**
代理者や不在代理者が承認担当者の時に承認するメールが承認期間を過ぎた場合の通知メールを受け取ることができます。

OK **12**

1	<p>【対象ユーザ】</p> <p>下部の設定を行う承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。</p>
2	<p>【(選択)ボタン】</p> <p>承認者の確定を行います。 既にその承認者が承認通知メール設定を行ってる場合、選択ボタンを押す事で、その承認者で登録されている設定を表示します。</p>
3	<p>【承認依頼メール】</p> <p>メールが承認待ちになった場合や、承認権限が移動してきた場合、承認依頼メールを受け取る事ができます。</p> <p>受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。</p>

④	【承認依頼リマインダーメール】 承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にリマインダーメールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑤	【リマインダーの間隔と回数】 上記で設定された承認依頼リマインダーメールの間隔と回数を設定します。 リマインダー間隔 [] (分/時間/日) リマインダー回数 []
⑥	【自分が処理したメールの承認済通知メール】 承認した場合、承認済みの通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑦	【代理者が処理したメールの承認済通知メール】 不在代理者 又は 代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑧	【自分が処理したメールの差戻し通知メール】 差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑨	【代理者が処理したメールの差戻し通知メール】 不在代理者 又は 代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑩	【承認期間経過後削除の通知メール（自分が担当の場合）】 自分が承認担当者の時に、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑪	【承認期間経過後削除の通知メール（代理者・不在代理者が担当の場合）】 不在代理者 又は 代理者が承認担当で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。
⑫	【OK ボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

8.6 インポート・エクスポート

システム管理者画面【承認設定】【インポート・エクスポート】

承認設定で設定された承認者や被承認者をエクスポートしCSVファイルとして管理したり、逆にCSVファイルで作成された承認者、被承認者の情報をインポートし一括で登録を行う設定画面です。

①	【承認者エクスポート】 登録された承認者をCSVファイルへエクスポートします。
②	【承認者インポート】 上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者インポートのCSVファイルをインポートします。 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。 OK ボタン 上記で指定したファイルで承認者インポートを開始します。
③	【承認者・被承認者エクスポート】 登録された承認者・被承認者をCSVファイルへエクスポートします。
④	【承認者・被承認者インポート】 上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者・被承認者インポートのCSVファイルをインポートします。 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。 OK ボタン 上記で指定したファイルで承認者・被承認者インポートを開始します。
⑤	【承認者・代理者エクスポート】 登録された承認者・代理者をCSVファイルへエクスポートします。
⑥	【承認者・代理者インポート】 上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者・代理者インポートのCSVファイルをインポートします。 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。 OK ボタン 上記で指定したファイルで承認者・代理者インポートを開始します。



メモ

【承認者インポートファイル作成について】
インポートファイルを作成する際は承認者として設定するメールアドレス、承認者設定画面の公開（0:見せない、1:見せる）をカンマ区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

```
a001@ah80.example.jp,0  
a002@ah80.example.jp,0  
a003@ah80.example.jp,1  
:  
:
```



メモ

【承認者・被承認者インポートファイル作成について】
インポートファイルを作成する際は承認者のメールアドレス、それに紐づく被承認者のメールアドレスをカンマ区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

```
a001@ah80.example.jp,b011@ah80.example.jp  
a001@ah80.example.jp,b012@ah80.example.jp  
a001@ah80.example.jp,b013@ah80.example.jp  
a002@ah80.example.jp,c021@ah80.example.jp  
a002@ah80.example.jp,c022@ah80.example.jp  
a003@ah80.example.jp,d031@ah80.example.jp  
:  
:
```



メモ

【承認者・代理者インポートファイル作成について】
インポートファイルを作成する際は承認者のメールアドレス、それに紐づく代理者のメールアドレスをカンマ区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

```
a001@ah80.example.jp,b011@ah80.example.jp  
a001@ah80.example.jp,b012@ah80.example.jp  
a002@ah80.example.jp,c021@ah80.example.jp  
a002@ah80.example.jp,c022@ah80.example.jp  
a003@ah80.example.jp,d031@ah80.example.jp  
a003@ah80.example.jp,d032@ah80.example.jp  
:  
:
```


付録A

Active!gate SSでの補足・制限事項に関して

1 条件設定の補足

176ページ:「条件設定」についての、いくつかの補足、制限事項をまとめました。

1.1 添付ファイルのキーワード検索について

添付ファイルのキーワード検索では添付ファイル内の「テキスト要素」が対象となります。

「読み取り(文書を開く際の)パスワード」が設定できるファイルの場合、パスワードを設定した状態では抽出できません。またヘッダ、フッタ、文書プロパティ情報、マクロ、htmlのタグ、javascriptなどのプログラムコードは抽出の対象にはなりません。予めご留意下さい。以下対応済み拡張子となります。

アプリケーション(Office version)	ファイル形式(拡張子)
Office 97 ~ 2003	Microsoft Office Word (.doc, .dot) Microsoft Office Excel (.xls, .xlt) Microsoft Office PowerPoint (.ppt, .pot)
Office 2007	Microsoft Office Word (.docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Office Excel (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft Office PowerPoint (.pptx, .pptm, .potx, .potm)
Office 2010	Microsoft Word (.docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.pptx, .pptm, .potx, .potm)
Office 2013	Microsoft Word (.docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.pptx, .pptm, .potx, .potm)
Office 2016	Microsoft Word (.docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.pptx, .pptm, .potx, .potm)
Office 2016 mac	Microsoft Word (.docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.pptx, .pptm, .potx, .potm)
補足/制限事項	Microsoft Office 2007形式(4桁の拡張子)の .xlsx につきましては、「ブックの保護」「シート構成」にてパスワードを設定した場合、抽出できません。

アプリケーション(OpenOffice version)	ファイル形式(拡張子)
OpenOffice.org 1.x	Writer (.sxw) Calc (.sxc) Impress (.sxi)
OpenOffice.org 2.x / 3.x	Writer (.odt) Calc (.ods) Impress (.odp)

アプリケーション(PDFソフトウェア名)	バージョン (拡張子)
Adobe Acrobat X	3.0 40bit RC4 (.pdf) 5.0 128bit RC4 (.pdf) 6.0 128bit RC4 (.pdf) 7.0 128bit AES (.pdf) X 256bit AES (.pdf)
justPDF3	128bit AES : バージョン 7 以降 (.pdf) 256bit AES : バージョン 9 以降 (.pdf) 256bit AES : バージョン X 以降 (.pdf)
Primo PDF	PDF バージョン 1.2(.pdf) PDF バージョン 1.3(.pdf) PDF バージョン 1.4(.pdf) PDF バージョン 1.5(.pdf)
補足/制限事項	PrimoPDFでは「PDFのセキュリティ」、Adobe Acrobatでは「パスワードによるセキュリティ」もしくは「外部公開鍵(証明書によるセキュリティ)」を設定した場合、抽出できません。

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
一太郎	一太郎Ver8以降(.jtd)

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
テキスト	テキスト形式(.txt, .csv) リッチテキスト形式(.html, .htm, .xml, .sgml)

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
アーカイバ	各種アーカイバ(.zip, .gz, .tar.gz)
補足/制限事項	各種アーカイバの中に格納されているファイルが対象です。「2回zip」などの複数回圧縮された場合は抽出の対象にはなりません。 また、パスワードが付与されたアーカイバの場合、複数回圧縮されていなくても抽出の対象にはなりません。

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
Microsoft Visio	Microsoft Visio 2000以降(.vsd)

1.2 添付ファイルの暗号化について

Microsoft Office 製品の場合：

Microsoft Office 製品（Excel,Word,PowerPoint）のファイルのうち、「暗号化されている」と判定されるファイルは、読み取りパスワード（文書を開くために必要なパスワード）を設定している場合に限定されます。Microsoft Office 製品（Excel,Word,PowerPoint）内で使用する「シートの保護」「ブックの保護」「文書の保護」「書式の制限」の機能が設定されていても、暗号化されていると判定されません。ご注意ください。

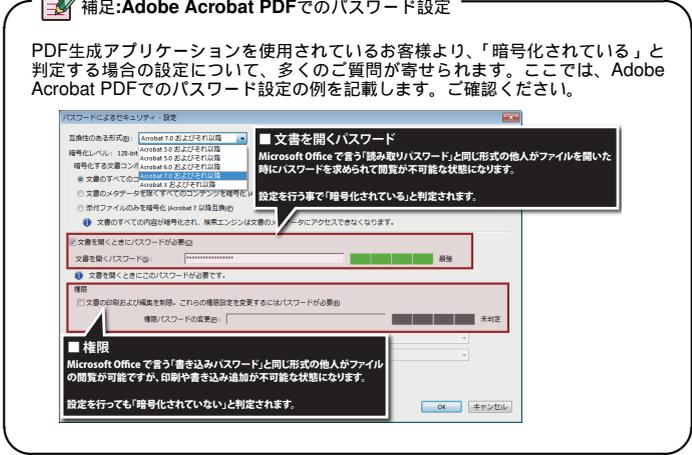
下記のフォーマットに対応していますが、実際のファイルの内容により暗号化されていると判定されない場合があります。あらかじめご了承ください。

アプリケーション(Office version)	ファイル形式 (拡張子)
Office 97 ~ 2003	Microsoft Office Word (.doc) Microsoft Office Excel (.xls) Microsoft Office PowerPoint (.ppt)
Office 2007	Microsoft Office Word (.doc, .dot, .docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Office Excel (.xls, .xlt, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .xltx, .xltm) Microsoft Office PowerPoint (.ppt, .pot, .pps, .pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
Office 2010	Microsoft Word (.doc, .dot, .docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xls, .xlt, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.ppt, .pot, .pps, .pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
Office 2013	Microsoft Word (.doc, .dot, .docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xls, .xlt, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.ppt, .pot, .pps, .pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
Office 2016	Microsoft Word (.doc, .dot, .docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xls, .xlt, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.ppt, .pot, .pps, .pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
Office 2016 mac	Microsoft Word (.doc, .dot, .docx, .docm, .dotx, .dotm) Microsoft Excel (.xls, .xlt, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .xltx, .xltm) Microsoft PowerPoint (.ppt, .pot, .pps, .pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
補足/制限事項	 <p>ほとんどのOffice製品では「名前を付けて保存」メニューの中に読み取りパスワードの設定項目があります。読み取りパスワードが設定されていると、ファイルを開いた際にパスワードを要求され、中身の閲覧が不可能なファイルと判定されます。書き込みパスワードが設定されている場合、アプリケーションによってはファイルを開いた際に注意を喚起させる場合もありますが、中身の閲覧が可能なファイルと判定されます。</p>

PDF 製品の場合：

PDF 生成アプリケーションソフト（Adobe Acrobat、Primo PDF など）にて、「暗号化されている」と判定されるファイルは、読み取りパスワード（文書を開くために必要なパスワード）を設定している場合に限定されます。PDF 生成アプリケーションで「権限」や「許可」の設定を行っても、暗号化されていると判定されません。ご注意ください。

下記のフォーマットに対応していますが、実際のファイルの内容により暗号化されていると判定されない場合があります。あらかじめご了承ください。

アプリケーション(PDFソフトウェア名)	暗号化設定を選択時の暗号化方式(拡張子)
Adobe Acrobat X	3.0 40bit RC4 (.pdf) 5.0 128bit RC4 (.pdf) 6.0 128bit RC4 (.pdf) 7.0 128bit AES (.pdf) X 256bit AES (.pdf) XI 256bit AES (.pdf)
Adobe Acrobat Pro DC	6.0 128bit RC4 (.pdf) 6.0 128bit RC4 (.pdf) 7.0 128bit AES (.pdf) 7.0 128bit AES (.pdf) X 256bit AES (.pdf)
justPDF3	128bit AES：バージョン 7 以降 (.pdf) 256bit AES：バージョン 9 以降 (.pdf) 256bit AES：バージョン X 以降 (.pdf)
Primo PDF	pdfバージョン 1.2 RC4 (.pdf) pdfバージョン 1.3 RC4 (.pdf) pdfバージョン 1.4 RC4 (.pdf) pdfバージョン 1.5 RC4 (.pdf)
補足/制限事項	<p> 補足:Adobe Acrobat PDFでのパスワード設定</p> <p>PDF生成アプリケーションを使用されているお客様より、「暗号化されている」と判定する場合の設定について、多くのご質問が寄せられます。ここでは、Adobe Acrobat PDFでのパスワード設定の例を記載します。ご確認ください。</p>  <p>文書を開くパスワード Microsoft Office で言う「読み取りパスワード」と同じ形式の他人がファイルを開いた時にパスワードを求められて閲覧が不可能な状態になります。 設定を行う事で「暗号化されている」と判定されます。</p> <p>権限 Microsoft Office で言う「書き込みパスワード」と同じ形式の他人がファイルの閲覧が可能ですが、印刷や書き込み追加が不可能な状態になります。 設定を行っても「暗号化されていない」と判定されます。</p>

アーカイブファイルの場合：

アーカイブファイルの場合、 MIME タイプで Content-Type フィールドが「application/x-zip-compressed」や「application/zip」などの場合に暗号化の有無を確認します。

ただし、使用するメーラによっては、 zip ファイルを添付しても Content-Type フィールドが「application/octet-stream」や「application/x-compressed」になる場合があります。Content-Type フィールドが「application/x-zip-compressed」や「application/zip」ではない場合も、ファイルの拡張子が「zip」の場合は、暗号化の有無を確認します。

下記のフォーマットに対応していますが、実際のファイルの内容により暗号化されていると判定されない場合があります。あらかじめご了承ください。

アプリケーション(暗号化方式)	拡張子
ZIP	.zip
ZIP (AES128)	.zip
ZIP (AES256)	.zip
補足/制限事項	<div data-bbox="627 670 1323 851"> <p> 補足:中身が暗号化されていた場合</p> <p>zip などのアーカイブファイル形式の場合、添付されたアーカイブファイル自身の暗号化の有無を判定します。アーカイブファイル内のファイルは暗号化有無の判定の範囲に含まれません。暗号化されているファイルをパスワードなしで zip 変換した場合、暗号化されていないと判定されます。ご注意ください。</p> </div> <div data-bbox="627 883 1323 1021"> <p> 補足:未対応のファイルについて</p> <p>上記以外のアーカイブファイル形式 例： rar、lzh、bin、bz2、cab、tar、7zip、自己解凍 exe には対応していません。</p> </div>

1.3 電話番号の判定基準について

ポリシーの条件に電話番号を指定した場合は、下記のパターンを電話番号とみなします。-(ハイフン)記号で区切られていない場合は、電話番号として扱われません。また、数字やハイフンが全角(2バイト)文字の場合も電話番号として扱われません。ご注意ください。

Aは0以外の数字を表します。Xは0~9の数字を表します。

電話番号パターン	主に使用している形態
01 : 0AA0-AAA-XXX	着信課金用電話番号(0120) 統一番号用電話番号(0570) 情報料代理徴収用電話番号(0990)
02 : 0AAX-XX-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番3桁、市内局番2桁)
03 : 0AAXXX-XXXX	固定電話等の電話番号(市外・市内局番5桁)
04 : 0A-AXXX-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番1桁、市内局番4桁)
05 : 0AA-AXX-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番2桁、市内局番3桁)
06 : 0AAX-AX-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番3桁、市内局番2桁)
07 : 0AAAA-A-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番4桁、市内局番1桁)
08 : 0A0-AXXX-XXXX	IP電話の電話番号(050)
09 : 0A00-XXX-XXXX	着信課金用電話番号(0800)
10 : 0A0-AXX-XXXXX	携帯
11 : 81-XX-XXXX-XXXX 12 : +81-XX-XXXX-XXXX	国際電話番号 81以降は上記01~10の電話番号パターンから先頭の「0」を除いた形式となります。

1.4 キーワード削除の判定基準について

【件名】が特定のキーワードから始まるという条件を設定して「配送時にキーワード削除」を有効にした場合、元の件名からキーワードを削除したテキストに変換して配送します。件名が変換される条件は以下の通りです。

- ・ 条件に一致したメールの全宛先に配送されるメールの件名が対象となります。
- ・ 条件に一致したメールに関する通知メールの件名も対象となります。ただし、送信者宛の通知メールは変換せずに配送されます。
- ・ 複数の条件に一致する場合は、一致する最長のキーワードが削除されます。
- ・ 「保留しない」等のActive!gate SSが処理を行わないポリシーも、条件が一致した場合は件名が変換されます。
- ・ この機能は各ポリシーの「保留」「添付ファイル暗号化」「webダウンロード」「ヘッダ変換」「本文変換」ポリシーのみ使用できます。承認ポリシーにこの機能はありません。

1.5 名字の判定基準について

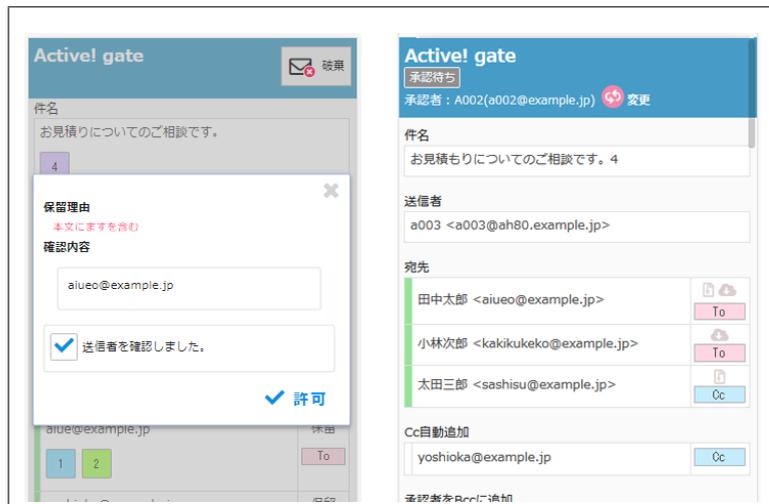
ポリシーの条件に名字を指定した場合は、Active!gate SSが持つ名字データベースと照合して検出します。使用する名字データベースは、「名字由来net」による全国名字ランキングの上位5167件から1文字の名字を除いたものをもとにしています。

この機能は、以下のポリシーの条件設定で「本文」または「添付ファイル」を対象とした場合に使用できます。承認ポリシーも同様です。

- ・ 管理者ポリシー（強制）
- ・ グループポリシー（強制）
- ・ グループポリシー（標準）
- ・ 管理者ポリシー（標準）

2 メール詳細画面のスマートフォン対応について

Active!gate SSでは保留されたメールを操作する「メール詳細画面」および「承認メール詳細画面」をスマートフォンの画面サイズに合わせて操作できます。情報端末の判別を行いスマートフォンのみ画面サイズが最適化されます。PC、タブレットには影響はありません。



2.1 検証済みブラウザと対応OSについて

検証済みブラウザと対応OSは以下の通りです。

ブラウザ名	対応OS
Google Chrome	AndroidOSおよびiOS共に対応
Safari	iOSのみ対応



注意

Active!gate SSの各バージョンにおける動作検証実施時の最新バージョンで確認しています。検証を実施したバージョンより新しいブラウザで不具合が確認された場合は、随時対応を行います。検証を実施したバージョンより古いブラウザでは、制限事項となる場合があります。

検証済みブラウザおよび対応OSの最新状況については、下記URLをご参照ください。

<https://www.qualitia.co.jp/product/ag/spec.html>

2.2 基本操作について

基本操作はPC版と変わりません。ワンタイムURLからActive!gate SSの保留詳細画面へ移動後、最初の保留解除のバルーンが表示されます。バルーン内では解除する項目に色が付きますのでタップ操作で保留解除をしていきます。またPC版と同じくバルーンを途中で閉じても保留の番号をタップする事で再度バルーンが表示されます。



2.3 PC版との変更点

PC版とスマートフォン対応画面との変更点のみ下記で説明いたします。

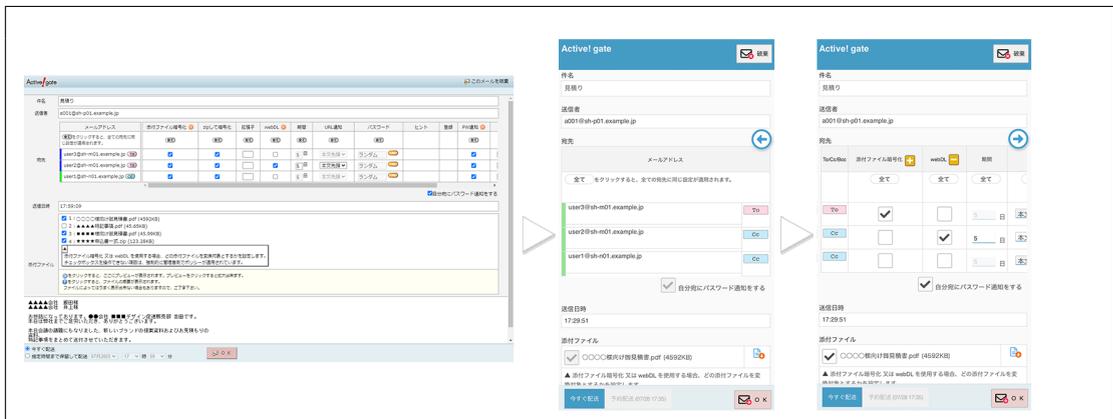
2.3.1 保留理由

PC版で上部に表示される「保留理由」は、スマートフォン対応画面では横向きにする事で表示されます。



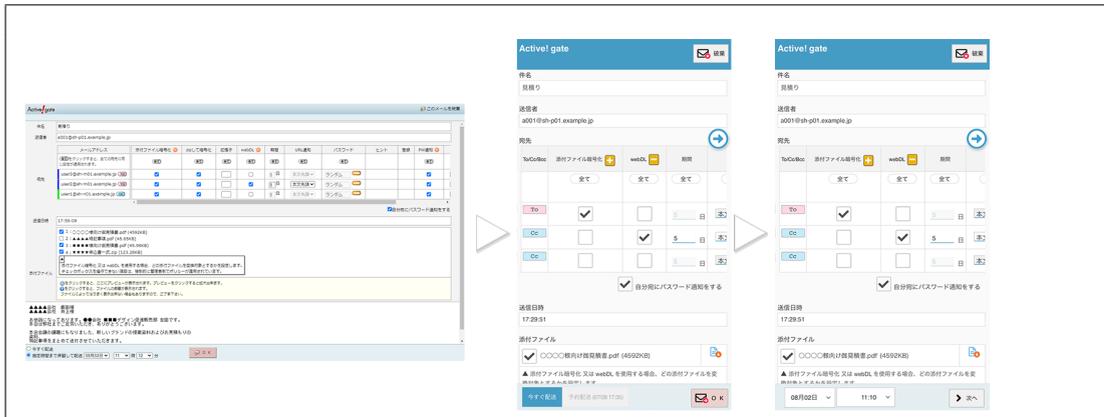
2.3.2 メール詳細画面（2段階）の処理操作

「添付ファイル暗号化」「webダウンロード」などの各項目の設定は、スマートフォン対応画面では宛先の右上の矢印をタップして操作します。タップするとアドレスが左へスライドし、後ろに隠れている設定項目が表示されます。またPC版同様に(+)アイコンをタップで非表示の設定項目欄が表示されます。



2.3.3 「指定時間まで保留して配送」の操作

「指定時間まで保留して配送」は、スマートフォン対応画面では「予約配送」と設定名が変更されています。「予約配送」をタップすると、「日付」と「時刻」が設定可能になります。配送日時の変更後「次へ」をタップすると、「日付」と「時間」が確定され元の画面へ戻ります。



2.3.4 承認時の「承認代理者選択ボタン」の操作

被承認者が代理者を選択することができる「承認代理者選択ボタン」は、スマートフォン対応画面では変更ボタンをタップして操作します。



2.3.5 PC版から変更または追加されたアイコン

スマートフォン対応画面に合わせて、アイコンが変更、追加されています。ここでは、説明の補足が必要なアイコンと新規で追加されたアイコンのみご説明します。なお、変更されたアイコンはデザイン変更のみで、意味や機能は変更ありません。

【変更または追加されたアイコン】



添付ファイルのプレビューアイコンを変更しました。タップすると添付ファイルのプレビューを行います。



添付ファイルのダウンロードアイコンを追加しました。PC版では添付ファイル名をクリックするとダウンロードを行っていましたが、スマートフォン対応画面では、このアイコンをタップするとダウンロードを行います。



ページの先頭へ戻るアイコンを追加しました。1ページが長い場合に、右下に現れる「ページの先頭へ戻る」ボタンをタップすると一番上まで戻ります。



添付ファイル暗号化（zip化）アイコンを変更しました。添付ファイル暗号化（zip化）されている状態を示します。



webダウンロードアイコンを変更しました。webダウンロード化されている状態を示します。



添付ファイルのアイコンを変更しました。「添付ファイル暗号化（zip化）」や「webダウンロード」の変換を行っておらず元の添付ファイルのままである状態を示します。

Active!gate SS
管理者マニュアル：オリジナル運用プラン（VPSタイプ）

発行者 株式会社クオリティア
©2008 QUALITIA CO., LTD.

著作権情報

Active!gate SSのプログラムとマニュアルは、著作権法で保護された著作物で、その全部または一部を許可なく複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。

ご注意

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

商標表示

Active!gate SSは株式会社クオリティアの登録商標です。Active!gate SSのインターフェースおよびマニュアルに記載されているその他会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。